

(様式第10)

東北病医 第 528 号

令和 6 年 10 月 4 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人 東北大学

総長 富永 悌二

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号
氏名	国立大学法人 東北大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

東北大学病院

3 所在の場所

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号
電話(022)717-7000

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
○	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			○	11リウマチ科
診療実績							
上記のほか、糖尿病・代謝・内分泌内科、漢方内科、老年内科、心療内科、腫瘍内科、脳神経内科において医療を提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
上記のほか、肝臓・胆のう・膵臓外科、胃腸外科、移植・食道・血管外科、乳腺・内分泌外科、形成外科、小児腫瘍外科、頭頸部外科において医療を提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	病理診断科	3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	
40	2	0	0	1118	1160	(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	590	57	601.1
歯科医師	88	89	160
薬剤師	100	0	100
保健師	0	0	0
助産師	57	0	57
看護師	1253	26	1271.7
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	12	12	22.8
管理栄養士	15	0	15

職種	員数
看護補助者	182
理学療法士	25
作業療法士	10
視能訓練士	11
義肢装具士	0
臨床工学士	29
栄養士	0
歯科技工士	8
診療放射線技師	72

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	121
	衛生検査技師	2
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	16	
その他の技術員	179	
事務職員	439	
その他の職員	144	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	102	眼科専門医	17
外科専門医	86	耳鼻咽喉科専門医	19
精神科専門医	9	放射線科専門医	36
小児科専門医	29	脳神経外科専門医	12
皮膚科専門医	10	整形外科専門医	17
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	27
産婦人科専門医	32	救急科専門医	14
		合計	419

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (張替 秀郎) 任命年月日 令和 5 年 4 月 1日

医療安全推進委員を平成29年4月1日から平成30年3月31日まで勤め、医療に係る安全管理の業務に従事した。
 また、現在も病院長として、医療安全推進委員会の委員を務めながら、医療に係る安全管理の業務に従事している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	800.9 人	25.6 人	826.5 人
1日当たり平均外来患者数	2452 人	583.5 人	3035.5 人
1日当たり平均調剤数	1,352.40		剤
必要医師数	223		人
必要歯科医師数	23		人
必要薬剤師数	28		人
必要(准)看護師数	520		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	心電計	有	
集中治療室	377.08 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	18 床	有	
			人工呼吸装置	有	有	
			その他の救急蘇生装置	有	有	
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	402 m ²	病床数	25 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	251		m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	705 m ²	鉄骨造	(主な設備)	生化学・免疫検査装置		
細菌検査室	334 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	クリーンベンチ		
病理検査室	492 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット		
病理解剖室	106 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台		
研究室	7453 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	顕微鏡		
講義室	373 m ²	鉄筋コンクリート造	室数	2 室	収容定員	362 人
図書室	4476 m ²	鉄筋コンクリート造	室数	4 室	蔵書数	41万 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	79.0	%	逆紹介率	96.9	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		22772		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		29467		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1249		人
	D: 初診の患者の数		30423		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払 基金宮城審査委員会	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
阿部 玲子	東北公済病院看護部		医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
佐藤 裕一	弁護士法人 杜協同法律事務所		法律に関する識見を有 する者	無	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病 院		医療を受ける者その他 医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 小腸腺がん(ステージがⅠ期、Ⅱ期又はⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	1人
イマチニブ経・投与及びペムブロリズマブ静脈内投与の併・療法 進行期悪性黒色腫(KIT遺伝子変異を有するものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	1人
周期デューバルマブ静脈内投与療法 肺尖部胸壁浸潤がん(化学放射線療法後のものであって、同側肺門リンパ節・縦隔リンパ節転移、同一肺葉内・同側の異なる肺葉内の肺内転移及び遠隔転移のないものに限る。)	0人
自家膵島移植術 慢性膵炎(疼痛を伴うものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)又は膵動静脈奇形(従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	0人
生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	0人
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブ-パクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	3人
生体肝移植術 切除が不可能な転移性肝がん(大腸がんから転移したものであって、大腸切除後の患者に係るものに限る。)	0人
先進医療の種類合計数	9件
取扱い患者数の合計(人)	5人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	424
当該医療技術の概要 肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	53
当該医療技術の概要 出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	294
当該医療技術の概要 乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは20%程度で、残りの80%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHおよびPCRによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	85
当該医療技術の概要 骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。さらに遺伝子異常(転座)の証明が適応の有無を左右する抗がん剤も出てきており、診断のみでなく治療方針の点でも重要になってきている。また脳腫瘍に関しては、新WHO分類においてグリオーマなどの診断に遺伝子学的な情報が必須とわかれており、遺伝子検査を行わないと診断が確定できない状況となっている。診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	101
当該医療技術の概要 内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	19
当該医療技術の概要 ESWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	252
当該医療技術の概要 早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	取扱患者数	75
当該医療技術の概要 肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	685
当該医療技術の概要 唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	9

当該医療技術の概要			
G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	181
当該医療技術の概要			
強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	17
当該医療技術の概要			
テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	37
当該医療技術の概要			
同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	17
当該医療技術の概要			
G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフエレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	12
当該医療技術の概要			
病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	66
当該医療技術の概要			
稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	26
当該医療技術の概要			
自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			
医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性膵壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性膵壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			
医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	72
当該医療技術の概要			

<p>食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的の血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。</p>			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	31
<p>当該医療技術の概要</p> <p>胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。</p>			
医療技術名	成人症例における歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	261
<p>当該医療技術の概要</p> <p>従来の矯正歯科治療と比較し、歯科矯正用アンカースクリューを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。</p>			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	17
<p>当該医療技術の概要</p> <p>歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。</p>			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	917
<p>当該医療技術の概要</p> <p>頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、感染原の除去(抜歯等)、開口訓練を行い、手術創部の感染や、術後の誤嚥性肺炎を予防し、さらに口腔の機能回復を図る治療</p>			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	90
<p>当該医療技術の概要</p> <p>大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。</p>			
医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	32
<p>当該医療技術の概要</p> <p>切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。</p>			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	6
<p>当該医療技術の概要</p> <p>直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。</p>			
医療技術名	切除不能膵癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	39
<p>当該医療技術の概要</p> <p>切除不能と診断される膵癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。</p>			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	120
<p>当該医療技術の概要</p> <p>甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御的治療としては数少ない手段である。</p>			
医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	34
<p>当該医療技術の概要</p> <p>急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量</p>			

ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	26
当該医療技術の概要			
血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)、神経免疫疾患などが適応となる。			
医療技術名	エンドトキシン吸着	取扱患者数	7
当該医療技術の概要			
エンドトキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドトキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS・VA-ECMO)	取扱患者数	27
当該医療技術の概要			
緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。			
医療技術名	体外膜型酸素化装置(VV-ECMO)	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。			
医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	8
当該医療技術の概要			
緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一期的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。			
医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要			
顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手して行っている。			
医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	15
当該医療技術の概要			
がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル(3-7L程度)体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。			
医療技術名	正常眼圧緑内障に対する鍼治療	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
正常眼圧緑内障の治療は眼圧の低下や視神経保護、眼底血流低下の改善などが行われるが、従来の点眼薬や内服薬治療を行っていても視野障害が悪化する症例もあり、鍼治療が眼底血流改善の効果を有することが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療法である。			

医療技術名	肝門部領域胆管癌手術	取扱患者数	18
当該医療技術の概要			
肝門部領域に発生した癌の切除には、局所の解剖の熟知や肝機能、残肝容積などから最適な術式を選択する必要がある。また、肝動脈、門脈などの再建が必要となる事も多く、術前、術中、術後ともに、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除境界膵癌に対する手術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
膵臓癌は局所進行の程度により門脈や動脈に浸潤し、切除の可能性が五分五分となるような、切除境界例が多く存在する。このような症例に対して切除が可能かどうかは術前の念入な画像診断と、術中の局所の所見により判断され、安全に、かつ根治的に切除を行い、術後合併症の低減のためにはハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。			
医療技術名	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	36
当該医療技術の概要			
食道アカラシアは、下部食道括約筋の弛緩不全が原因であるが、この部分の筋層を切開することが治療となる。POEMは経口軟性内視鏡で、食道粘膜下層に入り、筋層切開を行う手技で、体表に創がつかず、回復も早い。高度な手技であるが、有用性は高く、今後の標準治療になるものと思われる。			
医療技術名	内視鏡を用いた口内アプローチによる低侵襲手術	取扱患者数	52
当該医療技術の概要			
顎口腔外科の疾患の中には、病変の位置によって皮膚切開を併用する必要があるが、顔面神経障害や顔面醜形の問題がある。特に異所性埋伏歯、良性腫瘍、唾石症、外傷において、それらの問題を改善するため、内視鏡を併用した口内アプローチを用いることにより、手術の低侵襲化が期待される治療である。			
医療技術名	腹腔鏡補助下膵頭十二指腸切除術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
腹部手術の中で最も侵襲の高い手術の一つである膵頭十二指腸切除を腹腔鏡補助下に行うことで手術侵襲を軽減し、術後早期回復が期待できる治療である。			
医療技術名	腹腔鏡下袖状胃切除術+十二指腸空腸バイパス術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
病的肥満症に対して我が国では腹腔鏡下袖状胃切除術が保険承認されているが、我々の研究では十二指腸空腸をバイパスし食事が通らなくすることで肥満のみならず糖尿病の改善効果があることが示されており、糖尿病を合併した病的肥満患者に対する体重減少+糖尿病改善効果を認める有望な治療法である。			
医療技術名	High Resolution Manometry (HMR) による食道運動機能評価	取扱患者数	95
当該医療技術の概要			
多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に食道内に挿入留置し、全食道の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびに食道バリウム透視では検出されない食道運動異常を検出する検査である。食道アカラシア、食道運動機能異常、ジャックハンマー食道の診断および治療評価を行う。			
医療技術名	慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するカテーテル治療	取扱患者数	74
当該医療技術の概要			
慢性血栓塞栓性肺高血圧症は予後不良疾患であるが、カテーテルによる肺動脈形成術を当院では行っている。また、良好な成績を収めている。			
医療技術名	大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植え込み術	取扱患者数	54
当該医療技術の概要			
循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、コメディカルスタッフによるハートチームを結成し、高齢者を中心とした重症大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	3次元マッピングシステムを用いたカテーテルアブレーション	取扱患者数	191
当該医療技術の概要			
心房細動などの詳細な解剖の把握が必要となる不整脈治療において、CARTO, Navxなどの3次元マッピングシステムを用いて良好な成績を収めている。			
医療技術名	胃癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	58
当該医療技術の概要			

<p>胃癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し0, 1+, 2+, 3+の4段階に分類。このうち0, 1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは30%強で、残りの70%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の胃癌診療ガイドラインなどで推奨されている手法である。</p>			
医療技術名	がん臨床シークエンス検査	取扱患者数	473
<p>当該医療技術の概要</p> <p>次世代シークエンサーを用いてがん関連遺伝子の遺伝子変異および融合遺伝子検査を行い、治療標的となる遺伝子異常の同定とその遺伝子異常に基づいた最適な治療薬の提案を行う。</p>			
医療技術名	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 2 低位前方切除術	取扱患者数	35
<p>当該医療技術の概要</p> <p>直腸癌と診断され、他の臓器に浸潤がなくがんの進行度(ステージ)が0からIIIで、手術により病巣を完全に切除(根治手術)可能と判断された直腸癌治療のため、遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。この装置(ロボット)を用いて、お腹の中の構造を立体的で高解像度な画像で把握して、操作ボックスの手術者の動きを術野において器具の微細な動きとして忠実に再現し、手術を行う。直腸が位置する狭い骨盤の中には性、排尿機能をつかさどる多数の神経が存在し、癌の根治性を担保しながら神経を温存することによって機能温存を図る可能が高くなる手術が可能と期待されています。</p>			
医療技術名	腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	3
<p>当該医療技術の概要</p> <p>精巣腫瘍などによる後腹膜リンパ節郭清は開腹手術が標準術式であるが、郭清するリンパ節の範囲がある程度限局している症例では腹腔鏡下での郭清が可能であり、開腹術と比較して傷の大きさや術後の回復までの期間短縮などの点で大きなメリットがある。</p>			
医療技術名	腸管不全関連肝機能障害に対する ω 3系脂肪製剤投与	取扱患者数	4
<p>当該医療技術の概要</p> <p>肝機能障害を来した腸管不全症例に対する治療法の1つとして、ω3系脂肪製剤の投与が著明な改善効果を有すると報告されている。しかし、現在、国内で認可されている静脈投与可能な脂肪製剤はω6系脂肪製剤のみである。入手可能なω3系脂肪製剤はOMEGAVENだが、これは国内では製造・販売・承認されておらず、保険診療内では行えない治療で、倫理委員会の許可を得て行っている治療法である。</p>			
医療技術名	婦人科癌に対する組織内照射	取扱患者数	43
<p>当該医療技術の概要</p> <p>婦人科癌において、腫瘍の大きさや形状によって、通常の内照射のみでは腫瘍に線量が十分カバーされない事もあるので、組織内照射を併用することで、抗腫瘍効果ならびに副作用軽減がより期待できる治療である。</p>			
医療技術名	顎顔面領域でのCAD/CAMサージカルガイドによるコンピューター支援手術	取扱患者数	146
<p>当該医療技術の概要</p> <p>歯科顎口腔外科、形成外科、耳鼻科、歯科技術部門による連携により、顎骨切除時の三次元的な顎位復元を目的としたガイド作製や、矯正歯科と歯科顎口腔外科で治療にあたる顎矯正手術時の上顎骨位置決めスプリントの作製において、コンピューターシミュレーションを応用して術後予測を検討し、そのシミュレーションの確実な施行のためのサージカルガイドをCAD/CAMにて作製し、手術支援を行う。この支援手術により、手術時間の短縮、咬合機能、接触嚥下機能、審美的満足度の向上がはかれる。</p>			
医療技術名	高強度硬質レジブリッジ治療	取扱患者数	5
<p>当該医療技術の概要</p> <p>コンポジットレジブリッジをグラスファイバーで補強することで、メタルフリーのブリッジを臼歯部に適応する治療であり、良好な成績を収めている。</p>			
医療技術名	ロボット支援下食道切除術	取扱患者数	41
<p>当該医療技術の概要</p> <p>高度な技術が求められる胸腔鏡下食道癌手術において、より繊細な操作のできるロボットを利用することにより反回神経麻痺の発生を抑制できるなどの効果が認められている。高度な技術と知識を要する手術である。</p>			
医療技術名	食道癌放射線治療後の局所再発に対する光線力学療法	取扱患者数	20
<p>当該医療技術の概要</p> <p>食道癌放射線治療後の局所再発に対して内視鏡下に行う治療方法。光感受性物質であるレザフィリンとレーザーを組み合</p>			

わせ腫瘍細胞を壊死させる。Salvage食道切除術と比べ非侵襲的であり、かつ局所制御に優れている。			
医療技術名	胸椎後縦靭帯骨化症に対する3Dナビゲーションを用いた骨化巣前方浮上術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
下肢に重篤な麻痺を生じる病態である胸椎後縦靭帯骨化症に対しては、その解剖学的な位置関係から前方の骨化巣を浮上させる極めて高度かつ難易度の高い手技が要求される。当院では3Dナビゲーションを用いた方法を導入している。			
医療技術名	脳磁図検査によるてんかん焦点の局在診断と機能野の同定	取扱患者数	85
当該医療技術の概要			
ニューロンが活動する際に生じる磁場活動から活動源の皮質を評価する検査法である。優れた空間分解能を特徴とし、てんかん診断のみならずてんかん外科治療の術前診断にも重要な役割を果たす。一方で、専門性の高さなどのため、本邦で実施できる施設は東北大学を含め極めて限られている。			
医療技術名	ポリグリコール酸シートおよび自己フィブリン糊を用いた口腔外科手術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
顎口腔領域の手術における切除創面の被覆および局所止血を目的として、ポリグリコール酸シート(PGAシート)と共に自己フィブリン糊を用いる方法である。自己血漿から自己フィブリン糊調製装置(クリオシールシステム)により自己クリオプレシピテート(自己クリオ)と自己トロンピンを作製して用いる。創傷被覆・止血・接着に加え、組織修復促進や局所感染予防の効果も期待される。			
医療技術名	CAR-T細胞療法に用いる患者の末梢単核球の採取・調製・保管	取扱患者数	15
当該医療技術の概要			
難治性悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病への治療として、患者Tリンパ球をアフェレーシスにより十分量採取し、遺伝子改変したキメラ抗原受容体を発現させ、患者体内に戻すのがCAR-T療法である。自己リンパ球採取が再生医療等製品の原材料に当たるため、品質管理体制に関して監査を受け、認可された施設のみが実施できる。			
医療技術名	重症呼吸不全患者に対するVV-ECMO	取扱患者数	24
当該医療技術の概要			
VV-ECMOとは大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。肺移植待機患者やCOVID-19などによる重症呼吸不全は長期の肺障害を来す。移植待機期間の酸素化、換気機能をVV-ECMOにより臓器補助を行うことで、移植へつなげたり、過剰な呼吸器設定を避け、lung restによる肺保護を行い、肺障害の改善までの期間を乗り切ることができる。数カ月にもわたる管理が必要であり、呼吸、循環、凝固、デバイス管理等、集学的な管理を必要とする。			
医療技術名	画像・髄液バイオマーカーを通じたアルツハイマー病の診断	取扱患者数	61
当該医療技術の概要			
脳内の病理変化を反映する画像バイオマーカーや髄液バイオマーカーの組み合わせを通じて、早期の段階でアルツハイマー病を診断する技術。従来から用いられている認知機能検査・臨床症候・形態画像による診断よりも早期の段階の変化であるアミロイド・タウ・蓄積と神経細胞死のマーカーとの組み合わせで、認知機能低下や臨床症候が明らかとなる前の段階で判定する。			
医療技術名	心臓移植治療	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
重症心不全の患者さんに対し、脳死ドナーからの心臓移植(認定施設/東北地方唯一)を施行している。			
医療技術名	腹部大動脈瘤に対する腹部分枝再建を伴うステントグラフト内挿術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
腎動脈など、主要な分枝近くから腹部大動脈瘤が拡大している場合には従来のステントグラフト手術は実施できず、開腹手術を行う他に方法がなかった。本法により分枝を再建・温存した形で大動脈瘤ステントグラフト治療が可能であり、開腹手術が出来ないハイリスク患者に対して大動脈瘤治療が可能となった。			
医療技術名	深部静脈血栓後遺症に対する静脈カテーテル治療	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
深部静脈血栓症の合併症として静脈血栓後遺症がある。本症では深部静脈の慢性閉塞に伴う静脈圧上昇のため、下肢浮腫や潰瘍を生じて生活の質を落とすことに繋がるが、本治療によって下肢症状の大きな改善が期待できる。			
医療技術名	経皮的CTガイド下ラジオ波焼灼術による原発性アルドステロン症の治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
二次性高血圧症である原発性アルドステロン症の内、片側性のアルドステロン産生腺腫を原因とする症例に対し、CTガイド下にラジオ波焼灼針を原因副腎腺腫に穿刺、焼灼してアルドステロンを正常化する治療。			

当院で行なった医師主導治験により2021年6月に保険収載された低侵襲治療である。

医療技術名	腹腔鏡下肝切除(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	取扱患者数	22
当該医療技術の概要			
高度な技術が求められる腹腔鏡下肝切除において、より繊細な操作のできるロボットを利用することにより、患者のアウトカムに寄与すると期待されている。高度な技術と知識を要する手術である。			
医療技術名	自家CBA法による脱髄性疾患の診断	取扱患者数	331
当該医療技術の概要			
当科では自家で開発した標的蛋白を発現する生細胞を用いた立体構造を認識する免疫標識法(CBA法)により、アクアポリン4やミエリンオリゴデンドロサイト糖蛋白(MOG)に対する自己抗体検査を確立し診断法を提供している。受託事業などで提携する会社に技術移転を行うとともに、国内外から検査を受託し最新の高感度診断方法を開発している。			
医療技術名	自己抗体関連神経疾患に対するB細胞除去療法	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
NMDA受容体抗体脳炎をはじめとする自己抗体関連辺縁系脳炎は、劇症型の脳炎を発症し予後不良でありながら、その希少性のために治療法は確立していない。海外では近年B細胞除去療法が広く行われ有効性や安全性が確立しつつある。当院では、自己抗体関連の辺縁系脳炎など治療法のない神経疾患に対してリツキシマブを用いたB細胞除去療法を実施している。			
医療技術名	コロナ後遺症の治療介入	取扱患者数	112
当該医療技術の概要			
コロナ後遺症では慢性咳嗽・倦怠感・筋肉痛・関節痛・記憶障害・うつ状態など様々な症状が数ヶ月から2年間、遷延する。コロナ後遺症の治療方法は未知である。総合診療科では沢山の軽症～中等症のコロナ感染症の治療経験より、コロナ後遺症に対して漢方薬やステロイドを使用しながら治療に取り組んでいる。			
医療技術名	悪性胸膜中皮腫に対する胸膜切除/肺剥皮術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
悪性胸膜中皮腫は非常に予後が不良な疾患であり、予後を改善させるためにさまざまな治療方法が試みられている。外科療法に化学療法や放射線治療を組み合わせる治療を行う集学的治療が行われることもある。悪性胸膜中皮腫に対する胸膜切除/肺剥皮術は非常に侵襲や難易度が高い手術であり、長時間を要する手術であり、限られた施設で施行されている。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下咽喉頭手術	取扱患者数	15
当該医療技術の概要			
咽喉頭癌に対する鏡視下手術において、より繊細な操作が可能なロボット支援手術により切除断端陰性や術後のQOL向上が見込まれる。高度な知識と技術を要する。			
医療技術名	頭頸部光免疫療法	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
手術による切除不能かつ放射線治療後の頭頸部がん患者に対する腫瘍縮小を目的とした新規治療。腫瘍に特異性の高い抗体薬と光に反応する物質の複合体の投与と特定の波長のレーザー照射を組み合わせたものであり、新たな治療の選択肢である。			
医療技術名	舌下神経刺激装置植込術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
CPAP不耐の重症睡眠時無呼吸患者に対し、舌下神経を刺激して舌を前突させることにより閉鎖を解除することで無呼吸・低呼吸イベントを減じる治療。高度な手術技能と指導・管理が求められる			
医療技術名	成長期症例における歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみでの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、歯科矯正用アンカースクリューを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リングブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装			

着することにより、矯正装置が全く見えることなく治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、歯科矯正用アンカースクリューを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。

医療技術名	僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁クリップ術	取扱患者数	8
-------	-------------------------	-------	---

当該医療技術の概要

循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、コメディカルスタッフによるハートチームを結成し、外科手術が高リスクである重症僧帽弁閉鎖不全症に対して経皮的僧帽弁クリップ術を施行しており、良好な成績を収めている。

医療技術名	心原性ショック等の薬物療法抵抗性の急性心不全に対するIMPELLAカテーテル	取扱患者数	10
-------	--	-------	----

当該医療技術の概要

IMPELLAはカテーテル型の経皮的左室補助装置であり、小型軸流式ポンプがカテーテルに内包され、左室内に留置されたカテーテルの先端より血液を吸い込み、上行大動脈へ送血することで左室補助を行う。薬剤療法抵抗性の急性心不全患者のアウトカム改善に寄与することが期待される。

医療技術名	歯根端切除術における自己血製剤注入	取扱患者数	26
-------	-------------------	-------	----

当該医療技術の概要

根尖性歯周炎を放置することで生じる顎骨破壊は、標準治療による治療が奏効せず、骨内病変の外科的摘出が必要となる。摘出後に欠損した顎骨内に、自己血から得られ、高い骨再生誘導能力が報告されているCGFを填入する治療法。本法は、当院を主施設とした他施設共同臨床研究から、有用性が明らかになり実施されている。

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	84
取扱い患者数の合計(人)	6196

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名		患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	16	58	肥大型心筋症	29
2	筋萎縮性側索硬化症	118	59	拘束型心筋症	1
3	脊髄性筋萎縮症	2	60	再生不良性貧血	38
4	原発性側索硬化症	1	61	自己免疫性溶血性貧血	4
5	進行性核上性麻痺	13	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
6	パーキンソン病	88	63	特発性血小板減少性紫斑病	66
7	大脳皮質基底核変性症	8	64	血栓性血小板減少性紫斑病	4
8	ハンチントン病	1	65	原発性免疫不全症候群	44
9	神経有棘赤血球症	0	66	IgA腎症	84
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	67	多発性嚢胞腎	43
11	重症筋無力症	57	68	黄色靱帯骨化症	2
12	先天性筋無力症候群	0	69	後縦靱帯骨化症	75
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	309	70	広範脊柱管狭窄症	8
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	33	71	特発性大腿骨頭壊死症	61
15	封入体筋炎	15	72	下垂体性ADH分泌異常症	21
16	クロー・深瀬症候群	1	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
17	多系統萎縮症	25	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	65	75	クッシング病	9
19	ライゾーム病	27	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
20	副腎白質ジストロフィー	5	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	17
21	ミトコンドリア病	23	78	下垂体前葉機能低下症	169
22	もやもや病	31	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	3
23	プリオン病	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
24	亜急性硬化性全脳炎	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	6
25	進行性多巣性白質脳症	0	82	先天性副腎低形成症	1
26	HTLV-1関連脊髄症	8	83	アジソン病	0
27	特発性基底核石灰化症	0	84	サルコイドーシス	220
28	全身性アミロイドーシス	40	85	特発性間質性肺炎	138
29	ウルリッヒ病	0	86	肺動脈性肺高血圧症	121
30	遠位型ミオパチー	8	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
31	ベスレムミオパチー	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	121
32	自己食空胞性ミオパチー	1	89	リンパ脈管筋腫症	46
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	90	網膜色素変性症	53
34	神経線維腫症	34	91	バッド・キアリ症候群	8
35	天疱瘡	24	92	特発性門脈圧亢進症	5
36	表皮水疱症	4	93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	68
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	94	原発性硬化性胆管炎	18
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	95	自己免疫性肝炎	17
39	中毒性表皮壊死症	0	96	クローン病	443
40	高安動脈炎	91	97	潰瘍性大腸炎	449
41	巨細胞性動脈炎	18	98	好酸球性消化管疾患	4
42	結節性多発動脈炎	37	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	5
43	顕微鏡的多発血管炎	42	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	29	101	腸管神経節細胞僅少症	5
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	44	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
46	悪性関節リウマチ	6	103	CFC症候群	0
47	パージャー病	9	104	コストロ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	12	105	チャージ症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	599	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	255	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	3
51	全身性強皮症	147	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
52	混合性結合組織病	96	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
53	シェーグレン症候群	84	110	ブラウ症候群	0
54	成人スチル病	31	111	先天性ミオパチー	5
55	再発性多発軟骨炎	12	112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
56	ペーチェット病	165	113	筋ジストロフィー	30
57	特発性拡張型心筋症	172	114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

116	アトピー性脊髄炎	0	171	ウィルソン病	5
117	脊髄空洞症	3	172	低ホスファターゼ症	0
118	脊髄髄膜瘤	0	173	VATER症候群	0
119	アイザックス症候群	2	174	那須・ハコラ病	0
120	遺伝性ジストニア	1	175	ウィーバー症候群	0
121	神経フェリチン症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白 質脳症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性 脳動脈症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びま ん性白質脳症	0	180	ATR-X症候群	0
126	ペリー症候群	0	181	クルーゾン症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	8	182	アペール症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	183	ファイファー症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	185	コフィン・シリス症候群	0
131	アレキサンダー病	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	187	歌舞伎症候群	0
133	メビウス症候群	0	188	多脾症候群	1
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	189	無脾症候群	1
135	アイカルディ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
136	片側巨脳症	0	191	ウェルナー症候群	1
137	限局性皮質異形成	0	192	コケイン症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	193	プラダー・ウィリ症候群	3
139	先天性大脳白質形成不全症	0	194	ソトス症候群	1
140	ドラベ症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	196	ヤング・シンプソン症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	198	4p欠失症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	7	199	5p欠失症候群	0
145	ウエスト症候群	4	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
146	大田原症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	202	スミス・マギニス症候群	1
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	203	22q11.2欠失症候群	2
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
150	環状20番染色体体症候群	1	205	脆弱X症候群関連疾患	0
151	ラスマッセン脳炎	1	206	脆弱X症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	207	総動脈幹遺残症	3
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	2	208	修正大血管転位症	5
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	209	完全大血管転位症	15
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	210	単心室症	15
156	レット症候群	0	211	左心低形成症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	212	三尖弁閉鎖症	3
158	結節性硬化症	15	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	3
159	色素性乾皮症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	13
160	先天性魚鱗癬	1	215	ファロー四徴症	22
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	216	両大血管右室起始症	7
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	19	217	エプスタイン病	6
163	特発性後天性全身性無汗症	12	218	アルポート症候群	4
164	眼皮膚白皮症	0	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	220	急速進行性糸球体腎炎	3
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	221	抗糸球体基底膜腎炎	1
167	マルファン症候群	10	222	一次性ネフローゼ症候群	50
168	エーラス・ダンロス症候群	7	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4
169	メンケス病	0	224	紫斑病性腎炎	4

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
225	先天性腎性尿崩症	1	277	リンパ管腫症/ゴーム病	3
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
227	オスラー病	7	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病)	2
228	閉塞性細気管支炎	2	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	6
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	12	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	8
230	肺胞低換気症候群	20	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	1	283	後天性赤芽球癆	3
232	カーニー複合	3	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	2
233	ウォルフラム症候群	2	285	ファンコニ貧血	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
235	副甲状腺機能低下症	2	287	エプスタイン症候群	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	3
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	289	クロンカイト・カナダ症候群	3
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
240	フェニルケトン尿症	13	292	総排泄腔外反症	3
241	高チロシン血症1型	0	293	総排泄腔遺残	3
242	高チロシン血症2型	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
243	高チロシン血症3型	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
244	メープルシロップ尿症	0	296	胆道閉鎖症	39
245	プロピオン酸血症	2	297	アラジール症候群	3
246	メチルマロン酸血症	2	298	遺伝性膀胱炎	6
247	イソ吉草酸血症	0	299	嚢胞性線維症	0
248	グルコーストランスporter-1欠損症	0	300	IgG4関連疾患	65
249	グルタル酸血症1型	0	301	黄斑ジストロフィー	1
250	グルタル酸血症2型	1	302	レーベル遺伝性視神経症	3
251	尿素サイクル異常症	3	303	アッシャー症候群	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	1
253	先天性葉酸吸収不全	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
254	ボルフィリン症	1	306	好酸球性副鼻腔炎	43
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	1	307	カナパン病	0
256	筋型糖原病	1	308	進行性白質脳症	0
257	肝型糖原病	4	309	進行性ミオクローヌステんかん	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	310	先天異常症候群	1
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
260	シトステロール血症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
261	タンジール病	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
263	脳腱黄色腫症	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
264	無 β リポタンパク血症	1	316	カルニチン回路異常症	1
265	脂肪萎縮症	1	317	三頭酵素欠損症	0
266	家族性地中海熱	7	318	シトリン欠損症	2
267	高IgD症候群	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
268	中條・西村症候群	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	321	非ケト-シス型高グリシン血症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
271	強直性脊椎炎	29	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
272	進行性骨化性線維異形成症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	1
274	骨形成不全症	1	326	大理石骨病	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	4
276	軟骨無形成症	1	328	前眼部形成異常	0

	疾患名	患者数
329	無虹彩症	4

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	1
331	特発性多中心性キャスルマン病	8
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0
336	家族性低 β リポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
337	ホモシスチン尿症	6
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	197
合計患者数(人)	5907

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・感染対策向上加算1
・歯科外来診療環境体制加算2	・感染対策向上加算1の注5に規定する抗菌薬適正使用体制加算
・歯科診療特別対応連携加算	・患者サポート体制充実加算
・歯科外来診療感染対策加算4	・重症患者初期支援充実加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟) 7対1入院基本料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟) 13対1入院基本料	・ハイリスク妊娠管理加算
・救急医療管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・超急性期脳卒中加算	・術後疼痛管理チーム加算
・診療録管理体制加算1	・バイオ後続品使用体制加算
・医師事務作業補助体制加算1(20対1)	・後発医薬品使用体制加算3
・急性期看護補助体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1 注2に規定する薬剤業務向上加算
・看護職員夜間配置加算(12対1)	・病棟薬剤業務実施加算2
・療養環境加算	・データ提出加算2
・重症者等療養環境特別加算	・入退院支援加算1
・無菌治療室管理加算1	・入退院支援加算3
・無菌治療室管理加算2	・精神科入退院支援加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・精神疾患診療体制加算
・緩和ケア診療加算	・精神科急性期医師配置加算
・精神科応急入院施設管理加算	・排尿自立支援加算
・精神病棟入院時医学管理加算	・地域医療体制確保加算
・精神科身体合併症管理加算	・救命救急入院料3
・精神科リエゾンチーム加算	・特定集中治療室管理料1
・摂食障害入院医療管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・栄養サポートチーム加算	・新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料
・医療安全対策加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の「注11」に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・歯周組織再生誘導手術
・歯科疾患在宅療養管理料の「注4」に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医学管理料	・顎関節人工関節全置換術(歯科)
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・有床義歯咀嚼機能検査1のロ	・歯根端切除手術の注3
・咀嚼能力検査	・歯科麻酔管理料
・有床義歯咀嚼機能検査2のイ	・口腔病理診断管理加算2
・有床義歯咀嚼機能検査2のロ	・クラウン・ブリッジ維持管理料(補綴物維持管理料)
・咬合圧検査	・歯科矯正診断料
・精密触覚機能検査	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・睡眠時歯科筋電図検査	
・歯科画像診断管理加算1	・ウイルス疾患指導料
・歯科画像診断管理加算2	・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準
・歯科口腔リハビリテーション料2	・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準
・口腔粘膜処置	・高度難聴指導管理料
・口腔粘膜血管腫凝固術	・糖尿病合併症管理料
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)	・がん性疼痛緩和指導管理料
・レーザー機器加算	・がん患者指導管理料イ
・手術用顕微鏡加算	・がん患者指導管理料ロ
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算	・がん患者指導管理料ハ
・光学印象	・がん患者指導管理料ニ
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・外来緩和ケア管理料
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・移植後患者指導管理料(臓器移植後)
・手術時歯根面レーザー応用加算	・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・糖尿病透析予防指導管理料
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・小児運動器疾患指導管理料
・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・乳腺炎重症化予防・ケア指導料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・婦人科特定疾患治療管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・腎代替療法指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・一般不妊治療管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・生殖補助医療管理料1	・皮下連続式グルコース測定
・二次性骨折予防継続管理料1	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・二次性骨折予防継続管理料3	・遺伝学的検査
・下肢創傷処置管理料	・染色体検査の注2に規定する絨毛染色体検査
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・外来放射線照射診療料	・BRCA1/2遺伝子検査
・外来腫瘍化学療法診療料1	・がんゲノムプロファイリング検査
・病理診断管理加算2	・先天性代謝異常症検査
・ニコチン依存症管理料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・療養・就労両立支援指導料の「注3」に規定する相談支援加算	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)
・がん治療連携計画策定料	・抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・外来排尿自立指導料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・検体検査管理加算(IV)
・こころの連携指導料(Ⅱ)	・国際標準検査管理加算
・薬剤管理指導料	・遺伝カウンセリング加算
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・医療機器安全管理料1	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・医療機器安全管理料2	・胎児心エコー法
・精神科退院時共同指導料1及び2	・時間内歩行試験
・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の「注2」に規定する遠隔モニタリング加算	・シャトルウォーキングテスト
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・ヘッドアップティルト試験

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・全身MRI撮影加算
・人工臓器療法	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・外来化学療法加算1
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・無菌製剤処理料
・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・脳波検査判断料1	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・神経学的検査	・運動器リハビリテーション料(I)
・補聴器適合検査	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・黄斑局所網膜電図	・がん患者リハビリテーション料
・全視野精密網膜電図	・早期診療体制充実加算
・ロービジョン検査判断料	・認知療法・認知行動療法1
・内服・点滴誘発試験	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・経気管支凍結生検法	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・画像診断管理加算3	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・遠隔画像診断	・医療保護入院等診療料
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。) ※ロイ以外の場合	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1 ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・CT撮影	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・MRI撮影	・硬膜外自家血注入
・冠動脈CT撮影加算	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・外傷全身CT加算	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・心臓MRI撮影加算	・人工腎臓
・乳房MRI撮影加算	・導入期加算3
・小児鎮静下MRI撮影加算	・腎代替療法実績加算
・頭部MRI撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・舌下神経電気刺激装置植込術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・ストーマ合併症加算	・角膜移植術(内皮移植加算)
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る)	・羊膜移植術
・皮膚移植術(死体)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・自家脂肪注入	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法))
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・椎間板内酵素注入療法	・網膜再建術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・緊急穿頭血腫除去術	・人工中耳植込術
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術
・内視鏡下脳腫瘍生検術	・人工内耳植込術
・内視鏡下脳腫瘍摘出術	・植込型骨導補聴器移植術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・植込型骨導補聴器交換術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・脳刺激装置交換術	・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・脊髄刺激装置植込術	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・脊髄刺激装置交換術	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・仙骨神経刺激装置植込術(便失禁)	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・仙骨神経刺激装置植込術(便過活動膀胱)	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・仙骨神経刺激装置交換術(便過活動膀胱)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・(1)食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)等
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・内視鏡下筋層切開術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・センチネルリンパ節生検(片側)(併用法)	・胸腔鏡下弁形成術
・乳がんセンチネルリンパ節加算2	・経カテーテル大動脈弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
・センチネルリンパ節生検(片側)(単独法)	・胸腔鏡下弁置換術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	・磁気ナビゲーション加算
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・ペースメーカー移植術
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・ペースメーカー交換術
・気管支バルブ留置術	・ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	・両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)
・保険医療機関間の連携による病理診断	・植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・生体部分肺移植術	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)
	・植込型除細動器交換術(その他のもの)
	・経静脈電極抜去術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・体外衝撃波胆石破碎術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下肝切除術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・補助人工心臓	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・生体部分肝移植術
・同種心移植術	・同種死体肝移植術
・同種心肺移植術	・体外衝撃波膵石破碎術
・骨格筋由来細胞シート心表面移植術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・腹腔鏡下膵中央切除術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼却療法	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・同種死体膵移植術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・同種死体膵腎移植術
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	・生体部分小腸移植術
・腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・同種死体小腸移植術
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃縮小術 2 スリーブ状切除によるもの(バイパス術を併施するもの)	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	
・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	
・同種死体腎移植術	・輸血管理料 I
・生体腎移植術	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・膀胱水圧拡張術	・コーディネート体制充実加算
・ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・自己生体組織接着剤作成術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・同種クリオプレシピテート作製術
・人工尿道括約筋植込・置換術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・麻酔管理料(I)
・精巣温存手術	・麻酔管理料(II)
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・周術期薬剤管理加算
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・定位放射線治療
・体外式膜型人工肺管理料	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・画像誘導密封小線源治療加算

(様式第2)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ARO拠点機能を活用した医療機器ベンチャー教育・人材育成	張替 秀郎	病院	49,400,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
アカデミア発革新的技術を活かした先端医療開発拠点の構築	青木 正志	病院 (臨床研究推進センター)	76,646,409	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
東北大学病院における医療技術実用化総合促進拠点構築	青木 正志	病院 (臨床研究推進センター)	176,200,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
革新的技術を医療に応用する異分野融合型研究開発支援体制の構築	青木 正志	病院 (臨床研究推進センター)	45,700,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
拠点を基点とし、地域と世界をつなぐ hub and spoke形成型拠点整備事業	張替 秀郎	病院	9,675,682	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
進行性悪性黒色腫治療における抗PD-1抗体とのTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験	藤村 卓	皮膚科	103,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
ヌーナン症候群とその類縁疾患の実態調査と機能的なエビデンスに基づいた診断基準・診療指針作成	青木 洋子	遺伝科	13,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
成体幹細胞の神経提形質を増強した歯胚再生技術の開発	新部 邦透	咬合修復科	8,840,000	補 委 国立研究開発法人 科学技術振興機構
慢性骨髄性白血病におけるチロシンキナーゼ阻害剤との長期併用時のTM5614の安全性・有効性を検証する第III相試験	張替 秀郎	血液内科	61,100,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するオビヌツズマブ+ベンダムスチン療法後のオビヌツズマブ維持療法の省略に関するランダム化第III相試験	福原 規子	血液内科	19,500,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
全身性強皮症に伴う間質性肺疾患(SSc-ILD)に対するPAI-1阻害薬TM5614の第II相医師主導治験	浅野 善英	皮膚科	104,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
重症気管支喘息に対する先制医療を実現するためのマルチオミックスを用いた探索的研究	杉浦 久敏	呼吸器内科	13,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
免疫調節治療を要する患者の安全な妊娠・出産を	角田 洋一	消化器内科	13,000,000	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発

現するためのエビデンス構築			10,000,000	委	日本医療研究開発機構
新規遺伝性膵炎原因遺伝子TRPV6変異による膵炎発症機序の解明と治療応用	正宗 淳	消化器内科	10,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
リン脂質を調節する新規動脈硬化抑制系路を介した動脈防御戦略の国際共同研究	豊原 敬文	腎臓・高血圧内科	19,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
卵巣扁平上皮癌に対するベムプロリズマブ療法の有効性および安全性を評価する単群非盲検第II相試験	島田 宗昭	婦人科	650,000	補 委	国立大学法人新潟大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
小児静脈栄養関連胆汁うっ滞(腸管不全関連肝障害)に対する魚油由来静注用脂肪乳剤の有用性と安全性に関する医師主導治験	和田 基	小児外科	71,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
任意の方向からの低侵襲な経皮的アプローチを可能にする高汎用性ナビゲーションシステムの開発	針谷 綾花	放射線診断科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高品質のIRB審査の基盤となるIRBクラブの設立およびIRB運用ハンドブックの作成と普及に関する研究	高野 忠夫	臨床研究監理センター	975,000	補 委	国立大学法人大阪大学医学部付属病院(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
高齢者総合機能評価(CGA)ガイドラインの作成研究	海老原 覚	リハビリテーション科	600,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
視覚情報のAI分析を活用したメンタルヘルスDXプロジェクト	奥山 純子	リハビリテーション科	4,872,000	補 委	一般社団法人いのちを支える自殺対策推進センター
高齢者切除可能膵癌に対する術前ゲムシタピン+S-1療法と術前ゲムシタピン+ナブパクリタキセル療法のランダム化比較第III相試験	海野 倫明	総合外科	19,474,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脊髄悪性神経膠腫を対象とした光線力学療法の開発研究	佐藤 綾耶	脳神経外科	54,063,750	補 委	学校法人東北医科薬科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
肝胆膵がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究	海野 倫明	総合外科	0	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
中央診断とモニタリング	張替 秀郎	血液内科	650,000	補 委	国立大学法人福井大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
国内外のDecentralized Trial実施に当たっての課題及び対応策に関する研究	鈴木 由香	臨床研究推進センター	2,080,000	補 委	学校法人東京理科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
MAFLDにおける臓器関連リモット・ホドリア機能活性化	比呂 委樹	糖尿病代謝・内分泌	2,600,000	補	国立研究開発法人国立国際医療研究

遺伝子診断/機能活性化による治療戦略		内科	2,000,000	補 委	国立国際医療研究センター
MAFLDにおける臓器連関とミトコンドリア機能活性化による治療戦略	阿部 高明	腎臓・高血圧内科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
MAFLDにおける臓器連関とミトコンドリア機能活性化による治療戦略	井上 淳	消化器内科	650,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
卵巣がんに対するゲノム医療の実装と新規治療戦略構築のための全ゲノムおよびオミックス解析研究	島田 宗昭	婦人科	650,000	補 委	公益財団法人がん研究会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
Dysferlinopathyおよび類似疾患の遺伝子解析と結合蛋白に注目した病態・治療研究	青木 正志	脳神経内科	400,000	補 委	国立精神・神経センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
慢性腎臓病を合併した冠動脈疾患ペリーハイリスク患者の心血管イベント抑制を目的とした冠動脈MRプラークイメージングの有効性を検証する多施設前向き無作為化対照試験	高瀬 圭	放射線診断科	1,170,000	補 委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
チタンブリッジ手術を用いた痙攣性発声障害に対する国際的新規治療戦略の開発	香取 幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	390,000	補 委	公立大学法人名古屋市立大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
つくばの英知による先端医療シーズのグローバル実用化推進事業	角谷 倫之	放射線治療科	1,100,000	補 委	国立大学法人筑波大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
全身性強皮症に対する抗線維症活性分子群の創出	浅野 善英	皮膚科	6,175,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
オールジャパン拡張型心筋症ゲノムコホート研究によるゲノム医療の発展	後岡 広太郎	循環器内科	650,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
急性心筋梗塞や他臓器虚血の原因となる特発性冠動脈解離の診断基準策定・診療実態ならびに予後についての臨床エビデンスを創出する研究	安田 聡	循環器内科	650,000	補 委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
RASopathies関連疾患の病態解明と患者登録研究	青木 洋子	遺伝科	1,200,000	補 委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
泌尿器科腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	伊藤 明宏	泌尿器科	0	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
筋萎縮性側索硬化症における病態回避機構の解明と治療に資する層別化技術開発	青木 正志	脳神経内科	9,100,000	補 委	学校法人慶應義塾(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

前立腺癌に対するMR画像誘導即時適応定位放射線治療の臨床応用を目指す研究	神宮 啓一	放射線治療科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
医療分野研究開発の推進に資する研究倫理コンサルテーションの実装配備に向けた、専門家教育の高度化プログラム開発と資格制度の骨格設計	高野 忠夫	臨床研究監理センター	3,250,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
ドナー肺のex vivo長時間機能温存灌流法	新井川 弘道	呼吸器外科	455,000	補 委	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
乳がん患者の乳がん切除後疼痛症候群に対するスマホ精神療法の開発：革新的な分散型基盤を用いた多機関共同無作為割付比較試験	石田 孝宣	乳腺・内分泌外科	260,000	補 委	公立大学法人名古屋 市立大学(国立研究 開発法人日本医療 研究開発機構)
臨床病期I-IVA(T4を除く)胸部上中部食道扁平上皮癌に対する予防的鎖骨上リンパ節郭清省略に関するランダム化比較試験	亀井 尚	総合外科	1,001,000	補 委	静岡県立静岡がん センター(国立研究 開発法人日本医療 研究開発機構)
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	神宮 啓一	放射線治療科	195,000	補 委	国立大学法人広島 大学(国立研究開 発法人日本医療研 究開発機構)
経食道運動誘発電位に用いる刺激電極の開発	齋木 佳克	心臓血管外科	390,000	補 委	国立大学法人浜松 医科大学(国立研 究開発法人日本医 療研究開発機構)
可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置剤を用いた標準治療確立に関する研究	金森 政之	脳神経外科	260,000	補 委	学校法人北里研 究所(国立研究開 発法人日本医療研 究開発機構)
BRAF V600E変異型切除可能大腸癌遠隔転移に対する個別化周術期治療の医師主導治験の実施	小峰 啓吾	腫瘍内科	0	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な患者還元および新たな創薬等の創出を通じた高度化がんプレジジョン医療の実践	石岡 千加史	腫瘍内科	41,439,000	補 委	公益財団法人がん 研究会(国立研究 開発法人日本医療 研究開発機構)
難病のゲノム医療実現に向けた全ゲノム解析の実施基盤の構築と実践	角田 洋一	消化器内科	11,050,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究 センター
難病のゲノム医療実現に向けた全ゲノム解析の実施基盤の構築と実践	角田 洋一	消化器内科	11,050,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究 センター
医療機器開発における事	鈴木 中丞	臨床研究推進セン	10,000,500	補	株式会社日本総合 研究所(国立研究

業化・実用化支援		ター	10,000,000	⑤ 委	開発法人日本医療研究開発機構)
思春期女性へのHPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	島田 宗昭	婦人科	195,000	補 ⑤ 委	学校法人昭和大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
非閉塞性冠動脈疾患(INOCA)患者における Precision Medicine を目指した RNF213遺伝子多型保有率の検証とINOCA発症 polygenic risk score モデルの作成	安田 聡	循環器内科	2,730,000	補 ⑤ 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
ステージング手術が行われた上皮性卵巣癌I期における補助化学療法の必要性に関するランダム化第III相比較試験	島田 宗昭	婦人科	0	補 ⑤ 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
がん患者のオピオイド不応の神経障害性疼痛への標準的薬物療法の開発:国際共同試験ならびに普及実装に向けた研究	井上 彰	緩和医療科	0	補 ⑤ 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊孕性温存療法に対するメホルミンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導治験	徳永 英樹	婦人科	1,820,000	補 ⑤ 委	国立大学法人千葉大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
卵巣癌早期発見のためのAI血液診断モデルの開発ー癌関連糖蛋白と網羅的血清糖ペプチドビークデータを用いてー	島田 宗昭	婦人科	130,000	補 ⑤ 委	学校法人東海大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
悪性リンパ腫における遺伝子異常・免疫微小環境の全体像および臨床的意義の統合的解明	福原 規子	血液内科	3,900,000	補 ⑤ 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第III相試験	福原 規子	血液内科	390,000	補 ⑤ 委	国立大学法人山形大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Diseases(IRUD)):希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	青木 洋子	遺伝科	10,400,000	補 ⑤ 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	中澤 徹	眼科	2,086,500	補 ⑤ 委	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
オールジャパン体制による食道がん等消化器難治がんの全ゲノム配列データ及	海野 倫明	総合外科	0	補	国立大学法人東京大学(国立研究開

び臨床情報による先端的創薬開発・全ゲノム医療基盤構築				委	発法人日本医療研究開発機構
新生児マスキリーニング対象疾患等の遺伝学的診断ネットワークと持続可能なレジストリを活用したリアルワールドエビデンス創出研究	市野井 那津子	小児科	585,000	補 委	公立大学法人大阪(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
未分類の新規先天性大脳白質形成不全症の臨床遺伝疫学情報の収集によるエビデンス創出研究	植松 有里佳	小児科	780,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
認知症プレクリニカル期・プロドローマル期を対象とするトライアルレディコホート構築研究	富田 尚希	加齢老年病科	1,560,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究	正宗 淳	消化器内科	130,000	補 委	公益財団法人宮城県対がん協会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	佐藤 康弘	心療内科	1,950,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
もやもや病の出血性脳卒中予防と長期予後改善を目指す多施設共同研究	富永 悌二	脳神経外科	260,000	補 委	国立大学法人京都大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
切除不能な肝門部領域胆管癌に対する生体肝移植	海野 倫明	総合外科	325,000	補 委	国立大学法人熊本大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
地域、疾患領域、臨床研究者・支援専門職ネットワークを活用した、QMSの概念に関する研究者及び研究支援者への教育研修に係る研究	高田 宗典	臨床試験データセンター	1,300,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
初発中枢神経原発胚細胞腫瘍に対する化学療法併用放射線治療の低侵襲化に関する研究開発	金森 政之	脳神経外科	260,000	補 委	国立大学法人京都大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	高橋 雅信	腫瘍内科	650,000	補 委	国立大学法人大分大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
医療高度化に資する分散管理型PHRデータ流通基盤に関する研究開発	久志本 成樹	高度救命救急センター	1,300,000	補 委	国立大学法人京都大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
医療施設における標準コードの効率的なマッピング手法に関する調査および実証研究	大田 英揮	メディカルITセンター	5,044,000	補 委	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
能動的精密表面温度計測を用いた熱バルスレーダーによる皮膚腫瘍の鑑別診断に関する臨床開発	藤村 卓	皮膚科	39,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
遺伝子治療時代のALS治療型別ITプラットフォーム整備	青木 正志	脳神経内科	15,600,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

呼吸器系マシンの性能向上 ロゲートマーカーの探索			10,000,000	委	日本医療研究開発機構
PDX治療モデルと継時的臨床検体の統合的マルチオミックス解析に基づく急性骨髄性白血病の分子層別化と難治性クローン克服に向けた治療戦略の構築に関する研究	横山 寿行	血液内科	260,000	補 委	国立大学法人東海国立大学機構(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
非閉塞性冠動脈疾患患者における冠動脈機能の性差に関する研究開発	高橋 潤	循環器内科	9,264,138	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
実践研修の実施と検証による研究マネジメント人材育成及びネットワーク構築に関する研究	笠井 宏委	臨床研究推進センター	1,287,000	補 委	学校法人藤田学園藤田医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
インドネシアでの、てんかん診療の質向上をめざしたデジタル脳波のワイドバンド成分の記録解析普及の実装研究	中里 信和	てんかん科	315,900	補 委	国立大学法人京都大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験	石田 孝宣	乳腺・内分泌外科	53,300,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ミトコンドリア分子連関を介した重点感染症の治療薬開発	阿部 高明	腎臓・高血圧内科	39,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
心停止後臓器提供時のECMOによる臓器(肝臓・脾臓・腎臓)機能温存	久志本 成樹	高度救命救急センター	0	補 委	学校法人藤田学園藤田医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
造影病変全切除可能な初発膠芽腫に対する標準的手術法確立に関する研究	金森 政之	脳神経外科	260,000	補 委	国立大学法人山形大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
患者のUnmet medical needsに応えるGlobalな課題解決AIの作成～皮膚疾患のAll in one app	志藤 光介	皮膚科	7,210,000	補 委	国立大学法人愛媛大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
びまん性内在性橋グリオーマ(DIPG)のレジストリ構築および緩和ケアの実態解明を目的とした多施設共同前方視的観察研究	新妻 秀剛	小児科	650,000	補 委	学校法人埼玉医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
血中遊離アミノ酸異常に着目した慢性肝疾患に対する新しい高たんぱく食献立の開発	井上 淳	消化器内科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
リン脂質を調節する新規動脈硬化抑制系路を介した動脈防御戦略の国際共同研究	豊原 敬文	腎臓・高血圧内科	71,409,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

70歳以上の上皮性増殖因子受容体活性化変異陽性未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの至適投与量に関する多施設共同研究	突田 容子	呼吸器内科	260,000	補 ⑤委	日本赤十字社医療センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
2種の大規模データベース解析による、妊娠中の漢方薬使用実態の解明、およびその母子安全性の検討	有田 龍太郎	総合地域医療教育支援部	3,737,175	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
改良型CRISISを用いたCOVID-19患者の臨床エビデンス構築と診療・医療機器開発支援	久志本 成樹	高度救命救急センター	1,820,000	補 ⑤委	国立大学法人広島大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
切除可能な高頻度マイクロサテライト不安定性結腸直腸癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を用いた根治治療の有効性・安全性を検討する研究	大沼 忍	消化器外科	3,900,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立がん研究センター
医療機器開発における事業化・実用化支援	鈴木 由香	臨床研究推進センター	25,525,500	補 ⑤委	株式会社日本総合研究所(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
エムボックスの治療・予防体制の整備に関する研究開発	金森 肇	総合感染症科	5,460,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
全ゲノム解析症例のWSIおよび病理報告書等の病理データ収集体制の構築	石岡 千加史	腫瘍内科	2,600,000	補 ⑤委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

①恒常性の理解と制御による糖尿病および併発疾患の克服②末梢臓器情報を中枢に伝達する分子機序解明とその制御法の開発③中枢における情動-自律神経連関の神経回路解明とその制御法の開発④糖尿病における肝の変容解明とその制御⑤糖尿病超早期段階の予測法の開発と予後予測⑥糖尿病未病・超早期状態におけるデータセットの構築と解析	片桐 秀樹	糖尿病代謝・内分泌内科	218,309,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
次世代光技術を用いた革新的脳腫瘍制御法の開発	新妻 邦泰	脳神経外科	8,580,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な患者還元および新たな創薬等の創出を通じた高度化がんプレシジョン医療の実践	石岡 千加史	腫瘍内科	33,616,000	補 委	公益財団法人がん研究会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
全ゲノム解析症例のWSIおよび病理報告書等の病理データ取集体制の構築	石岡 千加史	腫瘍内科	2,600,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
医療機関・ベンダー・システムの垣根を超えた医療データ基盤構築による組織横断的な医療情報収集の実現	中村 直毅	臨床研究推進センター	27,764,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
難病のゲノム医療実現に向けた全ゲノム解析の実施基盤の構築と実践	角田 洋一	消化器内科	31,750,191	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
アプリケーションによる精神病性障害のトラウマ心理教育プログラムの有効性の検討	富本和歩	精神科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
多発性嚢胞腎モデルにおける運動療法とアドレナリン受容体作動薬の併用効果	三浦平寛	リハビリテーション科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
マイオカインとアディポカインの不均衡に着目したサルコペニア肥満リハビリテーション	高橋珠緒	リハビリテーション科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
医療経済学的視点からみた虚血性心疾患の最適な診断フローの探索	益田淳朗	放射線診断科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
低容量ピルによる破骨細胞形成と矯正学的歯の移動への影響の解析	奈良靖彦	矯正歯科	2,600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
関節荷重が関節円板の細胞外マトリックス合成に与える影響	伊藤新	矯正歯科	1,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会

脂肪、タンパク質および糖質の特性に及ぼす影響			1,000,000	委	学術振興会
リポクオリティ依存的な気管支喘息病態形成機構の解明	前川翠	歯科麻酔疼痛管理科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
チタンに付与する機能を自在にカスタマイズする固相拡散を利用した表面改質法の確立	山口洋史	咬合回復科	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
β -TCP含有Mg合金による骨固定材の開発	佐藤顕光	形成外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
母親の月経関連疾患と児の発達障害に関する研究	横山絵美	産科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎尿管領域における包括的新PET薬剤の超低コスト導入	外山由貴	放射線診断科	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
関節窩軟骨欠損が肩関節の可動時の上腕骨頭の安定性に与える影響	川上純	整形外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血管内皮グリコカリックス断片による、炎症促進および収束の2面性に関する検討	三瓶想	高度救命救急センター	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工呼吸関連肺傷害におけるBiotraumaの抑制に向けたNRF2の活用の試み	武井祐介	麻酔科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経ブロックに伴う遷延性神経障害の系統的な機序解明	熊谷道雄	麻酔科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺癌特異的T細胞受容体の探索と血中T細胞受容体を用いた肺癌スクリーニング検査の開発	小野寺賢	呼吸器外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小腸移植後腸管内での自然リンパ球による免疫制御機構の解明	櫻井毅	小児外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プラスミノゲン活性化阻害因子(PAI-1)の皮膚血管肉腫における役割の検証	大森遼子	皮膚科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病性腎臓病の新規バイオマーカーの確立と腸腎関連メカニズムの解明	菊地晃一	腎臓・高血圧内科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
進行期非小細胞肺癌の免疫併用療法におけるNK細胞の役割の解明	突田容子	呼吸器内科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

Type2心筋梗塞における冠動脈硬化と心筋障害及びその予後に関する前向きコホート研究	中田貴史	循環器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
光センサー誘導による副腎静脈採血カテーテルの基礎研究	尾股慧	糖尿病代謝・内分泌内科	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Keap1-Nrf2経路を標的とした肺癌新規治療バイオマーカーの探索	松本諒太郎	消化器内科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
過敏性腸症候群における腸内細菌代謝物の同定とその解析	有田 龍太郎	総合地域医療教育支援部(漢方内科)	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト羊膜由来幹細胞を用いた食道内視鏡的粘膜下層剥離術後の癒痕狭窄予防に関する研究	小関健	総合外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クローン病の腸管線維化プロセスにおけるCD163の機能	下山雄丞	消化器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日本人炎症性腸疾患の発症・予後に関する網羅的rare variant解析	内藤健夫	消化器内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
DNAポリメラーゼεの異常によるIMAGE-1症候群の病態解明	中野智太	小児科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精神運動発達遅滞を有する先天性心疾患患者の遺伝子解析	岩澤伸哉	小児科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高脂血症の網羅的遺伝子解析による遺伝学的多因子発症機序の解明	島彦仁	小児科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポンペ病における交差反応性免疫物質の迅速検査法の開発	和田陽一	小児科	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
亜急性期Stanford B型大動脈解離に対する治療基準確立のための包括的血流動態評価	樋口慧	放射線診断科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線科医の知覚エラー改善を目指す:視覚訓練と感情誘導によるアプローチ	前田千秋	放射線診断科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
組織透明化およびマイクロCTを用いたヒト副腎の三次元的解析	丹内啓允	放射線診断科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元培養法を用いたシトクロムP450を介した薬物相互作用評価	佐藤裕	薬剤部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

Thromboelastographyを用いた植込み型補助人工心臓装着患者の抗血栓療法最適化	高橋悟朗	心臓血管外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
流体固体相互作用解析によるCVポートの高効率かつ高ロバストな洗浄法の確立	鎌田裕基	放射線診断科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
各年代の野球選手における肘外反ストレス増強メカニズムの解明	石川博明	リハビリテーション部門	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変形性関節症者の3次元下肢骨格筋機能評価による疾患特異的特徴と歩行特徴との関係	矢口春木	リハビリテーション部門	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
センシングデバイスを活用した閾値下せん妄の評価指標確立	佐久間篤	精神科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
化学療法誘発性末梢神経障害の実態解明およびリスク・増悪因子の検索	石河理紗	顎顔面口腔再建治療部	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
筋骨格解析をベースとした新たな嚙下評価法の開発	重光竜二	咬合回復科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
拡散テンソル画像を応用した内側・外側翼突筋等の咀嚼筋筋線維動態の解析	庄原健太	咬合回復科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
セルロースナノファイバーをバイオイナート材料として臨床応用するための基礎的検討	島山高徳	顎顔面口腔再建治療部	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腓骨皮弁による下顎再建後の2次的骨造成部におけるインプラント咬合荷重条件の検索	佐藤奈央子	顎顔面口腔再建治療部	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞由来歯原性上皮系細胞を応用した歯胚再生への挑戦	新部邦透	咬合修復科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
STING経路に着目した滲出型加齢黄斑変性の網膜下線維化の病態解明	安田正幸	眼科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性視神経疾患に対するiPS細胞由来正常ミトコンドリア移植法の開発	小林航	眼科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
低活動膀胱の可逆性を予測する診断法の開発	川守田直樹	泌尿器科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胸椎後縦靭帯骨化症による脊髄圧迫障害を脊髄内応	高橋康平	整形外科	2,730,000	補委	独立行政法人日本

カマッピングで可視化・定量化する	研究テーマ	専門分野	金額(万円)	委員	学術振興会
骨新生能と強度を合わせ持つ骨補填材料の開発	森優	整形外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
トンネル抵抗素子による低侵襲かつ長時間記録が可能な救急脳活動モニタリングシステム	柿坂庸介	てんかん科	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
組織適合性からみる肺移植術後成績の検討	平間崇	呼吸器外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Magnetic nano particleを用いた新しい血管吻合法の考案	細山勝寛	心臓血管外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超常磁性鉄酸化製剤を用いたMRI撮像によるヒト大動脈瘤壁の強度予測モデルの確立	芹澤玄	総合外科	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
呼気凝集液を用いた硫黄代謝物解析による非侵襲な新規食道癌診断法の確立	小澤洋平	総合外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵臓手術後NAFLDの原因解明および新規治療法の開発	石田晶玄	総合外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
酸素化灌流による肝細胞のEnergy statusの改善に基づく新規肝不全治療の開発	藤尾淳	総合外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌肺転移及び腹膜播種の免疫微小環境をターゲットとした新規治療開発	青木修一	総合外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
十二指腸空腸バイパス術後の糖代謝改善メカニズムにおける腸管循環変容の意義	井本博文	胃腸外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たな膵再生医療の構築に向けたeR1活性細胞の幹細胞機能の解析	山村明寛	総合外科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
十二指腸・空腸バイパス術のNASH改善機序 腸管環境変容とgut-liver axisからの検証	田中直樹	胃腸外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
臨床応用に向けた新しい皮下膵島移植法の樹立	三頭啓明	総合外科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
移植・細胞治療後免疫応答におけるRNA修飾の分子基盤解明と新規バイオマーカーの確立	大西康	血液内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

尿中落下細胞に含まれる多能性幹細胞～腎機能回復と非侵襲的な病態診断に向けて	内田奈生	小児科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
T細胞受容体シグナルとT細胞老化における活性イオウ分子種の役割解明	沼倉忠久	呼吸器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性サルコイドーシスの病態解明と新規治療法の開発	村上康司	呼吸器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患における新規病原性肺胞マクロファージの同定と機能解析	藤野直也	呼吸器内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝的背景に着目したCOPDの病態解明と新規治療戦略の開発	山田充啓	呼吸器内科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ストレス応答機構制御による腫瘍免疫賦活療法の開発	濱田晋	消化器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリアを介する自然免疫応答を標的としたB型肝炎ウイルスの制御と肝発癌抑制	井上淳	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周病菌が臓器間ネットワークを介して食道胃接合部の炎症性発癌を促進する？	宇野要	消化器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新生児脳MRIを用いた早期発症型胎児発育不全児の神経発達予後予測指標の開発	秋山志津子	周産母子センター	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
深層強化学習による真の“人工知能型”自動放射線照射計画法の開発	角谷倫之	放射線治療科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
深層学習技術による照射中の動きを考慮した本当の線量分布の作成	田中祥平	放射線部	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脱髄性疾患MOG抗体関連疾患の中枢神経内免疫病態の解明	三須建郎	脳神経内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生活習慣病・脳の老化の遺伝的背景に関する、大規模データベースを用いた国際共同研究	鈴木秀明	循環器内科	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん代謝に着目した複合オミックス解析による卵巣明細胞癌の新規治療法探索	重田昌吾	婦人科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタゲノム解析による人体の全消化管細菌叢の同定と	石沢剛太	総合地域医療教育支	1,430,000	補委	独立行政法人日本

高感度画像診断ソフトの臨床応用へのアプローチ		援部(漢方内科)	1,100,000	委	学術振興会
心理学的アプローチによる乳癌術後肩関節可動域制限と破局的思考との関係性の解明	佐藤亮太	リハビリテーション部	420,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
高感度NPM1変異定量法による急性骨髄性白血病の治療モニタリング	鈴木千恵	検査部	480,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
フッ化ピリミジン系薬剤の感受性ならび有害反応予測バイオマーカー精密分析法の開発	阿部愛	薬剤部	480,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
爆風損傷の初期診療におけるトリアージ法に関する基礎研究	中川敦寛	脳神経外科	7,930,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
抗腫瘍を目指した新規石灰化誘導因子の同定と歯胚発生への役割解明	齋藤幹	小児歯科	5,200,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
チタン製インプラント周囲炎に対する包括的組織再建治療の開発	天雲太一	咬合回復科	6,240,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
フェロトーシス制御因子を標的とした難治性造血器疾患に対する治療法の開発	小野 浩弥	輸血・細胞治療部	15,470,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚および全身性自己免疫疾患の病態におけるLINE-1の役割の包括的解明	高橋岳浩	皮膚科	18,200,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
認知症における発話障害の評価と介入法に関する研究	太田祥子	高次脳機能障害科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Interventional Radiologyの医療経済評価-国民医療費の低下を目指して-	柳垣聡	放射線診断科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病患者の感染症重症化機序の解明:血管内皮細胞pyroptosisによるIL-1 β 放出	三瓶想	高度救命救急センター	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
アトピー性皮膚炎における表皮I κ B ζ 遺伝子の役割	照井仁	皮膚科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
画像解析による福島第一原発事故後の環境試料中のストロンチウム90濃度測定法の開発	高橋温	障がい者歯科治療部	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Dysbiotic細菌叢特異的MAIT細胞の開発と歯周炎治療への応用	梶川哲宏	歯周病科	3,250,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

in situ象牙芽細胞ダイレクト リプログラミングへの挑戦	鈴木茂樹	歯周病科	2,730,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
転写因子GATA2によるT細胞 エピゲノムメモリー制御機 構の解明	張替 秀郎	血液内科	3,380,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
耳鼻咽喉科におけるMRSA の分子疫学的解析による伝 播様式の解明と感染対策 基盤構築	角田梨紗子	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
血液腫瘍患者の周術期口 腔管理時に問題となる急性 炎症発症に至る関与因子 の検討	加藤翼	口腔支持療法科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
TNF- α による破骨細胞分 化および歯の移動時のエピ ジェネティクス制御機構の 解明	野口隆弘	矯正歯科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
特発性下顎頭吸収に対す るテリパラチドを用いた新規 治療方法の構築	梶田倫功	歯科顎口腔外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
唾液腺の発生期に副交感 神経が筋上皮細胞の分化 に及ぼす作用の検討	真藤裕基	歯科麻酔疼痛管理科	2,470,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
薬剤関連顎骨壊死におけ るリンパ球系細胞の免疫応 答の解明	武田裕利	歯科顎口腔外科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
CAD/CAM冠の変形挙動 解析とAIを用いたトラブル 発生要因の探索	勝田悠介	咬合修復科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
機械的刺激に対してレドク クス制御を応用した新規骨 再生技術の探索	渡辺隼	歯科医療管理部	2,470,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
フリーラジカル生成に着目 した接着性レジンセメントの 最適な重合・接着条件の探 索	尾崎茜	咬合修復科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
超音波顕微鏡による音響特 性を利用した歯の内部構造 の三次元画像化デバイスの 開発	長沼由泰	障がい者歯科治療部	2,600,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
抗スクレロシン抗体とリン 酸オクタカルシウムを応用し た骨再生医療の開発	岩間亮介	歯科顎口腔外科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
PJD法によるフッ素化アパ タイト成膜を用いた放射線性 齲蝕の予防・治療法の新機 軸	泉田一賢	周術期口腔健康管理 部	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
BIA-ALCLを誘導する炎症	古司去樹	形成外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本

遷延メカニズムの解明			1,500,000	委	学術振興会
慢性眼血流障害による新規緑内障モデル動物の作製	矢花武史	眼科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
サイトメガロウイルス前眼部感染症の発症機序における性差や加齢の関与	針谷威寛	眼科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
唾液腺腫瘍オルガノイドを実現化に近づける生検・細胞診由来培養法の確立	石川 智彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
BRCAバリエント保持者のリスク低減卵管卵巣切除術後の身体的心理的障害の評価	湊純子	周産母子センター	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高い骨形成能と生体吸収性を有する生体活性因子を担持した人工骨の開発	馬場一慈	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
酸化ストレス応答転写因子NRF2に着目した新規Exercise pillの開発	大野木孝嘉	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア転移による脳血管障害に対する神経保護・神経再生療法の構築	田代亮介	脳神経外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
次世代型シミュレーション実習システムの開発と医学教育における優位性の検証	大西詠子	手術部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳卒中後中枢性疼痛に対するオキシトシンを用いた治療戦略	齋藤秀悠	集中治療部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝切除・肝移植におけるTEG6sを用いた周術期凝固管理の至適化	松村宗幸	総合外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥満減量手術後の腸肝循環短絡化による肝発癌抑制効果の検討	土屋堯裕	総合外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
副甲状腺移植の生着機序の解明ー膝島移植との差ー	佐藤真実	乳腺・内分泌外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SGLT2阻害薬が糖新生を介して全身代謝に作用する機序の解明	穂坂真一郎	糖尿病代謝科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自律性ステロイド過剰産生細胞に特異的な細胞内コレステロール代謝表現型の解明	山崎 有人	病理部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
S-アデノシルメチオニンの造血幹細胞分化での役割	加藤浩書	血液内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本

提出種別及び研究内容の 説明	応募者名	所属機関	金額(円)	委 補 委	学術振興会
X連鎖性鉄芽球性貧血に おける鉄依存性細胞死およ び鉄代謝制御の解明	小野 浩弥	輸血・細胞治療部	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
皮膚T細胞性リンパ腫にお ける紫外線療法の免疫学 的メカニズムの解明	古舘禎騎	皮膚科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
閉塞性肺疾患における Pannexin channelを介した 炎症制御機序の解明	相澤洋之	呼吸器内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
既喫煙喘息におけるレドク クスバランスと炎症基盤の 観点から見た新規治療戦 略の検討	京極自彦	呼吸器内科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
運動誘発性肺高血圧症に おける肺動脈機能異常の 病態解明と予後への影響	佐藤大樹	循環器内科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
睪星細胞の細胞老化を介し た睪癌制御機構の解明と新 規治療薬の開発	滝川哲也	消化器内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
遺伝性血小板減少症の新 規原因遺伝子を介した巨核 球・血小板造血メカニズム の解明	片山紗乙莉	小児科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
羊水中血液暴露による胎仔 肺障害モデル-妊娠羊を用 いた遺伝子解析と治療法 の模索-	熊谷祐作	産科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
高校生の自己肯定感を育 む心理支援に向けて-一自 殺予防に活かすモニタリン グ-	奥山純子 (林)	肢体不自由リハビリ テーション科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
NEK1を介する細胞内シグ ナル伝達機構の破綻が引 き起こすALS病態の解明	渡辺 靖章	脳神経内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
卵巣癌の新規治療標的 TIE-1 に対する PROTAC を用いた阻害剤の開発	石橋ますみ	婦人科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
食道癌におけるヒトパピロー マウイルス感染と化学放射 線療法の感受性に関する 研究	石田裕嵩	総合外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
CYP3A4活性予測尿中バイ オマーカーを利用した薬物 投与設計法の開発	公文代將希	薬剤部	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
尿エクソソーム中トランス ポータータンパク質の定量 による急性腎障害早期診断 法の確立	臼井拓也	薬剤部	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

メタボローム解析による腎薬物トランスポーター相互作用バイオマーカーの同定と評価	佐藤紀宏	薬剤部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
医療情報システムにおける相互運用性を向上するためのデータ連携基盤の研究開発	中村直毅	メディカルITセンター	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クエン酸塩による腎臓病の予防	阿部倫明	総合地域医療教育支援部	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日常生活の実環境下における脳卒中片麻痺患者の歩行障害のメカニズム解明	関口雄介	リハビリテーション部門	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CKD患者のサルコペニアの病態機序解明およびHIF-PH阻害薬の効果に関する検討	渡邊公雄	血液浄化療法部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
合併症を再現できる内視鏡手技シミュレータを展開し、有効な学習プログラムを構築する	菅野武	総合地域医療教育支援部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自動音声認識と機械学習による新たな医学教育システムの創出	小林正和	高度救命救急センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
うま味感受性を利用したフレイルとサルコペニア肥満の攻略法の開発ー骨格筋量の改善ー	佐藤しづ子	総合歯科診療部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性サイトカインを標的とした進行性下顎頭吸収に対する治療法の新機軸	野上晋之介	歯科顎口腔外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
定量的活動依存性マンガン造影MRIによる三叉神経障害性疼痛の慢性化機構の解明	安田真	歯科麻酔疼痛管理科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性脈管奇形症候群の遺伝子解析による病態解明と新たな治療法開発	長尾宗朝	形成外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
感音難聴と上気道好酸球性炎症の病態形成における活性イオウ分子種の関与	鈴木淳	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工赤血球を人工胎盤のプライミング液に用いた人工子宮システムの有用性の検討	桜井愛恵	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
1次体性感覚野の脳波ガンマ振動に基づく疼痛モニターの開発と精密術後鎮痛への展開	鎌田ことえ	手術部	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IL-36βの免疫チェックポイント阻害作用のメカニズムの解明	野津田泰嗣	呼吸器外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

がん治療法の開発			1,100,000	委	学術振興会
がんの増大、転移に対する体外循環の影響を探究する	鈴木智之	心臓血管外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌術後反回神経麻痺の改善を目的とした羊膜細胞による神経損傷修復材の開発	谷山裕亮	総合外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工腸を用いた発症早期モデルによる潰瘍性大腸炎の発症メカニズムの解明	神山篤史	胃腸外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌術前治療耐性克服を目指したcollagen XVIIを標的とする新規治療開発	水間正道	総合外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト羊膜の創傷治癒促進作用に着目した新しい胆汁漏・膵液瘻治療法の開発	宮澤恒持	総合外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
羊膜由来幹細胞が肝内膵島生着環境に与える影響の解明	戸子台和哲	総合外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌におけるのAbscopal効果の検証と放射線療法効果モニタリングの開発	宮下穰	乳腺・内分泌外科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎糖新生の全身代謝における役割の解明	金子慶三	糖尿病代謝科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PAI-1・免疫チェックポイント相互阻害による新規免疫療法の開発	神林 由美	皮膚科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚筋炎はなぜ感染症で増悪するのか?: 抗菌ペプチドカセリサイデインの炎症惹起機構	高橋隼也	皮膚科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規CT画像診断法を用いた冠動脈の結晶性炎症と好中球NETsの病態解明	西宮健介	循環器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心不全および不整脈に対する新しい遠隔治療アルゴリズム開発のための基盤研究	野田崇	循環器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患患者のチオプリンに暴露された胎児の	志賀永嗣	消化器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本

遺伝的選択・変異に関する検討	心具小町	1970年11月	1,000,000	委	学術振興会
大規模コホートによる新規予後予測システムの開発	八田和久	消化器内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮・人工胎盤システム管理下胎児治療(カテーテル手術)の安全性の検討	星合哲郎	産科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮システムに胎盤の排泄機能として付与する持続血液透析の有効性の検討	渡邊真平	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
KRAS遺伝子変異導入モデルを用いたゴーハム病発症機序解明と新規治療薬の探索	野澤明史	遺伝科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
低侵襲MR導電率マッピングによる乳癌の電気生理学的特徴の解明	前川由依	放射線診断科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網膜解析を中心とした早期治療抵抗性統合失調症の生物学的指標探索と脳神経基盤の解明	小松浩	精神科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
濾胞性リンパ腫の新規予後予測モデルの開発	福原規子	血液内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロバイオーム・メタボローム統合解析による、新規がん治療法の開発	今井源	腫瘍内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ePRO連携による高齢者在宅医療へのデジタルトランスフォーメーションの実装と検証	高田宗典	臨床試験データセンター	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
医療従事者のレジリエンス能力を獲得するための次世代型患者安全教育システムの開発	荒田悠太郎	卒後研修センター	3,770,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
福島第一原発事故後の環境における歯を用いた包括的線量評価	高橋温	障がい者歯科治療部	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
再生指向型エピゲノムに基づく歯周組織再生術前診断法と精密化療法の樹立	鈴木茂樹	歯周病科	6,890,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

エフェロサイトーシスを基軸とした歯周組織恒常性維持機構の解明と治療への応用	梶川哲宏	歯周病科	4,420,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
慢性関節炎の微小血管塞栓術に関する基礎実験	小黑草太	放射線診断科	4,940,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
サルコペニアと脈管を標的とする新規高齢者肺炎対策の開発 Research Project	岡崎達馬	リハビリテーション部	2,470,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
歯の発生におけるIGFBPの機能解明とIGF1を基軸とした再生歯形態制御への応用	大柳俊仁	矯正歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
帯電による結合作用を利用した新規石灰化促進タンパク質製剤の開発	長崎敦洋	咬合修復科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
次世代型の形状記憶合金製オンプラントの開発	遠藤 千晶	顎口腔機能治療部	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
An idea of regulatory science-based bone regeneration product for critical bone defect healing	Venkataiah VenkataSuresh	歯内療法科	520,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
転写因子Nrf2と細胞死フェロトーシスを標的とした新たな加齢性難聴予防機構の解明	本藏 陽平	耳鼻咽喉・頭頸部外科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
NRF2活性化モニタリングマウスを用いた内耳酸化ストレス障害の局在と病態の研究	大石哲也	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
胎盤幹細胞モデルを用いた前置胎盤の遺伝子発現とエピゲノム制御	濱田裕貴	産科	520,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
抗アポトーシスタンパクをターゲットとした子宮内膜症および卵巣癌治療の開発	渋谷 祐介	婦人科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
低活動膀胱に対する低出力衝撃波およびPDE5阻害薬を用いた新規治療法の開発	佐藤琢磨	泌尿器科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脊椎関節炎モデルマウスを用いた体軸性関節炎および脊椎強直の病態解明と新規治療開発	泉山拓也	整形外科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

てんかん診療における心理 社会評価の信頼性・妥当性 検証による標準化の取組み	藤川真由	てんかん科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
α1受容体拮抗薬の抗アレ ルギー作用の検討	阿部望	手術部	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
単一前脳基底部細胞のゲノ ム網羅的遺伝子発現解析 から迫る手術後せん妄の機 序解明	紺野大輔	集中治療部	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ヒト・家畜・環境水に由来す る志賀毒素産生性大腸菌 の包括的分子疫学研究	馬場啓聡	総合感染症科	520,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
NAD代謝による組織因子制 御と慢性腎臓病血栓症の 予防法開発	大江佑治	血液浄化療法部	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
肺線維化と鉄動態	東出直樹	呼吸器内科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
慢性閉塞性肺疾患におけ る活性イオウ分子種産生酵 素の解析と新規抗酸化治 療薬の創出	佐野寛仁	呼吸器内科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
冠動脈機能異常の成因と 機序に内皮由来弛緩因子 が果たす役割の解明	神戸茂雄	循環器内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
オミックス解析に基づく頻脈 誘発性心筋症と拡張型心 筋症の鑑別バイオマーカー の探索	長谷部雄飛	循環器内科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ディープレーニングを用い た新MRIシークエンス開発 ～小児の肝機能画像評価 の実現	青木英和	放射線診断科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
NSAIDsによるABCC3とROS を介した家族性大腸腺腫症 の発癌抑制機構の解明	小林実	卒後研修センター	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬 による自己免疫疾患関連有 害事象のバイオマーカー探 索	高崎新也	薬剤部	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
放射線従事者に資する持 続可能な放射線被曝防護 システムの開発	常陸真	放射線部	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

新型コロナウイルス感染症療養患者の健康管理アルゴリズム確立及び管理ツールの開発	石井正	総合地域医療教育支援部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
レジンによるアレルギーおよび免疫増強効果の機序解明	坂東加南	矯正歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
矯正学的歯の移動時における低出力超音波パルスによる骨改造亢進機構の解析	福永智広	矯正歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
形状記憶ゲルを利用した周術期医療にも対応可能な顎補綴装置の開発	小山重人	顎顔面口腔再建治療部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼筋fMRIを応用した口腔機能とフレイルの多角的関連解析	山口哲史	口腔機能回復科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
静電誘導型発電シートを用いたウェアラブル型リアルタイム咬合力測定方法の開発	依田信裕	咬合回復科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
RANKL逆シグナルと破骨細胞エクソソームを基軸とした新規歯周組織再生療法の開発	向阪幸彦	歯周病科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔樹状細胞を標的とした舌下免疫療法の効果増強法の開発	田中志典	歯科麻酔疼痛管理科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合解析を用いた網膜神経節細胞別の脆弱性に関わる緑内障障害シグナル伝達経路の探索	面高宗子	眼科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
前眼部組織間のトランスオミックス解析による包括的な眼圧上昇機序の解明	横山悠	眼科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
瘢痕化定量技術と薬剤ナノ粒子化による組織移行性の高い濾過胞瘢痕抑制薬の開発	津田聡	眼科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オルガノイドとオミックス解析による頭頸部非扁平上皮癌の個別化医療モデルの開発	佐藤亜矢子 (中目)	耳鼻咽喉・頭頸部外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
予後不良卵巣癌における薬剤製剤抵抗性の機序解明と新規治療標的の開発	徳永英樹	婦人科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大規模出生コホートから月経関連症状の長期的変化を捉える	渡邊善	婦人科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3世代コホート調査を用いた生殖補助技術特有のゲノム遺伝子異常の探索的研究	菅原淳史	産科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

子宮内炎症の早期診断 マーカーの探索および早期 治療法の開発	築地謙治	臨床研究監理セン ター	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
血管壁イメージングMRIと瘤 内血流のAI解析による脳動 脈瘤破裂点の推定	面高俊介	脳神経外科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
敗血症性DICにおけるマイ クロパーティクルの動態およ びその病態生理学的役割 の解明	齋藤浩二	集中治療部	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
肺葉移植戦略の確立 - 局 所二酸化炭素濃度測定に よる肺葉機能評価 -	渡辺有為	呼吸器外科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
新規肺移植後免疫抑制療 法の開発を目指した間葉系 幹細胞由来の細胞外小胞 の解析と応用	大石久	呼吸器外科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
自然免疫とサブタイプに着 目した慢性移植肺機能不 全のメカニズム解明	渡邊龍秋	呼吸器外科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
開心術後の縦隔内癒着予 防のための生体吸収性薬 剤徐放性代用自己心膜の 開発	前田恵	心臓血管外科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
赤外線照射による植込型補 助人工心臓ドライブライン感 染の制御	片平晋太郎	心臓血管外科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
新規生体吸収性素材による 大動脈解離断端形成法の 確立と有効性に関する研究	伊藤校輝	心臓血管外科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
膵癌発癌と浸潤転移能獲 得機構における低分子G蛋 白Ralの機能解析	大塚英郎	総合外科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
大腸全摘・回腸囊肛門吻合 術後の腸内環境の変化と 回腸囊炎発症メカニズムの 解明	渡辺和宏	胃腸外科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
Bile cell-free DNAを用いゲ ノム多様性を標的にした胆 道癌新規治療	中川圭	総合外科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
オルガノイド培養を応用した 大腸癌に対する次世代個 別化医療の実現に向けて	唐澤秀明	胃腸外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
心停止肝に対する、酸素化 灌流とMuse細胞移植を融 合した臓器修復再生法の 開発	宮城重人	総合外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
D型乳酸アンダーシスを予 防効果的プロバイオ	安藤真	小児外科	520,000	補	独立行政法人日本

CD4陽性ヘルペスウイルス感染症の確立			920,000	委	学術振興会
共通病態を基盤とした高安動脈炎と潰瘍性大腸炎を包括する新規症候群の検討	白井剛志	血液内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
B細胞遺伝子発現に基づく病原性形質芽細胞を標的としたSLEの新規治療法の開発	藤井博司	リウマチ膠原病内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
転写因子GATA-2を介した造血幹細胞と造血微小環境の機能的連関の解明	藤原亨	血液内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
表皮I κ B ζ を軸とした皮膚細菌叢異常による自己免疫疾患発症機構の解析	水芦政人	皮膚科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性黒色腫真皮内浸潤におけるIL-17/LL37シグナルの役割の解明	藤村卓	皮膚科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CYP27A1を標的とした新規喘息治療薬の開発に向けての基礎的研究	市川朋宏	呼吸器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺高血圧症における遺伝的新規予後規定因子の探索	矢尾板信裕	循環器内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Rho-kinase活性に着目した微小血管狭心症の新規治療法及び治療戦略の確立	白戸崇	臨床研究推進センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム不安定性による体細胞モザイクを介したクローン病の発症・病態変化の解析	角田洋一	消化器内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クローン病由来オルガノイド単層培養による新規疾患感受性遺伝子RAP1Aの機能解析	諸井林太郎	消化器内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮装置を用いた胎児発育遅延モデルにおける脳障害の解析	埴田卓志	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多面的アプローチによるニーマンピック病C型の病態分子機構と病態生理の解明	前川正充	薬剤部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非造影灌流MRIによる前交通動脈瘤術後高次機能障害診断システム構築	山崎哲郎	放射線診断科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MOG抗体関連疾患の臨床表現型と重症化に関する分子免疫病理学的解析	高井良樹	脳神経内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

筋萎縮性側索硬化症モデルにおける軸索分岐異常の分子基盤の解明	鈴木直輝	脳神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト膵癌における vasohibin-2発現意義と免疫治療への展開	三浦孝之	総合外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血流と内皮細胞の相互作用から迫るもやもや病の発症機序解明 研究課題	富永悌二	脳神経外科	13,520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
嘔吐するモデル動物スクスをを用いた手術後悪心嘔吐の脳内機序の解明	杉野繁一	手術部	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ものづくり日本のアイデアと技術を盛り込んだ移植肺体外灌流システムの日加共同開発	渡辺有為	呼吸器外科	3,640,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺の機能と形態の線量評価を融合した放射線肺臓炎予測モデルの構築	勝田義之	放射線治療科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MRIによる癒着胎盤の定量的診断方法の開発 研究課題	佐藤友美	放射線診断科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性正常圧水頭症の認知・精神・行動障害に関連する神経基盤の解明	菅野重範	高次脳機能障害科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食の力を測る新システム開発と咀嚼機能評価	菊池雅彦	総合歯科診療部	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍診断目的のFDG PETにおける心筋集積と心臓疾患の関連に関する前向き研究	高浪健太郎	放射線診断科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
逐次近似法再構成冠動脈CTが臨床転帰に与える影響に関する多施設無作為化比較試験	大田 英揮	メディカルITセンター	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術後せん妄発症機序の分子遺伝学的解明 研究課題	金谷 明浩	麻酔科	2,747,855	補委	独立行政法人日本学術振興会
講義と実習を連動させた効果的な漢方教育プログラムの開発と教育効果の検証	高山真	総合地域医療教育支援部	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫逃避機構を応用した新たな肺移植の戦略	大石 久	呼吸器外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新しいラットモデルを用いた術後痛遷延化の分子遺伝メカニズムの解明と治療戦略の開発	杉野 繁一	集中治療部	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小児麻酔の気道確保時における危機的合併症と関連するリスク因子に関する研究	海法 悠	麻酔科	26,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ネクロトーシスの脂質性制御とセラミド分子認識の解明 研究課題	重田 昌吾	婦人科	65,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Total Survey Errorの枠組みによる調査データ評価手法の確立	富田 尚希	加齢老年病科	130,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
マウス体内における異種配偶子産生システムの開発とその家畜への応用	菅原 淳史	産科	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ドナー肺の冷保存と体外肺灌流を組合わせた体外肺保存装置の開発と最適保存条件の検討	新井川 弘道	呼吸器外科	390,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
歯の中に照射の痕跡として残された炭酸ラジカル測定による低線量計測法の開発	高橋 温	障がい者歯科治療部	130,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
局所進行非小細胞肺癌に対する肺機能画像を用いたオーダーメイド放射線治療法の開発	角谷 倫之	放射線治療科	130,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
非小細胞肺癌に対する T 細胞の抗腫瘍免疫応答における IL-36 の役割の解明	野津田 泰嗣	呼吸器外科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脊髄損傷に対する Muse細胞を用いた新規治療法の開発	富永 悌二	脳神経外科	130,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脊髄損傷に対する Muse細胞を用いた新規治療法の開発	下田 由輝	脳神経外科	130,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
エビデンスと至適運動の確立をめざした腎臓リハビリテーションの有効性の機序解明	三浦 平寛	リハビリテーション科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
慢性心不全の病態と予後規定因子探索のための多変量経時データ解析モデルの開発	後岡 広太郎	循環器内科	130,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
骨形成と骨粗鬆症の病態改善における膜裏打ちタンパク質4.1Gの新規役割	森 優	整形外科	65,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
合併症を再現できる内視鏡手技シミュレータを展開し、有効な学習プログラムを構築する	荒田 悠太郎	卒後研修センター(医)	65,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

市中施術所および医療機関におけるCOVID-19後遺症の特徴の抽出と鍼灸治療の効果の検討	有田 龍太郎	総合地域医療教育支援部	80,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
社会的弱者を対象とする臨床研究時代の新たな研究倫理フレームワークの構築	高野 忠夫	臨床研究監理センター	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト嚙下筋の組織学的検討—多施設共同研究によるサルコペニアの嚙下障害の病態解明	平野 愛	耳鼻咽喉・頭頸部外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
持続肺換気保存法を用いたドナー肺機能改善と長時間肺保存法の開発	大石 久	呼吸器外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
持続肺換気保存法を用いたドナー肺機能改善と長時間肺保存法の開発	平間 崇	呼吸器外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
医療行為の結果を質向上する多施設共同カイゼン研究デザインの確立に関する研究	田畑 雅央	医療安全推進室	0	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳がん患者における網羅的ゲノム・オミックス解析に基づく心毒性発症機序の解明	後岡 広太郎	循環器内科	0	補委	独立行政法人日本学術振興会
レセプトデータを用いた高齢者におけるPolypharmacyに関する薬剤疫学研究	富田 尚希	加齢老年病科	0	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外環境制御による細胞運命決定にかかる細胞内シグナル作動機構の解明	齋藤 幹	小児歯科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
医療行為の結果を質向上する多施設共同カイゼン研究デザインの確立に関する研究	西條 文人	医療安全推進室	50,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
種の壁を越えた異種代理母出産技術の開発による次の超生体医工学の開拓	菅原 淳史	産科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
集中治療後患者の機能回復を目指した継続的多職種フォローアップモデルの有効性の検証	松井 憲子	高度救命救急センター	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
集中治療後患者の機能回復を目指した継続的多職種フォローアップモデルの有効性の検証	井上 昌子	高度救命救急センター	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	仁尾正記	小児外科	16,900,000	補委	厚生労働省
臨床研究総合促進事業	張基 泰郎	病院	26,497,000	補委	厚生労働省

研究内容	担当 氏名	所属	予算(円)	委員	所属機関
希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木正志	脳神経内科	27,950,000	補 委	厚生労働省
透析情報の標準規格開発並びに透析診療施設間の連携を支援する標準化に関する研究	宮崎真理子	腎臓・高血圧内科	1,300,000	補 委	厚生労働省
認知症の病態の進行に影響する重症化因子の特定と進行予防への効果的な介入方法の確立のための研究	鈴木匡子	高次脳機能障害科	1,040,000	補 委	厚生労働省
認知症の病態の進行に影響する重症化因子の特定と進行予防への効果的な介入方法の確立のための研究	伊関千書	高次脳機能障害科	1,040,000	補 委	厚生労働省
希少がん診療・相談支援におけるネットワーク構築に資する研究	高橋雅信	腫瘍内科	1,500,000	補 委	厚生労働省
環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究	金森肇	総合感染症科	1,496,000	補 委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	浅野善英	皮膚科	8,000,000	補 委	厚生労働省
医療機器の適正使用指針作成及び見直しの最適化に関する研究	池田浩治	臨床研究推進センター	5,000,000	補 委	厚生労働省
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	青木正志	脳神経内科	700,000	補 委	厚生労働省
糖尿病の実態把握と発症予防・重症化予防のための研究	田中哲洋	腎臓・高血圧内科	300,000	補 委	厚生労働省
遺伝性白質疾患・知的障害をきたす疾患の診断・治療・研究システム構築	植松有里佳	小児科	600,000	補 委	厚生労働省
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリによる診療連携体制および相談機能の強化と診療ガイドラインの改訂	青木正志	脳神経内科	200,000	補 委	厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	仁尾正記	小児外科	300,000	補 委	厚生労働省
認知症診療医のための「特発性正常圧水頭症の鑑別診断とアルツハイマー病併存診断」をテーマとした診療連携	伊関千書	高次脳機能障害科	1,000,000	補 委	厚生労働省

行政機関、および行政機関連携構築のための実践的引き書と検査解説ビデオ」作成研究			1,000,000	委	
患者との双方向的協調に基づく先天異常症候群の自然歴の収集とrecontact可能なシステムの構築	青木洋子	遺伝科	800,000	補 委	厚生労働省
成長障害・性分化疾患を伴う内分泌症候群(ブラダーウィリ症候群・スーナン症候群を含む)の診療水準向上を目指す調査研究	青木洋子	遺伝科	300,000	補 委	厚生労働省
小児がん拠点病院・連携病院のQI(Quality Indicators)を評価指標としてがん対策推進基本計画の進捗管理を行う小児がん医療体制整備のための研究	笹原洋二	小児科	200,000	補 委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	青木正志	脳神経内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
スモンに関する調査研究	青木正志	脳神経内科	500,000	補 委	厚生労働省
筋ジストロフィーの標準的医療普及のための調査研究	青木正志	脳神経内科	300,000	補 委	厚生労働省
がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究	田上恵太	緩和医療科	500,000	補 委	厚生労働省
回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究	安田聡	循環器内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究	青木正志	脳神経内科	800,000	補 委	厚生労働省
就労定着支援の質の向上に向けたマニュアルの開発のための研究	藤川真由	てんかん科	500,000	補 委	厚生労働省
特発性心筋症の診断・ゲノム情報利活用に関する調査研究	安田聡	循環器内科	300,000	補 委	厚生労働省
臓器・組織移植医療における医療者の負担軽減、環境改善に資する研究	久志本成樹	救急科	300,000	補 委	厚生労働省
遺伝性骨髄不全症の登録システムの構築と診断基準・重症度分類、診断	張楚彦郎	血液内科	700,000	補	厚生労働省

事業内容及び成果 ガイドラインの確立に関する 研究	担当医師	所属科	100,000	委 補	厚生労働省
子宮頸がん検診における HPV検査導入に向けた実 際の運用と課題の検討のた めの研究	八重樫伸生	婦人科	500,000	補 委	厚生労働省
特発性造血障害に関する 調査研究	張替秀郎	血液内科	500,000	補 委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の 全国診療体制確立、移行 医療体制構築、診療ガイド ライン確立に関する研究	笹原洋二	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働省
希少難治性消化器疾患の 長期的QOL向上と小児期 からのシームレスな医療体 制構築	和田基	小児外科	200,000	補 委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁 疾患における、移行期医療 を含めた診療体制整備、患 者登録推進、全国疫学調 査に基づく診療ガイドライン 構築に関する研究	笹原洋二	小児科	600,000	補 委	厚生労働省
成人の侵襲性細菌感染症 サーベイランスの強化のた めの研究	大島謙吾	総合感染症科	450,000	補 委	厚生労働省
新生児スクリーニング対象 疾患等の先天代謝異常症 の成人期にいたる 診療体制構築と提供に関 する研究	和田陽一	小児科	600,000	補 委	厚生労働省
稀少てんかんの診療指針と 包括医療の研究	神一敬	てんかん科	550,000	補 委	厚生労働省
慢性活動性EBV病の疾患 レジストリ情報に基づく病型 別根治療法の確立	笹原洋二	小児科	150,000	補 委	厚生労働省
ミトコンドリア病の診療水準 やQOL 向上を目指した調 査研究	立花眞仁	産科	500,000	補 委	厚生労働省
肝炎ウイルス検査受検率の 向上及び受診へ円滑につ なげる方策の確立に資する 研究	井上淳	消化器内科	600,000	補 委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調 査研究	石井智徳	臨床研究推進セン ター	200,000	補 委	厚生労働省
オールジャパン体制による IgG4関連疾患の診断基準 並びに診療指針の確立を 目指す研究	正宗 淳	消化器内科	800,000	補 委	厚生労働省
慢性閉塞性肺疾患患者に おける加熱式たばこの経年	杉浦九敏	呼吸器内科	150,000	補	厚生労働省

的な肺機能への影響に関する前向き観察研究			100,000	委	厚生労働省
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	高瀬圭	放射線診断科	200,000	補 委	厚生労働省
難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	石井智徳	臨床研究推進センター	173,000	補 委	厚生労働省
放射線療法の提供体制構築に資する研究	神宮 啓一	放射線治療科	300,000	補 委	厚生労働省
がん患者に発症する心血管疾患・脳卒中の早期発見・早期介入に資する研究	石岡千加史	腫瘍内科	307,000	補 委	厚生労働省
がん患者に発症する心血管疾患・脳卒中の早期発見・早期介入に資する研究	高橋雅信	腫瘍内科	307,000	補 委	厚生労働省
がん患者に発症する心血管疾患・脳卒中の早期発見・早期介入に資する研究	神宮 啓一	放射線治療科	307,000	補 委	厚生労働省
痙攣性発声障害の疾患レジストリを活用した診療ガイドライン作成研究	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	70,000	補 委	厚生労働省
もやもや病(ウイルス動脈輪閉塞症)における難病医療体制の整備や患者のQOL向上に資する研究	遠藤英徳	脳神経外科	500,000	補 委	厚生労働省
口唇口蓋裂に関する実態把握、及び口唇口蓋裂を含めた育成医療の疾患全体の実態の推定を行う手法の検討のための研究	今井啓道	形成外科	105,000	補 委	厚生労働省
新規疾患の新生児マスキリーニングに求められる実施体制の構築に関する研究	和田陽一	小児科	100,000	補 委	厚生労働省
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床研究情報収集に関する研究(J-DREAMS)	片桐秀樹	糖尿病代謝・内分泌内科	300,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
外力によって骨組織再生を促す機械刺激応答型多機能性バイオマテリアルの開発	天雲 太一	咬合回復科	2,000,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
長寿社会に向けた血管老化メカニズムの解明	豊原 敬文	腎臓・高血圧内科	2,500,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
低CO2と低環境負荷を実現する微生物バイオリファイナー	由川 敦寛	脳神経外科	1,584,000	補	国立研究開発法人

アノミクス・イノベーションの創出			1,000,000	委	科学技術振興機構
胎児治療介入技術の研究開発におけるELSI/RRI及び技術的課題に関する検討	高野 忠夫	臨床研究監理センター	2,080,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
全世代対応型遠隔メンタルヘルスケアシステム(KOKOTOBO-J)によるメンタルヘルスプラットフォームの開発・社会実装拠点に関する東北大学による研究開発	富田 博秋	精神科	1,040,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
マルチモーダルAIを用いた視覚指標による幸福度評価	中澤 徹	眼科	19,500,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
①遠心性神経による臓器機能調節の実態解明とニューロン制御法の開発②糖尿病における脳血管の変容解明と制御	新妻 邦泰	脳神経外科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
先進遠隔医療のための在宅デジタル高齢者総合機能評価の開発	海老原 覚	リハビリテーション科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構

計 454件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入す
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Abe, T. Kanno, S.-I. Niihori, T.et	情報健康医学講座(遺伝医療学分野)(臨床)	LZTR1 deficiency exerts high metastatic potential by enhancing sensitivity to EMT induction and controlling KLHL12-mediated collagen secretion	Cell Death and Disease	Original Article
2	Amagai, R. Fujimura, T. Kambayashi, Y.et	皮膚科	Recurrent, Tumor Mutation Burden-High, Cutaneous Angiosarcoma of the Scalp Treated with Pembrolizumab	Case Reports in Oncology	Original Article
3	Amagai, R. Takahashi, T. Terui, H.et	皮膚科	The Antimicrobial Peptide Cathelicidin Exerts Immunomodulatory Effects via Scavenger Receptors	International Journal of Molecular Sciences	Original Article
4	Aoki, H. Mugikura, S. Shirane, R.et	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	Role of Magnetic Resonance Imaging in the Screening of Closed Spinal Dysraphism	Neurologia Medico-Chirurgica	Original Article
5	Baba, H. Kuroda, M. Sekizuka, T.et	総合感染症科	Highly sensitive detection of antimicrobial resistance genes in hospital wastewater using the multiplex hybrid capture target enrichment	mSphere	Original Article
6	Baba, K. Mori, Y. Chiba, D.et	整形外科	TiNbSn stems with gradient changes of Young's modulus and stiffness reduce stress shielding compared to the standard fit-and-fill stems	European Journal of Medical Research	Original Article
7	Bando, K. Tanaka, Y. Winiias, S.et	矯正歯科	IL-33 induces histidine decarboxylase, especially in c-kit+ cells and mast cells, and roles of histamine include negative regulation of IL-33-induced eosinophilia	Inflammation Research	Original Article
8	Chiba, Y. Yoshizaki, K. Sato, H.et	地域共生社会歯学講座(小児発達歯科学分野)	Deficiency of G protein-coupled receptor Gpr111/Adgrf2 causes enamel hypomineralization in mice by alteration of the expression of kallikrein-related peptidase 4 (Klk4) during pH cycling process	FASEB Journal	Original Article
9	Dodo, M. Ota, C. Ishikawa, M.et	地域共生社会歯学講座(予防歯科学分野)	Timing of Primary Tooth Eruption in Infants Observed by Their Parents	Children	Original Article
10	Ebihara, S. Okazaki, T. Miura, H.et	機能医科学講座(臨床障害学分野)(臨床)	Who treats older patients with aspiration pneumonia?	Geriatrics and Gerontology International	Letter
11	Ebihara, S. Okazaki, T. Obata, K.et	機能医科学講座(臨床障害学分野)(臨床)	Importance of Skeletal Muscle and Interdisciplinary Team Approach in Managing Pneumonia in Older People	Journal of Clinical Medicine	Others
12	Egusa, H.	リハビリテーション歯学講座(分子・再生歯科補綴学分野)	Beyond diversity in prosthodontic research	Journal of Prosthodontic Research	Others

13	Egusa, H.	リハビリテーション歯学講座 (分子・再生歯科補綴学分野)	Greetings from Editor-in-Chief	Journal of Prosthodontic Research	Others
14	Endo, A. Imai, J. Izumi, T.et	糖尿病代謝・内分泌内科	Phagocytosis by macrophages promotes pancreatic β cell mass reduction after parturition in mice	Developmental Cell	Original Article
15	Ezoe, Y. Matsui, K. Kouketsu, A.et	病態マネジメント歯学講座 (顎顔面口腔再建外科学分野)	Application to open wound extraction socket of new bone regenerative material	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	Original Article
16	Fujimura, T. Furudate, S. Maekawa, T.et	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	Cutaneous angiosarcoma treated with taxane-based chemoradiotherapy: A multicenter study of 90 Japanese cases	Skin Health and Disease	Original Article
17	Fujimura, T. Maekawa, T. Kato, H.et	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	Treatment for taxane-resistant cutaneous angiosarcoma: A multicenter study of 50 Japanese cases	Journal of Dermatology	Original Article
18	Fujita, M. Sato, T. Takase, K.et	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	Hepatic compartment syndrome treated with damage control surgery and transarterial embolization: A case report	Trauma Case Reports	Original Article
19	Fukuhara, N. Kato, K. Goto, H.et	内科病態学講座(血液内科学分野)(臨床)	Efficacy and safety of tisagenlecleucel in adult Japanese patients with relapsed or refractory follicular lymphoma: results from the phase 2 ELARA trial	International Journal of Hematology	Original Article
20	Fukuhara, N. Maruyama, D. Hatake, K.et	内科病態学講座(血液内科学分野)(臨床)	Safety and antitumor activity of copanlisib in Japanese patients with relapsed/refractory indolent non-Hodgkin lymphoma: a phase Ib/II study	International Journal of Hematology	Original Article
21	Fukutomi, T. Taniyama, Y. Sato, C.et	移植・再建・内視鏡外科	A Case of Esophageal Cancer Treated by Thoracoscopic Esophagectomy after Bilateral Cadaveric Lung Transplantation	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Original Article
22	Godo, S. Takahashi, J. Shiroto, T.et	循環器内科	Coronary Microvascular Spasm: Clinical Presentation and Diagnosis	European Cardiology Review	Review
23	Godo, S. Yasuda, S.	循環器内科	New Landscape of Acute Myocardial Infarction Complicated by Cardiogenic Shock With the Advent of a Small But Mighty Heart Pump	Circulation Journal	Others
24	Hamada, S. Masamune, A.	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	Tumor Markers in Pancreatic Malignancies	The Pancreas: an Integrated Textbook of Basic Science, Medicine, and Surgery, Fourth Edition	Others
25	Hao, K. Yasuda, S.	内科病態学講座(循環器内科学分野)(臨床)	Calcium-Channel Blockers: An Alternative Therapy to Beta-Blockers for Myocardial Infarction?	JACC: Asia	Others

26	Hashimoto, K. Tanaka, Y. Tsubakino, T.et	外科病態学講座(整形外科科学分野)(臨床)	Are T1-Weighted Three-Dimensional Magnetic Resonance Images Inferior to T2-Weighted Images for Diagnosing Lumbar Foraminal Stenosis in the Fifth Lumbar Nerve Root? A Prospective, Comparative Study in Identical Patients	Spine Surgery and Related Research	Original Article
27	Hata, T. Mizuma, M. Kusakabe, T.et	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	Simultaneous and sequential combination of genetic and epigenetic biomarkers for the presence of high-grade dysplasia in patients with pancreatic cyst: Discovery in cyst fluid and test in pancreatic juice	Pancreatology	Original Article
28	Hata, T. Mizuma, M. Motoi, F.et	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	Prognostic impact of postoperative circulating tumor DNA as a molecular minimal residual disease marker in patients with pancreatic cancer undergoing surgical resection	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	Original Article
29	Hatta, T. Shinagawa, K. Kawakami, J.et	整形外科	A survey and biomechanical analysis of the feasibility of the thumb test for determining the cancellous bone quality for stemless shoulder prosthesis	Journal of Orthopaedic Surgery	Original Article
30	Hatta, W. Gotoda, T. Koike, T.et	消化器内科	Which of endoscopic submucosal dissection or surgery should be selected in patients who have early gastric cancer with a risk factor for noncurative resection?	Digestive Endoscopy	Others
31	Hatta, W. Gotoda, T. Ogata, Y.et	消化器内科	W-eCura score versus eCura system: comparison in the external cohort is required	Gut	Letter
32	Hatta, W. Koike, T. Asonuma, S.et	消化器内科	Smoking history and severe atrophic gastritis assessed by pepsinogen are risk factors for the prevalence of synchronous gastric cancers in patients with gastric endoscopic submucosal dissection: a multicenter prospective cohort study	Journal of Gastroenterology	Original Article
33	Hatta, W. Toya, Y. Shimada, T.et	消化器内科	Treatment strategy after noncurative endoscopic resection for early gastric cancers in patients aged ≥ 85 years: a multicenter retrospective study in a highly aged area of Japan	Journal of Gastroenterology	Original Article
34	Hihara, H. Izumita, K. Kawata, T.et	リハビリテーション歯学講座(口腔システム補綴学分野)	A novel treatment based on powder jet deposition technique for dentin hypersensitivity: a randomized controlled trial	BMC Oral Health	Original Article
35	Hihara, H. Izumita, K. Kawata, T.et	リハビリテーション歯学講座(口腔システム補綴学分野)	Correction: A novel treatment based on powder jet deposition technique for dentin hypersensitivity: a randomized controlled trial (BMC Oral Health, (2023), 23, 1, (695), 10.1186/s12903-023-03431-y)	BMC Oral Health	Others
36	Hirama, T. Okada, Y.	呼吸器外科	Roles of respirologists in lung transplantation in Japan: narrative review	Journal of Thoracic Disease	Review
37	Honda, K. Sekiguchi, Y. Izumi, S.-I.	機能医科学講座(臨床障害学分野)(臨床)	Effect of Aging on the Trunk and Lower Limb Kinematics during Gait on a Compliant Surface in Healthy Individuals	Biomechanics (Switzerland)	Original Article
38	Honkura, Y. Katori, Y. Hirano-Kawamoto, A.et	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Transient connection between the vestibular aqueduct and utricle: A study using sagittal sections of human embryonic heads	Annals of Anatomy	Original Article

39	Hoshijima, H. Mihara, T. Sekii, H.et	病態マネジメント歯学講座 (歯科口腔麻酔学分野)	Incidence of long-term post-acute sequelae of SARS-CoV-2 infection related to pain and other symptoms: A systematic review and meta-analysis	PLoS ONE	Original Article
40	Ikumi, S. Shiga, T. Ueda, T.et	麻酔科	Intensive care unit mortality and cost-effectiveness associated with intensivist staffing: a Japanese nationwide observational study	Journal of Intensive Care	Original Article
41	Imai, H. Saijo, K. Kawamura, Y.et	腫瘍内科	Comparison of Efficacy and Safety between Carboplatin-Etoposide and Cisplatin-Etoposide Combination Therapy in Patients with Advanced Neuroendocrine Carcinoma: A Retrospective Study	Oncology (Switzerland)	Original Article
42	Irie, M. Nihori, T. Nakano, T.et	小児腫瘍科	Reduced-intensity conditioning is effective for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in infants with MECOM-associated syndrome	International Journal of Hematology	Original Article
43	Iseki, C. Hayasaka, T. Yanagawa, H.et	リハビリテーション部	Artificial Intelligence Distinguishes Pathological Gait: The Analysis of Markerless Motion Capture Gait Data Acquired by an iOS Application (TDPT-GT)	Sensors	Original Article
44	Iseki, C. Suzuki, S. Fukami, T.et	リハビリテーション部	Fluctuations in Upper and Lower Body Movement during Walking in Normal Pressure Hydrocephalus and Parkinson's Disease Assessed by Motion Capture with a Smartphone Application, TDPT-GT	Sensors	Original Article
45	Iseki, M. Mizuma, M. Unno, M.et	肝・胆・膵外科	Prognostic impact of postoperative infection after resection of biliary malignancy: A multicenter retrospective cohort study	Surgery (United States)	Original Article
46	Ishi, S. Kanno, E. Tanno, H.et	形成外科	Cutaneous wound healing promoted by topical administration of heat-killed Lactobacillus plantarum KB131 and possible contribution of CARD9-mediated signaling	Scientific Reports	Original Article
47	Ishida, H. Kasajima, A. Yamauchi, T.et	移植・再建・内視鏡外科	A diagnostic pitfall; small cell carcinoma-like features in basaloid squamous cell carcinoma of the esophagus	Histology and Histopathology	Original Article
48	Ishida, T. Ikeya, S. Suzuki, Y.et	脳神経外科	Efficacy of selective transarterial chemoembolization for recurrent liver metastases from intracranial meningioma: A case report	Radiology Case Reports	Original Article
49	Ishii, T. Sato, Y. Munakata, Y.et	リウマチ膠原病内科	Pharmacokinetics, pharmacodynamics, and safety of single-dose subcutaneous sarilumab with or without methotrexate in Japanese patients with rheumatoid arthritis: Two single-dose studies	Modern rheumatology	Original Article
50	Ishikawa, M. Izumi, Y. Sato, K.et	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	Corrigendum: Glaucoma and microglia-induced neuroinflammation(Front. Ophthalmol., (2023), 3, (1132011), 10.3389/fopht.2023.1132011)	Frontiers in Ophthalmology	Others
51	Ishikawa, M. Izumi, Y. Sato, K.et	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	Glaucoma and microglia-induced neuroinflammation	Frontiers in Ophthalmology	Others

52	Iwama, R. Miyashita, H. Koketsu, A.et	病態マネジメント歯学講座 (顎顔面口腔腫瘍外科学分野)	A case of synchronous double cancers consisting of maxillary gingival carcinoma and intraductal papillary mucinous carcinoma, invasive: case report	BMC Oral Health	Original Article
53	Iwama, R. Nagai, H. Suzuki, N.et	病態マネジメント歯学講座 (顎顔面口腔腫瘍外科学分野)	A case of giant dental calculus in a patient with centronuclear myopathy	Special Care in Dentistry	Original Article
54	Iwatsu, J. Yabe, Y. Kanazawa, K.et	整形外科	Extracorporeal shockwave therapy in an immobilized knee model in rats prevents progression of joint contracture	Journal of Orthopaedic Research	Original Article
55	Iwatsu, J. Yabe, Y. Sekiguchi, T.et	整形外科	Knee pain in young sports players aged 6-15 years: a cross-sectional study in Japan	BMC Sports Science, Medicine and Rehabilitation	Original Article
56	Jingu, K. Umezawa, R. Yamamoto, T.et	内科病態学講座(放射線腫瘍学分野)(臨床)	Recent Postoperative Radiotherapy for Left-sided Breast Cancer Does Not Increase Mortality of Heart Disease in Asians or Pacific Islanders: SEER Database Analysis	Anticancer Research	Original Article
57	Kadoya, N. Kimura, Y. Tozuka, R.et	放射線治療科	Evaluation of deep learning-based deliverable VMAT plan generated by prototype software for automated planning for prostate cancer patients	Journal of Radiation Research	Original Article
58	Kajita, T. Nogami, S. Matsui, K.et	病態マネジメント歯学講座 (顎顔面口腔腫瘍外科学分野)	Reconstruction of the alveolar cleft using a custom-made titanium mesh tray and particulate cancellous bone and marrow in an elderly patient with cleft lip and palate: A case report	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	Original Article
59	Kakuta, Y. Kato, M. Shimoyama, Y.et	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	Usefulness and difficulties with the thiopurine pharmacogenomic NUDT15 genotyping test: Analysis of real-world data in Japan	Journal of Pharmacological Sciences	Original Article
60	Kakuta, Y. Kinouchi, Y. Masamune, A.	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	Genetics of inflammatory bowel disease in East Asia: From population to individual	Journal of Gastroenterology and Hepatology (Australia)	Original Article
61	Kakuta, Y. Naito, T. Kinouchi, Y.et	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	Current Status and Future Prospects of Inflammatory Bowel Disease Genetics	Digestion	Review
62	Kakuta, Y. Shirai, T. McGovern, D.P.B.et	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	Novel Diagnostic Autoantibodies Against Endothelial Protein C Receptor in Patients With Ulcerative Colitis	Clinical Gastroenterology and Hepatology	Others
63	Kamada, H. Nakamura, M. Ota, H.et	放射線診断科	Individualized risk assessment of recanalization of visceral aneurysms using stagnation of intra-aneurysmal flow	Journal of Biorheology	Original Article
64	Kamada, H. Seiji, K. Oguro, S.et	放射線診断科	Utility of Carbon Dioxide Venography and Intraprocedural CT for Adrenal Venous Sampling in Patients with an Allergy to Iodinated Contrast Media	Journal of Vascular and Interventional Radiology	Original Article
65	Kamano, Y. Terajima, N. Chiba, Y.et	歯内療法科	Japanese Laws and the Current Status of Regenerative Medicine in the Tohoku Region	Journal of Contemporary Dental Practice	Review

66	Kanamori, H. Rutala, W.A. Sickbert- Bennett, E.E.et	内科病態学講座(総合感染 症学分野)(臨床)	Role of the contaminated environment in transmission of multidrug-resistant organisms in nursing homes and infection prevention	American Journal of Infection Control	Original Article
67	Kanamori, M. Shimoda, Y. Umezawa, R.et	神経・感覚器病態学講座(神 経外科学分野)(臨床)	Salvage craniospinal irradiation for recurrent intracranial germinoma: a single institution analysis	Journal of radiation research	Original Article
68	Kanaya, A. Mihara, T. Tanaka, S.et	外科病態学講座(麻酔科学・ 周術期医学分野)(臨床)	Association between the Depth of Sevoflurane or Propofol Anesthesia and the Incidence of Emergence Agitation in Children: A Single-Center Retrospective Study	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
69	Kanemaru, A. Ito, Y. Yamaoka, M.et	開発推進部門	Wnt/ β -catenin signaling is a novel therapeutic target for tumor suppressor CYLD-silenced glioblastoma cells	Oncology Reports	Original Article
70	Kanno, H. Hashimoto, K. Takahashi, K.et	外科病態学講座(整形外科 学分野)(臨床)	THREE-COLUMN OSTEOTOMY WITH COMBINATION OF COMPRESSION HOOK AND PEDICLE SCREW FIXATION FOR ADULT SPINAL DEFORMITY IN PATIENTS WITH PARKINSON'S DISEASE	Journal of Musculoskeletal Research	Original Article
71	Kanno, T. Arata, Y. Hatayama, Y.et	内科病態学講座(消化器病 態学分野)(臨床)	Novel simulator of endoscopic hemostasis with actual endoscope and devices	VideoGIE	Original Article
72	Kashima, K. Watanabe, K. Sato, T.et	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Analysis of Dysphagia and Cough Strength in Patients with Unilateral Vocal Fold Paralysis	Dysphagia	Original Article
73	Katagiri, H.	内科病態学講座(糖尿病代 謝・内分泌内科学分野)(臨 床)	Inter-organ communication involved in metabolic regulation at the whole-body level	Inflammation and Regeneration	Review
74	Katsuta, Y. Kadoya, N. Kajikawa, T.et	放射線部	Radiation pneumonitis prediction model with integrating multiple dose-function features on 4DCT ventilation images	Physica Medica	Original Article
75	Kawakami, N. Kanno, S. Ota, S.et	機能医科学講座(高次機能 障害学分野)(臨床)	Auditory phonological identification impairment in primary progressive aphasia	Cortex	Original Article
76	Kawana, Y. Imai, J. Morizawa, Y.M.et	糖尿病代謝・内分泌内科	Optogenetic stimulation of vagal nerves for enhanced glucose-stimulated insulin secretion and β cell proliferation	Nature Biomedical Engineering	Original Article
77	Kawasaki, Y. Ishidoya, S. Morimoto, R.et	泌尿器科	Laparoscopic Adrenalectomy Is Beneficial for the Health-Related Quality of Life of Older Patients with Primary Aldosteronism	Urologia Internationalis	Original Article
78	Kawasaki, Y. Saito, H. Ioritani, N.et	泌尿器科	Real-world outcomes of patients with renal cell carcinoma, surgically treated at regional hospitals, based on a prospective long-term survey of the pre-robotic era	International Urology and Nephrology	Original Article

79	Kayano, S. Ota, H. Sato, Y.et	放射線部門	Erratum to “Carotid computed tomography angiography after cobalt-based alloy carotid artery stenting using ultra-high-resolution computed tomography with model-based iterative reconstruction” [Radiol Case Rep 2021;16:3721-8] (Radiology Case Reports (2021) 16(12) (3721-3728), (S193004332100649X), (10.1016/j.radcr.2021.09.003))	Radiology Case Reports	Others
80	Kikuta, K. Masamune, A.	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	Early Chronic Pancreatitis	The Pancreas: an Integrated Textbook of Basic Science, Medicine, and Surgery, Fourth Edition	Others
81	Kiyota, N. Namekata, K. Nishijima, E.et	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	Effects of constitutively active K-Ras on axon regeneration after optic nerve injury	Neuroscience Letters	Original Article
82	Kobayashi, N. Watanabe, K. Murakami, H.et	集中治療部	Continuous visualization and validation of pain in critically ill patients using artificial intelligence: a retrospective observational study	Scientific Reports	Original Article
83	Kohata, M. Kodama, S. Yaoita, N.et	糖尿病代謝・内分泌内科	A case of fulminant type 1 diabetes and protein C deficiency complicated by deep vein thrombosis	Journal of Diabetes Investigation	Original Article
84	Kojima, I. Shimada, Y. Watanabe, N.et	顎口腔画像診断科	Imaging findings of arrested pneumatization and differentiation from other skull base lesions	Dentomaxillofacial Radiology	Original Article
85	Komatsu, H. Ono, T. Onouchi, Y.et	精神科	Polydipsia and autistic traits in patients with schizophrenia spectrum disorders	Frontiers in Psychiatry	Original Article
86	Komatsu, H. Onoguchi, G. Jerotic, S.et	精神科	Correction: Retinal layers and associated clinical factors in schizophrenia spectrum disorders: a systematic review and meta-analysis (Molecular Psychiatry, (2022), 27, 9, (3592-3616), 10.1038/s41380-022-01591-x)	Molecular Psychiatry	Others
87	Kondo, T. Gleason, A. Okawa, H.et	次世代歯科材料工学講座	Mouse gingival single-cell transcriptomic atlas identified a novel fibroblast subpopulation activated to guide oral barrier immunity in periodontitis	eLife	Original Article
88	Kondo, T. Kakinuma, H. Fujimura, K.et	次世代歯科材料工学講座	Incomplete Polymerization of Dual-Cured Resin Cement Due to Attenuated Light through Zirconia Induces Inflammatory Responses	International Journal of Molecular Sciences	Original Article
89	Kondo, T. Kanayama, K. Egusa, H.et	次世代歯科材料工学講座	Current perspectives of residual ridge resorption: Pathological activation of oral barrier osteoclasts	Journal of Prosthodontic Research	Review
90	Kouketsu, A. Haruka, S. Kuroda, K.et	病態マネジメント歯学講座(顎顔面口腔腫瘍外科学分野)	Myeloid-derived suppressor cells and plasmacytoid dendritic cells are associated with oncogenesis of oral squamous cell carcinoma	Journal of Oral Pathology and Medicine	Original Article
91	Kudo, H. Wada, M.	小児外科	Pediatric intestinal rehabilitation	Current Opinion in Organ Transplantation	Review

92	Kumagai, Y. Kemp, M.W. Usuda, H.et	発生・発達医学講座(周産期医学分野)(臨床)	A Reduction in Antenatal Steroid Dose Was Associated with Reduced Cardiac Dysfunction in a Sheep Model of Pregnancy	Reproductive Sciences	Original Article
93	Kumondai, M. Kikuchi, M. Mizuguchi, A.et	薬剤部	Therapeutic Drug Monitoring of Blood Sirolimus and Tacrolimus Concentrations for Polypharmacy Management in a Lymphangiomyomatosis Patient Taking Two Cytochrome P450 3A Inhibitors	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
94	Kumondai, M. Maekawa, M. Hishinuma, E.et	薬剤部	Development of a Simultaneous Liquid Chromatography-Tandem Mass Spectrometry Analytical Method for Urinary Endogenous Substrates and Metabolites for Predicting Cytochrome P450 3A4 Activity	Biological and Pharmaceutical Bulletin	Original Article
95	Kurobane, T. Mori, S. Miyashita, H.et	歯科顎口腔外科(疾患制御グループ)	Mandibular osteomyelitis showing remarkable bone resorption in association with Entamoeba gingivalis infection: Report of two cases	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	Original Article
96	Kurobane, T. Nogami, S. Otake, Y.et	歯科顎口腔外科(疾患制御グループ)	Clinical comparison between bilateral and unilateral mandibular condyle fractures combined with symphysis fractures - A retrospective study	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	Original Article
97	Kusama, T. Takeuchi, K. Kiuchi, S.et	データサイエンス部門	Dental prosthesis use is associated with higher protein intake among older adults with tooth loss	Journal of Oral Rehabilitation	Original Article
98	Kusama, T. Takeuchi, K. Tamada, Y.et	データサイエンス部門	Compliance Trajectory and Patterns of COVID-19 Preventive Measures, Japan, 2020-2022	Emerging Infectious Diseases	Original Article
99	Masamune, A. Kikuta, K. Kume, K.	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	Alcohol and Smoking in Chronic Pancreatitis	The Pancreas: an Integrated Textbook of Basic Science, Medicine, and Surgery, Fourth Edition	Others
100	Mishima, E. Nakamura, T. Zheng, J.et	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	DHODH inhibitors sensitize to ferroptosis by FSP1 inhibition	Nature	Others
101	Mishima, E. Wahida, A. Seibt, T.et	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	Diverse biological functions of vitamin K: from coagulation to ferroptosis	Nature Metabolism	Original Article
102	Miyashita, M. Balogun, O.B. Olopade, O.I.et	乳腺・内分泌外科	The optimization of postoperative radiotherapy in de novo stage IV breast cancer: evidence from real-world data to personalize treatment decisions	Scientific Reports	Original Article
103	Mori, Y. Fujimori, S. Kurishima, H.et	整形外科	Antimicrobial Properties of TiNbSn Alloys Anodized in a Sulfuric Acid Electrolyte	Materials	Original Article
104	Mori, Y. Hamai, R. Aizawa, T.et	整形外科	Impact of Octacalcium Phosphate/Gelatin (OCP/Gel) Composite on Bone Repair in Refractory Bone Defects	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Review
105	Mori, Y. Mori, N.	整形外科	Anticipations for advancement of non-contrast MRI sequences suitable for longitudinal studies of rheumatoid arthritis	Radiologia Medica	Letter

106	Mori, Y. Mori, N.	整形外科	Approaches to reduce periprosthetic bone resorption after total hip arthroplasty	Journal of Bone and Mineral Metabolism	Letter
107	Mori, Y. Mori, N.	整形外科	Dynamic contrast-enhanced MRI could assess the local disease activity of enthesitis and dactylitis in patients with spondyloarthritis	Skeletal Radiology	Letter
108	Mori, Y. Mori, N.	整形外科	Effect of vitamin D administration on muscle function improvement depending on vitamin D sufficiency status	Journal of Bone and Mineral Metabolism	Letter
109	Mori, Y. Mori, N.	整形外科	Letter to the Editor Regarding “Comparison of Efficacy of Percutaneous Vertebroplasty Versus Percutaneous Kyphoplasty in the Treatment of Osteoporotic Vertebral Asymmetric Compression Fracture”	World Neurosurgery	Others
110	Mori, Y. Mori, N.	整形外科	Letter to the Editor: Development of image analysis methods that reflect muscle weakness and fall risk	Skeletal Radiology	Letter
111	Mori, Y. Mori, N. Aizawa, T.	整形外科	Validating MRI and ultrasound findings to predict bone destruction in rheumatoid arthritis	Modern Rheumatology	Letter
112	Mori, Y. Ueno, K. Chiba, D.et	整形外科	Genome-Wide Association Study and Transcriptome of Japanese Patients with Developmental Dysplasia of the Hip Demonstrates an Association with the Ferroptosis Signaling Pathway	International Journal of Molecular Sciences	Original Article
113	Morishima, H. Nogami, S. Igarashi, A.et	歯科顎口腔外科(形態機能グループ)	A case of tenosynovial giant cell tumor secondary to synovial chondromatosis in the temporomandibular joint	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	Original Article
114	Moroi, R. Kakuta, Y. Obara, T.et	消化器内科	Long-term prognosis and clinical practice for new-onset ulcerative colitis in the era of biologics: A Japanese retrospective study	JGH Open	Original Article
115	Moroi, R. Tarasawa, K. Ikeda, M.et	消化器内科	Severity of acute pancreatitis in patients with inflammatory bowel disease in the era of biologics: A propensity-score-matched analysis using a nationwide database in Japan	JGH Open	Original Article
116	Moroi, R. Tarasawa, K. Nagai, H.et	消化器内科	Effectiveness of Antibiotics for Uncomplicated Diverticulitis: A Retrospective Investigation Using a Nationwide Database in Japan	Digestion	Original Article
117	Nakata, T. Shindo, T. Ito, K.et	循環器内科	Beneficial Effects of Low-Intensity Pulsed Ultrasound Therapy on Right Ventricular Dysfunction in Animal Models	JACC: Basic to Translational Science	Original Article
118	Nishigori, H. Nishigori, T. Obara, T.et	臨床研究監理センター	Prenatal folic acid supplement/dietary folate and cognitive development in 4-year-old offspring from the Japan Environment and Children’s Study	Scientific Reports	Original Article
119	Nishimiya, K. Poduval, R.K. Tearney, G.J.	内科病態学講座(循環器内科学分野)(臨床)	OCT Emerging Technologies: Coronary Micro-optical Coherence Tomography	Interventional Cardiology Clinics	Review

120	Nishimiya, K. Takahashi, J. Oyama, K.et	内科病態学講座(循環器内科学分野)(臨床)	Mechanisms of Coronary Artery Spasm	European Cardiology Review	Review
121	Nochioka, K. Kato, S. Pileggi, G.et	臨床研究パートナー部門	Serial assessment of cardiothoracic ratio as a predictor of progression from stage B to stage C heart failure in asymptomatic patients with cardiac diseases	IJC Heart and Vasculature	Letter
122	Nochioka, K. Shiroto, T. Hayashi, H.et	臨床研究パートナー部門	Long-term prognostic significance of history of cancer and atrial fibrillation in coronary artery disease	IJC Heart and Vasculature	Original Article
123	Noda, T. Ueda, N. Tanaka, Y.et	循環器内科	Cost-effectiveness analysis of cardiac implantable electronic devices with reactive atrial-based antitachycardia pacing	Europace	Original Article
124	Noguchi, T. Kitauro, H. Marahleh, A.et	矯正歯科	Fermented Rice Bran Supplementation Inhibits LPS-Induced Osteoclast Formation and Bone Resorption in Mice	Nutrients	Original Article
125	Notsuda, H. Tomiyama, F. Onodera, K.et	呼吸器外科	Systemic-to-pulmonary artery shunt treated with transcatheter arterial embolization and subsequent lung segmentectomy	Egyptian Heart Journal	Original Article
126	Numazaki, K. Seiryu, M. Yamauchi, K.et	矯正歯科	Combined surgical-orthodontic and prosthetic treatment of a partially edentulous patient with skeletal Class III malocclusion	Clinical and Investigative Orthodontics	Original Article
127	Ogata, Y. Hatta, W. Koike, T.et	消化器内科	Blue light imaging and linked color imaging as a screening mode for esophageal squamous cell carcinoma in high-risk patients: Multicenter randomized trial	Digestive Endoscopy	Original Article
128	Oguro, S. Ota, H. Yanagaki, S.et	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	Transvenous Radiofrequency Catheter Ablation for an Aldosterone-Producing Tumor of the Left Adrenal Gland: A First in Human Case Report	CardioVascular and Interventional Radiology	Original Article
129	Oishi, H. Okada, Y. Sato, M.et	呼吸器外科	Prognostic factors for lung transplant recipients focusing on age and gender: the Japanese lung transplantation report 2022	Surgery Today	Original Article
130	Oishi, H. Okada, Y. Suzuki, Y.et	呼吸器外科	Impact of intraoperative use of venovenous extracorporeal membrane oxygenation on the status of von Willebrand factor large multimers during single lung transplantation	Journal of Thoracic Disease	Original Article
131	Omodaka, S. Matsumoto, Y. Fujimori, T.et	脳神経外科	Six-month Outcomes after PulseRider- and Conventional Single Stent-assisted Embolization for Bifurcation Aneurysms: A Propensity-adjusted Comparison	Neurologia Medico-Chirurgica	Original Article
132	Onishi, Y. Furukawa, E. Kamata, M.et	血液内科	Outcomes of adult patients with early T-cell precursor (ETP) acute lymphoblastic leukemia/lymphoma (ALL) and non-ETP T-ALL	International Journal of Hematology	Original Article
133	Onishi, Y. Mori, T. Yamazaki, H.et	血液内科	Comparison of Haploidentical Stem Cell Transplantation with Post-Transplantation Cyclophosphamide versus Umbilical Cord Blood Transplantation in Adult Patients with Aplastic Anemia	Transplantation and Cellular Therapy	Original Article

134	Onodera, K. Yokota, I. Matsumura, Y.et	呼吸器外科	Efficacy of platinum-based adjuvant chemotherapy for epidermal growth factor receptor-mutant lung adenocarcinoma	Journal of Thoracic Disease	Original Article
135	Osada, Y. Kanamori, M. Osawa, S.- I.et	脳神経外科	Visualization of the lenticulostriate arteries, long insular arteries, and long medullary arteries on intra-arterial computed tomography angiography with ultrahigh resolution in patients with glioma	Acta Neurochirurgica	Original Article
136	Oshima, K.	総合感染症科	Clinical Characteristics of Human Pulmonary Dirofilariasis in Japan: An Uncommon Differential Diagnosis of a Solitary Pulmonary Nodule	Japanese Journal of Infectious Diseases	Original Article
137	Saijo, K. Imai, H. Ouchi, K.et	腫瘍内科	Depth of response may predict clinical outcome in patients with recurrent/metastatic head and neck cancer treated with pembrolizumab-containing regimens	Frontiers in Oncology	Original Article
138	Saito, H. Sugino, S. Moteki, S.et	手術部	Quantification of muscle tone by using shear wave velocity during an anaesthetic induction: a prospective observational study	BMC Anesthesiology	Original Article
139	Saito, K. Iwasaki, Y. Tasaki, T.et	手術部	Aortic valve replacement in a 41-year-old woman with uncorrected tetralogy of Fallot, pulmonary atresia, and major aortopulmonary collateral arteries: a case report	JA Clinical Reports	Original Article
140	Saito, R. Sugawara, S. Ko, R.et	内科病態学講座(呼吸器内科学分野)(臨床)	Phase 2 study of osimertinib in combination with platinum and pemetrexed in patients with previously untreated EGFR-mutated advanced non-squamous non-small cell lung cancer: The OPAL Study	European Journal of Cancer	Original Article
141	Sakamoto, K. Saito, N. Yoshida, S.et	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	A Dynamic, Economical, and Robust Coding Scheme in the Lateral Prefrontal Neurons of Monkeys	Lecture Notes in Computer Science (including subseries Lecture Notes in Artificial Intelligence and Lecture Notes in Bioinformatics)	Others
142	Sakisaka, Y. Ishihata, H. Maruyama, K.et	歯周病科	Serial Cultivation of an MSC-Like Cell Line with Enzyme-Free Passaging Using a Microporous Titanium Scaffold	Materials	Original Article
143	Sakurai, T. Nakamura, M. Sasaki, H.et	小児外科	Risk factors for catheter-related bloodstream infections in patients with intestinal failure undergoing home parenteral nutrition: a single-center study	Pediatric Surgery International	Original Article
144	Sato, A. Suzuki, S. Yuan, H.et	係・講座に所属しない職員	Pharmacological Activation of YAP/TAZ by Targeting LATS1/2 Enhances Periodontal Tissue Regeneration in a Murine Model	International Journal of Molecular Sciences	Original Article
145	Sato, H. Nishiyama, M. Morita, N.et	小児外科	Mitochondrial connexin43 and mitochondrial KATP channels modulate triggered arrhythmias in mouse ventricular muscle	Pflugers Archiv European Journal of Physiology	Original Article
146	Sato, S. Watanabe, S. Saito, Y.et	周産母子センター	High Expression of Adrenal Cortisol Synthases Is Acquired After Intrauterine Inflammation in Periviable Sheep Fetuses	Journal of the Endocrine Society	Original Article

147	Sato, T. Sano, T. Kawamura, S.et	泌尿器科	Improving compliance with guidelines may lead to favorable clinical outcomes for patients with non-muscle-invasive bladder cancer: A retrospective multicenter study	International Journal of Urology	Original Article
148	Sato, Y. Hishinuma, E. Yamazaki, S.et	移植・再建・内視鏡外科	Functional Characterization of 29 Cytochrome P450 4F2 Variants Identified in a Population of 8,380 Japanese Subjects and Assessment of Arachidonic Acid ω -Hydroxylation	Drug Metabolism and Disposition	Original Article
149	Satoh, T. Yaoita, N. Nochioka, K.et	循環器内科	Inhaled nitric oxide testing in predicting prognosis in pulmonary hypertension due to left-sided heart diseases	ESC Heart Failure	Original Article
150	Segawa, R. Kyoda, T. Yagisawa, M.et	医療薬学講座(生活習慣病治療薬学分野)	Hypoxia-inducible factor prolyl hydroxylase inhibitors suppressed thymic stromal lymphopoietin production and allergic responses in a mouse air-pouch-type ovalbumin sensitization model	International Immunopharmacology	Original Article
151	Seto, M. Usukura, H. Kunii, Y.et	リハビリテーション部門	Mental Health Problems among University Students under the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Repeated Cross-Sectional Survey	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
152	Shibuya, Y. Kudo, K. Zeligs, K.P.et	婦人科	SMAC Mimetics Synergistically Cooperate with HDAC Inhibitors Enhancing TNF- α Autocrine Signaling	Cancers	Original Article
153	Shiga, H. Kakuta, Y. An, K.et	消化器内科	Response to COVID-19 vaccine is reduced in patients with inflammatory bowel disease, but improved with additional dose	Journal of Gastroenterology and Hepatology (Australia)	Original Article
154	Shiga, H. Takahashi, T. Shiraki, M.et	消化器内科	Reduced antiviral seropositivity among patients with inflammatory bowel disease treated with immunosuppressive agents	Scandinavian Journal of Gastroenterology	Original Article
155	Shigeta, S. Shimada, M. Tsuji, K.et	発生・発達医学講座(婦人科学分野)(臨床)	Surgically treated cervical cancer in a high-risk group in the era of the 2018 FIGO staging schema: a nationwide study	Scientific Reports	Original Article
156	Shijo, T. Ikeda, R. Suzuki, N.et	神経・感覚器病態学講座(神経内科学分野)(臨床)	Videofluoroscopic Dysphagia Scale as an Additional Indicator of Gastrostomy in Patients with Amyotrophic Lateral Sclerosis with Dysphagia	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
157	Shimada, Y. Kojima, I. Nishioka, T.et	病態マネジメント歯学講座(歯科医用情報学分野)	Root canal narrowing patterns of mandibular first premolars on panoramic radiographs according to the number of root canals diagnosed on cone beam computed tomographic images	Odontology	Original Article
158	Shimoda, H. Yamauchi, K. Takahashi, T.	歯科顎口腔外科	Transient asystole associated with vasovagal reflex in an oral surgery patient: A case report	SAGE Open Medical Case Reports	Original Article
159	Shimura, M. Mizuma, M. Motoi, F.et	胃腸外科	Negative prognostic impact of sarcopenia before and after neoadjuvant chemotherapy for pancreatic cancer	Pancreatology	Original Article
160	Shindo, T. Ito, K. Ogata, T.et	循環器内科	A randomized, double-blind, placebocontrolled pilot trial of low-intensity pulsed ultrasound therapy for refractory angina pectoris	PLoS ONE	Original Article

161	Shirai, T. Machiyama, T. Sato, H.et	リウマチ膠原病内科	Intensive induction therapy combining tofacitinib, rituximab and plasma exchange in severe anti-melanoma differentiation-associated protein-5 antibody-positive dermatomyositis	Clinical and Experimental Rheumatology	Original Article
162	Shirai, T. Sato, H. Ishii, T.et	リウマチ膠原病内科	Dysbiosis in Takayasu arteritis complicated with infectious endocarditis following tocilizumab administration	Scandinavian Journal of Rheumatology	Letter
163	Shirai, T. Suzuki, J. Kuniyoshi, S.et	リウマチ膠原病内科	Granulomatosis with polyangiitis following Pfizer-BioNTech COVID-19 vaccination	Modern Rheumatology Case Reports	Original Article
164	Shirai, T. Watanabe, S. Shinozaki, N.O.et	リウマチ膠原病内科	Common dysbiosis features between patients of different social environments in Takayasu arteritis: comment on the article by Fan et al	Arthritis and Rheumatology	Letter
165	Shirota, H. Komine, K. Takahashi, M.et	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	Clinical decisions by the molecular tumor board on comprehensive genomic profiling tests in Japan: A retrospective observational study	Cancer Medicine	Original Article
166	Shishido, S. Inagaki, R. Kanno, T.et	先端フリーラジカル制御学講座	Residual stress associated with crystalline phase transformation of 3-6 mol% yttria-stabilized zirconia ceramics induced by mechanical surface treatments	Journal of the Mechanical Behavior of Biomedical Materials	Original Article
167	Sugawara, H. Imai, J. Yamamoto, J.et	糖尿病代謝・内分泌内科	A highly sensitive strategy for monitoring real-time proliferation of targeted cell types in vivo	Nature Communications	Original Article
168	Sugeno, N. Hasegawa, T.	神経・感覚器病態学講座(神経内科学分野)(臨床)	Unraveling the Complex Interplay between Alpha-Synuclein and Epigenetic Modification	International Journal of Molecular Sciences	Review
169	Sugeno, N. Hasegawa, T. Haginoya, K.et	神経・感覚器病態学講座(神経内科学分野)(臨床)	Detection of Modified Histones from Oral Mucosa of a Patient with DYT- KMT2B Dystonia	Molecular Syndromology	Original Article
170	Suzuki, J. Hemmi, T. Maekawa, M.et	神経・感覚器病態学講座(耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)(臨床)	Fatty acid binding protein type 7 deficiency preserves auditory function in noise-exposed mice	Scientific Reports	Original Article
171	Suzuki, J. Zen, H. Kazawa, H.	神経・感覚器病態学講座(耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)(臨床)	Extracting representative subset from extensive text data for training pre-trained language models	Information Processing and Management	Original Article
172	Suzuki, N. Mori- Yoshimura, M. Katsuno, M.et	機能医科学講座(臨床障害学分野)(臨床)	Phase II/III Study of Aceneuramic Acid Administration for GNE Myopathy in Japan	Journal of Neuromuscular Diseases	Original Article
173	Suzuki, N. Nishiyama, A. Warita, H.et	機能医科学講座(臨床障害学分野)(臨床)	Genetics of amyotrophic lateral sclerosis: seeking therapeutic targets in the era of gene therapy	Journal of Human Genetics	Review
174	Suzuki, S. Sasaki, K. Fahreza, R.R.et	歯周病科	The histone deacetylase inhibitor MS-275 enhances the matrix mineralization of dental pulp stem cells by inducing fibronectin expression	Journal of Dental Sciences	Original Article

175	Tada, H. Gonda, K. Kitamura, N.et	外科病態学講座(乳腺・内分 泌外科学分野)(臨床)	Clinical Significance of ABCG2/BCRP Quantified by Fluorescent Nanoparticles in Breast Cancer Patients Undergoing Neoadjuvant Chemotherapy	Cancers	Original Article
176	Tadano, M. Matsunaga, Y. Saito, K.et	地域共生社会歯学講座(小 児発達歯科学分野)	The correlation between the inner canthal distance and maxillary mesiodens in children	Pediatric Dental Journal	Original Article
177	Takahashi, K. Hashimoto, K. Onoki, T.et	整形外科	Anterior shift of the ventral dura mater: A novel concept of the posterior surgery for ossification of the posterior longitudinal ligament in thoracic spine	Frontiers in Surgery	Original Article
178	Takahashi, K. Latt, M.M. Tsubakino, T.et	整形外科	Reliability of Conventional Two-Dimensional Magnetic Resonance Imaging for Diagnosing Extraforaminal Stenosis in Lumbosacral Transition	Spine Surgery and Related Research	Original Article
179	Takahashi, K. Toyama, H. Ejima, Y.et	麻酔科	Endotracheal tube, by the venturi effect, reduces the efficacy of increasing inlet pressure in improving pendelluft	PLoS ONE	Original Article
180	Takahashi, K. Toyama, H. Kubo, R.et	麻酔科	Effectiveness of substantial shortening of the endotracheal tube for decreasing airway resistance and increasing tidal volume during pressure-controlled ventilation in pediatric patients: a prospective observational study	Journal of Clinical Monitoring and Computing	Original Article
181	Takahashi, K. Yadav, A. Tsubakino, T.et	整形外科	Radical decompression without fusion for L5 radiculopathy due to foraminal stenosis	Journal of Spine Surgery	Original Article
182	Takahashi, K. Yamada, T. Hosaka, S.et	内科病態学講座(糖尿病代 謝・内分泌内科学分野)(臨 床)	Inter-organ insulin-leptin signal crosstalk from the liver enhances survival during food shortages	Cell Reports	Original Article
183	Takahashi, N. Kiyota, N. Kunikata, H.et	眼科	Vasoreactivity of the optic nerve head, naifold, and facial skin in response to cold provocation in normal-tension glaucoma patients	BMC Ophthalmology	Original Article
184	Takahashi, N. Omodaka, K. Kikawa, T.et	眼科	Factors Associated With Visual Acuity Decline in Glaucoma Patients With Loss of Ganglion Cell Complex Thickness	Translational Vision Science and Technology	Original Article
185	Takahashi, N. Sato, K. Kiyota, N.et	眼科	A ginger extract improves ocular blood flow in rats with endothelin-induced retinal blood flow dysfunction	Scientific Reports	Original Article
186	Takahashi, N. Sato, K. Kiyota, N.et	眼科	The effect of a brinzolamide/brimonidine fixed combination on optic nerve head blood flow in rabbits	PLoS ONE	Original Article
187	Takahashi, N. Tanaka, S. Umezawa, R.et	放射線部	Development and validation of an [18F]FDG-PET/CT radiomic model for predicting progression-free survival for patients with stage II-III thoracic esophageal squamous cell carcinoma who are treated with definitive chemoradiotherapy	Acta Oncologica	Original Article

188	Takahashi, S. Ouchi, K. Sakamoto, Y.et	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	Phase II study of biweekly cetuximab plus mFOLFOX6 or mFOLFIRI as second-line treatment for metastatic colorectal cancer and exploratory analysis of associations between DNA methylation status and the efficacy of the anti-EGFR antibody: T-CORE1201	Journal of Gastrointestinal Oncology	Original Article
189	Takahashi, S. Sasaki, K. Ishioka, C.	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	TP53 Signature Can Predict Pathological Response From Neoadjuvant Chemotherapy and Is a Prognostic Factor in Patients With Residual Disease	Breast Cancer: Basic and Clinical Research	Original Article
190	Takai, Y. Misu, T. Fujihara, K.et	病理部	Pathology of myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease: a comparison with multiple sclerosis and aquaporin 4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorders	Frontiers in Neurology	Review
191	Takayama, S. Ishii, T.	総合地域医療教育支援部	Kampo medicine bukuryoingohangekobokuto and ninjin'yoieito as supportive care for management of anorexia and tightness of the esophagus in advanced esophageal cancer: A case report	Explore	Original Article
192	Takayama, S. Michihara, S. Kimura, Y.et	総合地域医療教育支援部	Review of frequently used Kampo prescriptions: Part 4, Ninjin'yoieito	Traditional and Kampo Medicine	Review
193	Takayama, S. Namiki, T. Arita, R.et	総合地域医療教育支援部	Contribution of traditional Japanese Kampo medicines, kakkonto with shosaikotokakikyosekko, in treating patients with mild-to-moderate coronavirus disease 2019: Further analysis of a multicenter, randomized controlled trial	Journal of Infection and Chemotherapy	Original Article
194	Takayama, S. Namiki, T. Makino, T.et	総合地域医療教育支援部	Kampo medicine for COVID-19 prevention, treatment, and recovery in clinical and pharmacological aspect: "1st international symposium on Kampo medicine"	Traditional and Kampo Medicine	Letter
195	Takayama, S. Yoshino, T. Koizumi, S.et	総合地域医療教育支援部	Conventional and Kampo Medicine Treatment for Mild-to-moderate COVID-19: A Multicenter, Retrospective, Observational Study by the Integrative Management in Japan for Epidemic Disease (IMJEDI Study-observation)	Internal Medicine	Original Article
196	Takeda, A. Baba, T. Watanabe, J.et	神経・感覚器病態学講座(神経内科学分野)(臨床)	Levodopa Prescription Patterns in Patients with Advanced Parkinson's Disease: A Japanese Database Analysis	Parkinson's Disease	Original Article
197	Takei, K. Kanamori, H. Nakayama, A.et	内科病態学講座(総合感染症学分野)(臨床)	Screening for Metallo-Beta-Lactamases Using Non-Carbapenem Agents: Effective Detection of MBL-Producing Enterobacterales and Differentiation of Carbapenem-Resistant Enterobacterales	Antibiotics	Original Article
198	Takei, K. Ogawa, M. Sakata, R.et	内科病態学講座(総合感染症学分野)(臨床)	Epidemiological Characteristics of Carbapenem-Resistant Enterobacterales in Japan: A Nationwide Analysis of Data from a Clinical Laboratory Center (2016-2022)	Pathogens	Original Article
199	Takei, Y. Kumagai, M. Suzuki, M.et	麻酔科	Accuracy of Cardiac Output Measured by Fourth-Generation FloTrac and LiDCOrapid, and Their Characteristics Regarding Systemic Vascular Resistance in Patients Undergoing Cardiac Surgery	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia	Original Article

200	Tamada, T. Sugiura, H.	内科病態学講座(呼吸器内科学分野)(臨床)	Addressing therapeutic inertia for asthma biologics: Lessons from the KOFU study	Respiratory Investigation	Review
201	Tanaka, S. Kadoya, N. Ishizawa, M.et	放射線部	Evaluation of Unity 1.5 T MR-linac plan quality in patients with prostate cancer	Journal of Applied Clinical Medical Physics	Original Article
202	Tanaka, Y. Yokoyama, Y. Kambayashi, T.	歯科麻酔疼痛管理科	Skin-derived TSLP stimulates skin migratory dendritic cells to promote the expansion of regulatory T cells	European Journal of Immunology	Original Article
203	Tanikawa, A. Kudo, D. Hoshi, Y.et	高度救命救急センター	Aerosolized antibiotics therapy for infected traumatic pulmonary pseudocysts: A case report	Trauma Case Reports	Original Article
204	Tannai, H. Makita, K. Koike, Y.et	放射線診断科	Node-by-node diagnosis for multiple ipsilateral nodules by segmental adrenal venous sampling in primary aldosteronism	Clinical Endocrinology	Original Article
205	Tannai, H. Oguro, S. Nagao, M.et	放射線診断科	High-flow arteriovenous malformation in the finger with transvenous ethanolamine oleate sclerotherapy using an arterial tourniquet and microballoon occlusion: A case report	Radiology Case Reports	Original Article
206	Toda, N. Sato, T. Muraoka, M.et	麻酔科	Doxorubicin induces cardiomyocyte death owing to the accumulation of dysfunctional mitochondria by inhibiting the autophagy fusion process	Free Radical Biology and Medicine	Original Article
207	Tomita, H. Iwama, N. Hamada, H.et	産科	The impact of maternal and paternal birth weights on infant birth weights: The Japan environment and children's study	Journal of Developmental Origins of Health and Disease	Original Article
208	Tsuchida, K. Kokaguchi, K. Akamatsu, D.et	移植・再建・内視鏡外科	Open surgical repair of a giant common hepatic artery pseudoaneurysm that perforated into the duodenum and common bile duct	Journal of Vascular Surgery Cases, Innovations and Techniques	Original Article
209	Tsuchida, K. Kokaguchi, K. Hasegawa, T.et	移植・再建・内視鏡外科	Endovascular treatment for a ruptured lumbar artery aneurysm in a patient with neurofibromatosis type 1	Journal of Vascular Surgery Cases, Innovations and Techniques	Original Article
210	Wada, Y. Totsune, E. Mikami-Saito, Y.et	発生・発達医学講座(小児病態学分野)(臨床)	A method for phenylalanine self-monitoring using phenylalanine ammonia-lyase and a pre-existing portable ammonia detection system	Molecular Genetics and Metabolism Reports	Original Article
211	Watanabe, H. Fujishima, F. Unno, M.et	病理部	Somatostatin receptor 2 in 10 different types of human non-neoplastic gastrointestinal neuroendocrine cells	Pathology Research and Practice	Original Article
212	Watanabe, H. Yamazaki, Y. Miura, S.et	病理部	Mucinous Amphicrine Carcinoma of the Pancreas: A Diagnostic Pitfall	Endocrine Pathology	Original Article
213	Watanabe, K. Hirano, A. Kobayashi, Y.et	神経・感覚器病態学講座(耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)(臨床)	Long-term voice evaluation after arytenoid adduction surgery in patients with unilateral vocal fold paralysis	European Archives of Oto-Rhino-Laryngology	Original Article

214	Watanabe, K. Kashima, K. Sato, T.et	神経・感覚器病態学講座(耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)(臨床)	Impact on swallowing functions of arytenoid adduction in patients with unilateral vocal fold paralysis	Auris Nasus Larynx	Original Article
215	Watanabe, K. Sato, E. Mishima, E.et	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	What's New in the Molecular Mechanisms of Diabetic Kidney Disease: Recent Advances	International Journal of Molecular Sciences	Review
216	Watanabe, K. Sato, E. Mishima, E.et	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	Changes in Metabolomic Profiles Induced by Switching from an Erythropoiesis-Stimulating Agent to a Hypoxia-Inducible Factor Prolyl Hydroxylase Inhibitor in Hemodialysis Patients: A Pilot Study	International Journal of Molecular Sciences	Original Article
217	Watanabe, T. Juvet, S.C. Berra, G.et	呼吸器外科	Donor IL-17 receptor A regulates LPS-potentiated acute and chronic murine lung allograft rejection	JCI Insight	Original Article
218	Watanabe, T. Lam, C. Oliver, J.et	呼吸器外科	Donor Batf3 inhibits murine lung allograft rejection and airway fibrosis	Mucosal Immunology	Original Article
219	Watanabe, T. Matsuo, S. Watanabe, Y.et	呼吸器外科	Bilateral lung transplant with pulmonary artery reconstruction using donor aorta for pulmonary hypertension with a giant pulmonary arterial aneurysm	European Journal of Cardio-thoracic Surgery	Original Article
220	Watanabe, Y. Murai, S. Ueda, K.et	呼吸器外科	A straightforward guide to the swine left upper lobar transplant model: procedures and techniques	Multimedia manual of cardiothoracic surgery : MMCTS	Original Article
221	Yabe, Y. Hagiwara, Y. Sugawara, Y.et	外科病態学講座(整形外科科学分野)(臨床)	Association between Low Back Pain and Neck Pain: A 3-Year Longitudinal Study Using the Data of the People after the Great East Japan Earthquake	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
222	Yabe, Y. Hagiwara, Y. Sugawara, Y.et	外科病態学講座(整形外科科学分野)(臨床)	Correction: Association between low back pain and functional disability in the elderly people: a 4-year longitudinal study after the great East Japan earthquake (BMC Geriatrics, (2022), 22, 1, (930), 10.1186/s12877-022-03655-7)	BMC Geriatrics	Others
223	Yabe, Y. Hagiwara, Y. Sugawara, Y.et	外科病態学講座(整形外科科学分野)(臨床)	Correction: Low back pain is associated with sleep disturbance: a 3-year longitudinal study after the Great East Japan Earthquake (BMC Musculoskeletal Disorders, (2022), 23, 1, (1132), 10.1186/s12891-022-06106-x)	BMC Musculoskeletal Disorders	Others
224	Yahata, Y. Handa, K. Ohkura, N.et	エコロジー歯学講座(歯科保存学分野)	Autologous concentrated growth factor mediated accelerated bone healing in root-end microsurgery: A multicenter randomized clinical trial	Regenerative Therapy	Original Article
225	Yamaguchi, S. Murakami, T. Satoh, M.et	リハビリテーション歯学講座(加齢歯科学分野)	Associations of Dental Health With the Progression of Hippocampal Atrophy in Community-Dwelling Individuals: The Ohasama Study	Neurology	Original Article
226	Yamamoto, N. Itoi, E.	外科病態学講座(整形外科科学分野)(臨床)	Biologics in the treatment of glenohumeral arthritis	Shoulder Arthritis across the Life Span: From Joint Preservation to Arthroplasty	Others

227	Yamamoto, N. Szymiski, D. Voss, A.et	外科病態学講座(整形外科科学分野)(臨床)	Non-operative management of shoulder osteoarthritis: Current concepts	Journal of ISAKOS	Original Article
228	Yamamoto, T. Umezawa, R. Shimada, S.et	放射線治療科	The Impact of Pathological Grade Group 3 on Relapse-free Survival After Salvage Radiotherapy for Postoperative Prostate Cancer	Anticancer Research	Original Article
229	Yamaya, M. Kikuchi, A. Sugawara, M.et	内科病態学講座(呼吸器内科学分野)(臨床)	Anti-inflammatory effects of medications used for viral infection-induced respiratory diseases	Respiratory Investigation	Review
230	Yamazaki, N. Hasegawa, T. Ikeda, K.et	脳神経内科	Olfactory Dysfunction, an Often Neglected Symptom of Hydrocephalus: Experience from a Case of Late-Onset Idiopathic Aqueductal Stenosis	Case Reports in Neurology	Original Article
231	Yambe, T. Shiraiishi, Y. Yamada, A.et	心臓病電子医学分野	Prediction and prevention system for Severe Acute Respiratory Syndrome CoronaVirus 2 infection by preempting the onset of a cough	Proceedings of the Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, EMBS	Others
232	Yanagisawa, Y. Shido, K. Kojima, K.et	歯科顎口腔外科(形態機能グループ)	Convolutional neural network-based skin image segmentation model to improve classification of skin diseases in conventional and non-standardized picture images	Journal of Dermatological Science	Original Article
233	Yasuda, M. Tanaka, Y. Bando, K.et	歯科麻酔疼痛管理科	Lipopolysaccharide Priming Exacerbates Anaphylatoxin C5a-Induced Anaphylaxis in Mice	Biological and Pharmaceutical Bulletin	Original Article
234	Yokokawa, Y. Sone, T. Matsuyama, S.et	高度救命救急センター	How Long Would You Like to Live? A 25-year Prospective Observation of the Association Between Desired Longevity and Mortality	Journal of Epidemiology	Original Article
235	Yu, Z. Sakai, M. Fukushima, H.et	神経・感覚器病態学講座(精神神経学分野)(臨床)	Microarray dataset of gene transcription in mouse microglia and peripheral monocytes in contextual fear conditioning	Data in Brief	Others
236	Yu, Z. Ueno, K. Funayama, R.et	神経・感覚器病態学講座(精神神経学分野)(臨床)	Sex-Specific Differences in the Transcriptome of the Human Dorsolateral Prefrontal Cortex in Schizophrenia	Molecular Neurobiology	Original Article
237	田中美桜,高木清司,佐藤和,et	個別化医療センター	乳癌随伴マクロファージにおけるホスファチジルセリン受容体TIM4の役割(The role of the phosphatidyserine receptor TIM4 expressed on macrophages in breast cancers)	日本癌学会総会記事 82回 1938-1938 2023年9月	Others

計237件

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Aizawa, H. Fujino, N. Matsumoto, S.et	呼吸器内科	A SURVEY ON MEDICAL CARE FOR ALLERGIC DISEASES IN MIYAGI	Japanese Journal of Allergology	Original Article
2	Endo, H. Matsumoto, Y. Kawagishi, J.et	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	The Latest Multimodal Treatment for Cerebral Arteriovenous Malformations	Japanese Journal of Neurosurgery	Original Article
3	Fujimura, T.	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	IV. Systemic Therapy for Angiosarcoma- Past, Present and Future	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy	Original Article
4	Hatta, W. Koike, T. Masamune, A.	消化器内科	CURRENT STATUS AND TREATMENT STRATEGY CONSIDERING PROGNOSIS FOR NONCURATIVE ENDOSCOPIC RESECTION OF ESOPHAGEAL SQUAMOUS CELL CARCINOMA	Gastroenterological Endoscopy	Original Article
5	Inoue, A.	外科病態学講座(緩和医療学分野)(臨床)	III. Advance Care Planning during Lung Cancer Treatment	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy	Original Article
6	Inoue, A.	外科病態学講座(緩和医療学分野)(臨床)	Palliative Care that Saves Patients from the "Doctor Gacha"	Japanese Journal of Lung Cancer	Original Article
7	Koike, T. Masamune, A.	消化器内科	CURRENT STATUS AND ISSUES IN ENDOSCOPIC DIAGNOSIS AND TREATMENT OF GASTROESOPHAGEAL REFLUX DISEASE	Gastroenterological Endoscopy	Original Article
8	Komine, K.	腫瘍内科	Current Status and Challenges in Tumor Agnostic Treatment	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy	Original Article
9	Ogata, Y. Hatta, W. Ohara, Y.et	消化器内科	PREDICTORS OF EARLY AND LATE MORTALITY AFTER THE TREATMENT FOR EARLY GASTRIC CANCERS	Gastroenterological Endoscopy	Original Article
10	Tokodai, K. Goto, M.	臓器移植医療部	Current status and future strategy of islet transplantation in diabetic care	Journal of Japanese Society of Gastroenterology	Review
11	Unno, M.	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	Preoperative therapy for pancreatic cancer	Nihon Shokakibyō Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastro- enterology	Original Article
12	豊原敬文,阿部高明,三枝大輔,et	腎臓・高血圧内科	リン脂質を調整する新規動脈硬化抑制系路を介した動脈防御戦略の国際共同研究	AMED2023年度4事業合同成果報告	Original Article

13	井上彰	外科病態学講座(緩和医療学分野)(臨床)	「医者ガチャ」から患者を救う緩和ケア	臨床泌尿器科 vol.77 No.8 P.644-649	Original Article
14	井上彰	外科病態学講座(緩和医療学分野)(臨床)	肺がん診療におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)	癌と化学療法 vol.50 No.8 P.878-80	Original Article
15	遠藤英徳,松本康史,川岸潤,et	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	脳動静脈奇形に対する多角的アプローチ.	脳神経外科ジャーナル 32(2):99-108, 2023	Original Article
16	横山 悠, 竹田 徳泰, 藤井 進,et	眼科	MMWNを介したAI開発基盤となる医療データ収集システムとAI診療サポートシステムの構築	日本眼科学会雑誌 127(臨増) 249-249 2023年3月	Others
17	角谷倫之,星野大地,戸塚凌太,et	放射線治療科	MR-Linacの紹介と関連研究	Medical Imaging Technology 41 (2), 55-60, 2023-03-25	Review
18	角谷倫之,田中祥平,佐藤清和,et	放射線治療科	エレクタUnityの装置導入と1年半の臨床経験	Rad Fan. 2023. 21. 13. 48-52	Review
19	菊地紗耶,根本清貴,伊藤賢伸,et	神経・感覚器病態学講座(精神神経学分野)(臨床)	【統合失調症薬物治療ガイドライン2022】妊娠中,産後の統合失調症の薬物治療	精神科, 43巻1号, 56-60	Original Article
20	菊地紗耶,小林奈津子,木村涼子,et	神経・感覚器病態学講座(精神神経学分野)(臨床)	【こんな時どうする? 5W2Hで学ぶ抗うつ薬の使い方】5W2Hで学ぶ抗うつ薬の使い方 妊娠・授乳期	薬事, 65巻5号, 903-907	Original Article
21	菊地紗耶,小林奈津子,木村涼子,et	神経・感覚器病態学講座(精神神経学分野)(臨床)	【プレコンセプションケアからみた精神医学-妊娠・出産に向けたメンタルヘルスの新たな潮流-】うつ病・不安症のプレコンセプションケア	精神科治療学, 38巻5号, 549-554	Original Article
22	宮崎真理子	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	【パンデミック・大災害における腎臓病診療】大災害における慢性維持透析	腎臓内科17巻3号 Page286-291	Original Article
23	宮内栄作,井上千裕,杉浦久敏,et	呼吸器内科	化学免疫療法後にサルベージ手術を行い完全奏効が確認された肺腺癌の1例	日本呼吸器学会誌 12巻6号 Page319-323	Original Article
24	金森政之,齋藤竜太,下田由輝,et	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	膠芽腫摘出における5-アミノレブリン酸による蛍光診断の意義.	日本レーザー医学会誌 44(2):164-170, 2023	Original Article
25	戸子台和哲,後藤昌史	臓器移植医療部	糖尿病診療における膵島移植治療の現状と課題	日本消化器病学会雑誌 vol.120 12号 p.980-986	Review
26	佐藤真実,佐藤未来,中島範昭,et	外科病態学講座(乳腺・内分泌外科学分野)(臨床)	甲状腺良性結節の手術適応	日本内分泌外科学会雑誌 vol.40 No.4 p.212-218	Original Article

27	新田文彦,國方彦志,阿部俊明,et	眼科	裂孔原性網膜剥離における術後高眼圧の術式別検討.	臨床眼科. 2023;77(10):1269-74.	Original Article
28	神戸茂雄,安田聡	循環器内科	MINOCAのコンセプト・定義を理解する	週刊医学のあゆみ 285巻 11号 (2023年6月10日) 医歯薬出版	Review
29	神戸茂雄,白戸崇,高橋潤,et	循環器内科	INOCAの病態・疫学	月刊循環器内科 第94巻 第4号 (2023年10月) 科学評論社	Review
30	西村壽晃,今井啓道,板垣祐介,et	顎口腔機能治療部	長期咬合管理を行なった骨格性Ⅲ級両側生唇顎口蓋裂患者に対する外科的矯正治療	東北矯正歯科学会雑誌 31号 vol.1 p11-19	Original Article
31	川崎芳英,鈴木貴,宮崎真理子,et	泌尿器科	腹腔鏡下腎生検における安全性についての検討	Japanese Journal of Endourology and Robotics 36巻1号 Page124-128	Original Article
32	中山雅晴,後岡広太郎,木村映善,et	情報健康医学講座(医学情報学分野)(臨床:医学部)	FHIR-based Personal Health Recordの開発	医療情報学. 2023;43(Suppl.), 680-681.	Original Article
33	中山雅晴,木村映善,田中良一,et	情報健康医学講座(医学情報学分野)(臨床:医学部)	本格化するHL7 FHIRの活用と,普及に向けた課題と展望	医療情報学. 2023;43(2),73-83.	Original Article
34	中川敦寛,今井啓道,ROSENT HALGuy,et	産学連携室	爆傷と銃創による頭蓋顔面・脳損傷;臨床から診療体制.	口腔顎顔面外傷 22(1):1-5, 2023	Review
35	中川敦寛,志賀拓哉,大田千晴,et	産学連携室	脳神経外科イノベーション アカデミアと企業との協調.	脳神経外科ジャーナル 32(10):647-653, 2023	Original Article
36	中澤徹.	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	【アイケア～視機能・ピント調節・瞳の潤い～】「眼と健康」における緑内障の予防、早期発見の重要性.	FOOD Style 21. 2023;27(8):36-8.	Review
37	中澤徹.	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	Summing up 視神経乳頭血流と篩状板の視点からの緑内障病態.	Frontiers in Glaucoma. 2023, http://search.jamas.or.jp/link/ui/2024163054(66):102-8 .	Review
38	長澤将	腎臓・高血圧内科	治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 代謝性アシドーシス	日本医事新報5156号 Page44-45	Original Article
39	長澤将	腎臓・高血圧内科	治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 代謝性アルカローシス	日本医事新報5158号 Page44-45	Original Article
40	長澤将	腎臓・高血圧内科	【腎臓病外来:マネジメントとコツ】慢性腎臓病再診のコツ 注意する薬剤 画像診断に必要な薬剤を中心に	腎と透析94巻4号 Page535-539	Original Article

41	長澤将	腎臓・高血圧内科	【薬との「つながり」、薬による「変化」がわかる病態生理学】(第6章)腎・泌尿器・体液・血液・免疫 腎疾患	薬事65巻7号 Page1454-1459	Original Article
42	長澤将	腎臓・高血圧内科	【利尿薬クリニカルパール集】	日本医事新報5196号 Page18-32	Original Article
43	田中哲洋	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	【サルコペニア】サルコペニア防止に期待される薬物療法の役割	日本腎臓リハビリテーション学会誌2巻1号 Page86-97	Original Article
44	田中哲洋	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	【急性腎障害(AKI)新たな局面に向けて】急性腎障害における新しい方向性 AKIからCKDへの移行	Medical Practice40巻8号 Page1218-1222	Original Article
45	田中哲洋	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	【心腎連関を再考する】治す 貧血を治す 腎臓内科の立場から	Heart View27巻6号 Page576-582	Original Article
46	田中哲洋	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	【腎臓病の最新診療】HIF-PH阻害薬が変える腎性貧血治療	日本内科学会雑誌112巻5号 Page769-776	Original Article
47	田中哲洋	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	【性差医療の最新知識】長寿社会における性差医療各論 慢性腎臓病(CKD)	日本臨床81巻7号 Page1037-1045	Original Article
48	田中哲洋	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	【特集】慢性腎臓病(CKD)という疾患概念を理解する	ファーマスタイル No.37 Page4-9	Original Article
49	田中哲洋	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	【病因・病態生理から読み解く腎・泌尿器疾患のすべて】全身性疾患に伴う腎障害 糖尿病性腎臓病	腎と透析95巻増刊 Page182-188	Original Article
50	田中哲洋	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	CKD診療における集学的治療を再考する	宮城県腎不全研究会会誌50回 Page28-30	Original Article
51	田中哲洋	内科病態学講座(腎臓内科学分野)(臨床)	慢性腎臓病の克服を目指して	宮城県医師会報928号 Page300-304	Original Article
52	田中美桜[山口],橋場克幸,高木清司,et	個別化医療センター	乳癌における膜型アンドロゲン受容体ZIP9の発現意義	日本内分泌学会雑誌 99(3) 718-718 2023年7月	Others
53	藤原 実名美	輸血・細胞治療部	輸血合併症・副反応の理解と対応	臨床血液、64巻9号 p925-931	Original Article
54	馬場一慈,千葉大介,森優,et	整形外科	人工股関節全置換術前の口腔ケアは全例で必要か? 口腔ケアが必要な感染高リスク症例の抽出法の検討.	Hip Joint. 2023;49(1):57-59.	Original Article

55	八田和久,藤島史喜,正宗淳,	消化器内科	【食道疾患アトラス】陥凹を呈する病変 悪性低分化型食道扁平上皮癌(0-IIc)	消化器内視鏡 35巻増刊 Page228-229	Review
56	八田和久,藤島史喜,正宗淳,	消化器内科	【食道疾患アトラス】陥凹を呈する病変 良性(食道潰瘍) Behcet病・単純性潰瘍	消化器内視鏡 35巻増刊 Page196-197	Review
57	豊原敬文	腎臓・高血圧内科	iPS細胞由来3D血管を用いた動脈硬化の病態解析	医科学応用研究財団研究報告40巻 Page222-225	Original Article
58	牧野壘,宮崎真理子	腎臓・高血圧内科	【保存期慢性腎臓病と透析期のステージに応じた診療のポイント】[Chapter 1]Overview CKDと腎代替療法 保存期CKDと透析期の患者に必要な検査と評価	内科132巻1号 Page19-23	Original Article
59	鈴木峻也,赤松大二朗,戸子 和哲,et	移植・再建・内視鏡外科	腫瘍・血管合併切除時の要点	雑誌 手術2023年12月号(77巻 13号)p.1923-1932	Original Article
60	和田基,安藤亮,中村恵美,et	外科病態学講座(小児外科学分野)(臨床)	消化器外科Special Lectures(第6回)短腸症候群に対する腸管リハビリテーション	消化器外科 No.46 Vol.1 p.99-104	Original Article
61	國方彦志.	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	【血管と血流】爪床毛細血管と眼疾患との関係 糖尿病網膜症の早期発見に向けて.	FOOD Style 21. 2023;27(12):58-60.	Review
62	高山真	総合地域医療教育支援部	COVID-19における東洋医学の立ち位置 - 多職種連携におけるそれぞれの役割-	全日鍼灸会誌, 73(1), 2-6	Others
63	高山真, 網谷真理恵, 松田隆秀,et	総合地域医療教育支援部	漢方医学教育の「卒前カリキュラムの標準化」日本漢方医学教育協議会設立の趣旨と経緯	日東洋医誌, 74(2), 180-187	Review
64	高山真, 有田龍太郎, 金子聡一郎,et	総合地域医療教育支援部	漢方Problem Based Learning (PBL)を基にした学術発表により得られる医学生の学び	日東洋医誌, 74(1), 75-84	Others

計64件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会貢献の推進を図ることを目的とする。 利益相反マネジメント推進体制、利益相反マネジメントの実施方法など。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年7回
・ 研修の主な内容	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 令和5年改正のポイント、データの信頼性と研究倫理-論文の批判的吟味も踏まえて-、新薬の開発促進に向けたPMDAの取り組み、医療機関への来院に依存しない臨床試験手法（DCT）の現状と課題、責任医師の役割、星陵地区における医学系研究等の管理について-倫理審査申請の体制と実際-、改正次世代医療基盤法について

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、豊富な高度医療設備を用いて、将来の専門医・指導医資格の取得のため、日々高度な医療の習得に努めています。最先端医療や稀少症例、難治症例を経験するだけでなく、連携病院と協力し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成しております。また、併行して大学院で学位を取得することも可能であり、医師のみならず教育者、研究者として社会に貢献しております。

新専門医制度による専門医研修において、19の基本領域全ての専門研修プログラムを整備しております。さらに、初期研修から基本領域の専門研修、サブスペシャリティ領域での専門研修、大学院進学等、シームレスな医師養成を行っております。また、当院の専門研修プログラムでは、当院のみならず多くの連携病院と協力し、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	178.7 人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	内科(総合診療科)	准教授	30年	
安田 聡	循環器内科	教授	37年	
馬場 啓聡	総合感染症科	助教	15年	
田中 哲洋	腎臓・高血圧内科	教授	29年	
張替 秀郎	血液内科	教授	38年	
藤井 博司	リウマチ・膠原病内科	教授	28年	
片桐 秀樹	糖尿病代謝・内分泌内科	教授	37年	
角田 洋一	消化器内科	講師	24年	
中瀬 泰然	加齢・老年病科	准教授(特命教授)	30年	
高山 真	漢方内科	准教授	27年	
金澤 素	心療内科	准教授(特命教授)	33年	
玉田 勉	呼吸器内科	准教授	30年	
川上 尚人	腫瘍内科	教授	18年	
海野 倫明	総合外科(肝胆膵・移植グループ)	教授	38年	
大沼 忍	総合外科(下部消化管グループ)	准教授(特命教授)	30年	
亀井 尚	総合外科(上部消化管・血管グループ)	教授	33年	
石田 孝宣	総合外科(乳腺・内分泌グループ)	教授	37年	

和田 基	総合外科（小児外科グループ）	教授	30年	
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	34年	
相澤 俊峰	整形外科	教授	35年	
今井 啓道	形成外科	教授	31年	
岡田 克典	呼吸器外科	教授	37年	
山内 正憲	麻酔科	教授	33年	
齋藤 昌利	婦人科/産科	教授	25年	
伊藤 明宏	泌尿器科	教授	34年	
青木 正志	脳神経内科	教授	34年	
金森 政之	脳神経外科	准教授	29年	
富田 博秋	精神科	教授	35年	
菊池 敦生	小児科・小児腫瘍科	教授	22年	
浅野 善英	皮膚科	教授	26年	
中澤 徹	眼科	教授	29年	
香取 幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	37年	
海老原 覚	リハビリテーション科	教授	34年	
高瀬 圭	放射線科	教授	35年	
古川 宗	救急科	助手	25年	
鈴木 貴	病理部	教授	34年	
山田 聡	歯科（歯周病科）	教授	30年	
山内 健介	歯科顎口腔外科	教授	25年	
齋藤 幹	小児歯科	教授	23年	
五十嵐 薫	矯正歯科	教授	40年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容：看護実践を担う看護職員に対して、ジェネラリストとしての看護実践能力向上とキャリア開発のために「東北大学病院看護部看護実践能力開発システム（TNADS）」を導入している。TNADSの柱としてクリニカルラダーがあり、看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の4領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組み集合・オンラインで実施している。このTNADSを中心に研修を実施しているが、その他スキルアップを目的とする研修や看護補助者を対象とした研修を実施している。</p> <p>・研修の期間：2023年4月～2024年3月 ・実施回数：63 回</p> <p>・研修の参加人数：延べ 3,539 名</p>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容：質の高い看護を提供するために、看護管理者が人材の育成に関わりながら組織運営に関する資質を高める支援についての研修を、集合で実施している。</p> <p>・研修の期間：2023年4月～2024年3月 ・実施回数：5 回</p> <p>・研修の参加人数：延べ 342 名</p>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<p>・研修の主な内容：「東北大学病院看護部看護実践能力開発システム（TNADS）」のリーダー看護師育成研修プログラムの参加を、県内の医療機関に募っている。</p> <p>・研修の期間：2023年4月～2024年3月 ・実施回数：25 回</p> <p>・研修の参加人数：延べ 130 名</p>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 張替 秀郎
管理担当者氏名	総務課長 木村 賢一、医事課長 山田 こずえ

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	医療情報管理課、 電子カルテ
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究推進室
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
		<p>病院日誌は紙媒体で保管している。処方箋は、月及び処方区分ごとにまとめ、5年間保管している。診療記録(手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真等を含む)は、平成26年4月より電子カルテを原本とし、記載及びスキャン取込みを行い管理している。紙媒体の診療記録は患者毎にファイリングし、ターミナルデジットファイリング法で一元管理を行っている。保管期間は、最終来院日より10年と定めている。なお、電子保存を行った紙媒体の取り扱いについては、歯科に限り取り込み後1年間経過後、廃棄処分する。診療記録の院外への持ち出しについては原則として禁止している。</p> <p>従業者数を明らかにする帳簿は、人事システムで管理している。高度の医療技術の開発及び評価については、年度ごとに一覧を作成し、電子媒体で管理している。</p> <p>患者数については、月ごとに集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、毎月集計し、電子媒体で管理している。その他については、各部署で月ごとや年ごとに管理している。</p>	

一 規 則 第 一 条 に 掲 げ る 事 項 第 十 一 第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の第十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	地域医療連携課 年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
	院内感染対策のための委員会の開催状況		
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況		
	医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室	電子ファイルで保管(医薬品安全管理室内規及び医薬品安全管理手順書)。
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室	都度、電子ファイルで保管。
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室	毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管。
	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室	年度毎に整理し、電子ファイルで保存している。
	医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとに整理し、紙媒体にてファイル保存している。 ・安全使用のため不具合情報・安全情報等について、R5年度より全ての情報を徴収するため業者へ協力依頼をした。
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況		
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室	会議資料等を毎月整理し、電子ファイルで保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課	内規に則り副病院長としている。
		医療安全管理部門の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況		
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医薬品安全管理室	会議資料等を電子ファイルで保管。
		監査委員会の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況		
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況		
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況		
		職員研修の実施状況		
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況		
管理者が有する権限に関する状況	総務課	紙媒体を簿冊として保管している。		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況				
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況				

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 張替 秀郎
閲覧担当者氏名	総務課長 木村 賢一・医事課長 山田 こずえ
閲覧の求めに応じる場所	・会議室
閲覧の手続の概要 閲覧については、諸記録ごとの管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	□有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>『東北大学病院の医療に関する安全管理指針』</p> <p>(1) 患者に対する十分なインフォームド・コンセント及びその同意に基づく医療従事者との良好な信頼関係のもとに、患者本位の全人的な医療及び安全な医療を提供する。</p> <p>(2) 医療における基本の徹底及びその質の向上を図るとともに、すべての医療従事者の意識改革及び啓発を図るため、教育・研修及び講演会等を定期的に行う。</p> <p>(3) 医療従事者自らが、医療行為の基本的事項を日々点検・確認し、事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属責任者に報告するとともに、患者及び関係者に説明の上適切に対処し、速やかに事故内容等の検討及び再発の防止対策を講ずる。</p> <p>(4) 上記 3 つの事項を遂行するため、次に掲げる組織及び体制を整備する。</p> <p>① 医療安全管理責任者 本院に、病院長を補佐し、医療安全推進委員会、医療安全推進室、医薬品安全管理室、医療機器安全管理室及び医療放射線安全管理室を統括する者として医療安全管理責任者を置き、副病院長（医療安全担当）をもって充てる。</p> <p>② 医療安全推進委員会 本院における医療の安全管理体制の確保、研修等の企画・実施、及び、次のイからホのインシデントについて、医療安全推進室からの報告を受け、改善策の検討と実施状況の確認を行う。 イ 分類別、職種別、レベル別の月間分析結果 ロ 分類別（薬剤、チューブ、転倒転落等）の年間分析結果 ハ レベル 3 b 以上の事案についての詳細とその改善状況 ニ 警鐘的事例に関すること ホ その他、重大事例に関すること</p> <p>③ 医療安全推進室 医療に関する安全管理指針に基づき、本院における医療事故の防止及び医療の質と安全性を一層向上させるため、その遂行に必要な組織全体のシステムを構築する。</p> <p>④ 専門部会・ワーキンググループ 専門の事項や特定の分野に関する事案に対応するため、医療安全推進室に専門部会・ワーキンググループを置くことができる。</p> <p>⑤ リスクマネジャー会議 医療安全推進室の下部組織として、各診療科、看護部、各中央診療施設等及び事務部等の中核となる実務担当等で構成し、医療事故等の未然防止について具体的な安全対策を推進し、事故又はインシデントレポートの検証及び再発防止策の策定等を行う。</p> <p>⑥ 医薬品安全管理室 本院における医薬品の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑦ 医療機器安全管理室 本院における医療機器の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑧ 医療放射線安全管理室 本院における医療放射線の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑨ インシデント対応委員会 本院において重大なインシデントが発生した場合に、直ちに当該インシデントの事実関係を確認し、適切かつ必要な対応策を検討する。また、患者・家族への対応について病院としての判断・見解を検討し、初期対応を決定する。</p> <p>⑩ 医療事故調査委員会 医療安全推進委員会及び医療安全推進室とは別組織とし、医療事故の報告を受けた病院長が必要と認めるときは、当該関係者を招集して医療事故の調査等を行う。</p> <p>⑪ 特別医療事故調査委員会 病院長は、医療法第 6 条の 10 第 1 項に定める医療事故が発生したときは、当該関係者を</p>	

招集して医療法第6条の11第1項に規定する医療事故調査等を行う。

⑫ 高難度新規医療技術

高難度新規医療技術等を用いた医療を提供する場合は、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入にあたっての基本的考え方」やガイドライン等を参考に実施する。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

・ 設置の有無 (有 ・ 無)

・ 開催状況：年12回

・ 活動の主な内容：

医療安全推進委員会

以下の内容についての審議及び報告を行う。

- ・ 医療に関する安全管理指針に関すること。
- ・ 医療の安全管理体制の確保に関すること。
- ・ 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
- ・ 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
- ・ 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
- ・ 医薬品、医療機器及び医療放射線の安全管理に関すること。
- ・ 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
- ・ 上記の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
- ・ 上記に関する改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
- ・ 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。
- ・ 上記に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。
- ・ その他医療の安全管理等に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年22回

- ・ 研修の内容 (すべて)：
 - ・ 医療安全に係る情報提供
 - ・ 医療安全に関する意識の向上のための情報提供
 - ・ 医療安全に関する基本的知識の確認
 - ・ 医療事故事例の紹介

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告する。
 - 事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討する。
 - 重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故

調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討する。

毎月の医療安全推進委員会において、月次インシデントの集計報告及び3b以上の事例の報告を行っており、院内のインシデントの発生状況の把握に努めている。また、院内のインシデントから警鐘的な事例を毎月1例取り上げて、事案の分析や再発防止策の検討等を医療安全推進委員会で行っている。

毎年度1回、全病棟及び外来棟に対し医療安全巡視を行い、医療安全に係る業務について適切に行われているかの確認及び指導を行っている。また、全体巡視に加えて、GRMが、月数回、病棟を巡視しており、院内における医療が適正に実施されているかを適宜確認している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策に関する基本的考え方 ・感染対策のための委員会 ・感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 ・感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・院内における感染症発生時の対応に関する基本方針 ・患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ・その他の感染対策の推進のために必要な指針 <p>『東北大学病院における感染対策の指針』</p> <p>医療関連感染に対する、医療従事者の標準予防策並びに手指衛生を始めとする基本的な感染対策の確実な実施を行うための指針である。具体的には以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染対策のための委員会 <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染対策に関する委員会として病院長を含む感染対策委員会を設置する。感染対策委員会は、医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議・決定する。 2) 感染対策委員会の下部組織として感染対策実務委員会を置く。感染対策実務委員会は、院内の問題点を把握し、感染防止対策の実務を行い、各委員は委員会での決定事項を所属部署に周知する。 3) 当院の感染対策全般について総合的な管理を行うため、感染管理室を置き、感染対策活動の総責任者として院内感染管理者を置く。 4) 感染管理室の業務を職種横断的に遂行するための組織として、各職種からなるICT (Infection Control Team) を置き、感染に関する課題の抽出・解決、感染対策活動の周知徹底、各部署での教育等を行う。 5) 抗菌薬の適正使用を推進するための組織として、AST (Antimicrobial Stewardship Team) を置き、感染症を発症した患者が適切な抗菌薬治療を受けているかどうかを多職種からなる専門家チームで評価、管理し、必要に応じて主治医に助言するなどの支援を行う。 2. 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染管理室並びにICTが中心となり、全職員を対象に具体的な研修の立案・実践を行う。 2) 感染対策に関する必要な知識・技能を維持向上できるように、年2回以上の講習会を実施する。 3) ICTによる職場巡視、各部門の感染対策担当者による日々の活動を通じて、継続的な教育・啓発を実施する。 3. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染管理室並びにICTは感染対策の実施のため、院内感染防止対策の立案、及び具体的な遵守事項を定めるマニュアルを作成する。 2) 感染管理室は、微生物検査情報などをもとに院内における感染症発生動向について把握し、手指衛生の遵守、地域における病原体の伝播、抗菌薬使用状況なども踏まえた抗菌薬の適正使用について、ICT及びASTとともに機動的な感染対策を立案・実施する。 3) 感染管理室は職員のワクチン接種など職業感染対策を積極的に推進するとともに、針刺し切創・体液曝露事例が発生した場合には、情報の収集並びに感染防止に関する対応を行う。 4) 感染対策委員会並びに感染対策実務委員会は、感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応する。 	

<p>4. 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染症の伝播並びに集団感染事例が発生もしくは疑われる際には、第一に患者及び職員の生命及び健康と安全を最優先に考え行動する。 2) 患者並びに家族への連絡・説明は速やかに、主治医もしくは当該科の上席医師が率直に事実を話すとともに、事実のみを客観的かつ正確に記録する。また患者並びに家族への説明内容などについて詳細に診療録等に記録する。 3) 当該部署は状況について感染管理室へ報告する。感染管理室はICTとともに情報の収集並びに当面の対策について立案・実施し、病院長に報告する。 4) 死亡又は重大な障害が発生した場合、又はその疑いがある場合には事務部長は病院長の指示を仰ぎ、速やかに所轄警察署・保健所・東北厚生局に届出をし、報告を行う。 5) 集団感染事例が発生した場合は、速やかに事故原因の究明、今後の対応策等を検討する。調査は感染対策委員会の構成員に加え、関係部署を加えて構成する。必要に応じて、保健所や東北厚生局など外部の専門家を加え、客観的な判断を加えることに努める。又、公表の必要性和方法を協議し、病院長が決定する。 <p>5. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 本指針は患者及びその家族等から閲覧の求めがあった場合はこれに応じるものとする。</p> <p>6. その他の感染対策の推進のために必要な指針 感染対策マニュアルなど、その他の感染対策の推進のために必要な指針は、別途定める。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： ・ 院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。 ・ 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。 ・ 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。 ・ 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。 ・ 医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議決定すること。 ・ 感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年5回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： ・ 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション） ・ 院内感染管理に則した研修（感染対策に関するインターネット研修会） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し、更には毎月の感染対策委員会において、サーベイランス対象菌種検出症例数の月次報告を行っており、院内の感染症の発生状況の把握に努めている。 また、医師・看護師・薬剤師、臨床検査技師の4職種が、毎週、週1回、全病棟30部署のラウンドを実施または、外来・中央診療部門もラウンドすることによって、感染症防止対応が適切に行われているかの確認及び指導を行っている。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☑有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年46回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修 ・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修 ・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (☑有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務 ・ 医薬品の管理に関する業務 ・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務 ・ 患者に対する与薬 ・ 未承認等医薬品の使用に関すること 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： <ul style="list-style-type: none"> 内視鏡観察時の鑑別に用いる3%検査用ルゴール液20mLなどの院内製剤を含め、診療科から申請/届出のあった未承認等医薬品(全301件,令和5年度対象品目)や、薬剤師が把握した未承認等医薬品の情報を管理している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 疑義照会事例、副作用報告事例、インシデント事例、医薬品添付文書改訂に伴う注意事項等の医薬品情報を収集し、院内の医薬品の使用状況や注意事項を周知 ・ 医薬品安全管理室の指示のもと、薬剤師が病棟(月1回)及び外来診療科(2~3ヶ月に1回)の巡視を実施 ・ 医薬品安全管理室巡視を毎年実施 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無											
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年106回											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○新規導入機器は購入依頼時に研修対象者をリスト作成し、機器使用前の研修を実施 ○特定機能病院における定期研修について、年2回以上定期的に研修を実施 ○医療機器の有効性・安全性に関する事項 ○医療機器の使用法に関する事項 ○医療機器の保守点検に関する事項 ○医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する事項 ○医療機器の使用に関しての法令遵守に関する事項 ○その他新規採用者及び中途採用者・復職者を対象とする研修を実施 												
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>保守点検の主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>人工心肺装置及び補助循環装置</td></tr> <tr><td>人工呼吸器</td></tr> <tr><td>血液浄化装置</td></tr> <tr><td>除細動装置</td></tr> <tr><td>閉鎖式保育器</td></tr> <tr><td>CTエックス線装置</td></tr> <tr><td>診療用高エネルギー放射線発生装置</td></tr> <tr><td>診療用放射線照射装置</td></tr> <tr><td>磁気共鳴画像診断装置</td></tr> </tbody> </table>	機器	保守点検の主な内容	人工心肺装置及び補助循環装置	人工呼吸器	血液浄化装置	除細動装置	閉鎖式保育器	CTエックス線装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用放射線照射装置	磁気共鳴画像診断装置	<p>始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検</p>
機器	保守点検の主な内容											
人工心肺装置及び補助循環装置												
人工呼吸器												
血液浄化装置												
除細動装置												
閉鎖式保育器												
CTエックス線装置												
診療用高エネルギー放射線発生装置												
診療用放射線照射装置												
磁気共鳴画像診断装置												
<p>上記保守点検について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年度の把握及び記録 ② 保守点検実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検の見直し 												
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)： <ul style="list-style-type: none"> ○放射線診断科における末梢動脈瘤治療のための未承認ステント(MFM)の使用：0件 ○婦人科における術後癒着防止を目的とした子宮内避妊器具の適用外使用：2件 ○リハビリテーション科(肢体不自由リハビリテーション科)における上下肢麻痺を治療するためのパスリーダーの適応外使用：283件 ○保存修復科(歯内療法科)における歯根端切除術の逆根管充填剤としてMTAセメントを適用外使用する：28件 ○心臓血管外科における人工弁周囲逆流閉鎖のためのAVPⅡの適応外使用：0件 ○小児の外傷性大動脈損傷に対するEVARデバイスの適用外使用：0件 ○膀胱癌に対する放射線治療における位置照合のための放射線治療マーカ(visicoil)の適用外使用：0件 ○食道癌手術における再建臓器挙上時の周囲臓器保護のための人体開口部用超音波プローベカバーの適用外使用：69件 ○呼吸器外科における胸腔鏡手術のためのNK綿棒の適用外使用：336件 ○形成外科における高度な上顎低形成を呈する患者のための国内未承認医療機器 The Leipzig retention plate setの未承認使用：1件 												

- 小児の再発性大動脈縮窄症に対するExcluderの適応外使用：0件
 - Chimney/periscope法を用いた腹部大動脈ステントクラフト治療における腎動脈・上腸間膜動脈へのVIABAHNステントグラフトの使用：1件
 - 静脈疾患に対する末梢動脈用ステントの使用：2件
 - 腕頭動脈・腋窩動脈・総頸動脈・大腿動脈損傷に対する緊急止血処置としてのVIABAHN使用：0件
 - 形成外科における内視鏡下口蓋形成手術のためのステンレス製内視鏡アタッチメント（未承認機器）の使用：4件
 - 形成外科における内視鏡下口蓋形成手術のための内視鏡の適応外使用：4件
 - 歯科顎口腔外科における、抜歯などの歯槽外科手術、顎変形症手術、口腔がん手術、顎骨嚢胞手術、骨折手術、顎骨再建手術の骨切削のために用いる医療機器：エラン4の適応外使用：691件
 - 歯周病科における歯周組織再生治療のためのサイトランス グラニューールの適用外使用：0件
 - 腭腫瘍診断における超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法の適応外使用：1件
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 未承認等医療機器を使用した診療に関する届出、治験・臨床研究に関しては倫理委員会の情報から使用状況の情報収集。
 - 添付文書等の管理
 - 医療機器に係る安全性情報の収集と病院管理者への報告
 - 毎月第一木曜日の「医療機器点検の日」実施による医療機器の点検及び院内の意識啓発

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・<input type="checkbox"/>歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として医療安全担当副院長が、医療安全管理部門（医療安全推進室）、医療安全管理委員会（医療安全推進委員会）、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>手順書に基づき医薬品情報を収集し、緊急度に応じた周知を実施している。また、必要に応じて院内の医薬品の使用状況について調査し、改善が必要とされる事項については、医療安全推進委員会等を通じて周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品安全管理室が未承認等医薬品に関する担当部門として規定されており、診療科から申請された未承認等医薬品の使用条件等について審議している。未承認等医薬品のうち、未承認新規医薬品及び院内製剤については、未承認新規医薬品評価委員会を開催し、使用の条件等に関する意見を聴取している。また、臨床試験薬については特殊薬品として薬剤部で管理しており、未承認等の医薬品について把握している。これらの情報及び処方状況を管理するシステムを構築し定期的に処方状況等について確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ <input checked="" type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無 ）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>・文章による同意が必要な医療行為</p>	

- ・ 説明者
- ・ 複数の診療科が関わる場合（合同手術・依頼によって行われる検査・処置等）
- ・ 説明と同意の方法
- ・ 説明・同意書の運用
- ・ 説明の内容
- ・ 説明時の同席者
- ・ 説明の相手方
- ・ 同意の確認
- ・ 説明と同意に関する診療記録への記録
- ・ 緊急に医療行為が必要な患者の場合
- ・ 同じ治療を繰り返す場合の説明と同意のあり方 等

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療記録等に必要事項の記載があるか、また記載内容に齟齬がないか等の点検のため、チェックシートを使用し、入院診療計画書、医師経過記録、インフォームド・コンセント、手術（侵襲的処置含む）記録、病名整理、退院時要約等の評価を行っている。なお、点検結果は、記載の質向上がなされるよう各診療科へフィードバックし、適切な記載方法について指導している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・ 所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（2）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（2）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>◎医療安全推進室</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療安全推進委員会に係る事務に関すること。 (2) 医療事故、インシデント及び死亡事例の収集及び分析に関すること。 (3) 医療の安全管理に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。 (4) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (5) 医療安全巡視の実施及び実施状況の把握・分析に関すること。 (6) 医療安全確保のための業務改善計画書の作成、実施状況の確認及び評価結果の記録に関すること。 (7) 患者等からの相談件数、相談内容、相談後の取扱いに係る医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。 (8) 医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスの実施及び記録に関すること。 (9) 事故その他の医療安全推進室において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく院内に勤務する者への必要な指導に関すること。 (10) 医療に係る安全管理に係る連絡調整に関すること。 	

- (11) 医療の質の向上及び医療に係る安全の確保のための対策の推進に関すること。
(12) 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び院内に勤務する者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること（病理・画像レポート未読率、転倒転落発生率、リストバンド装着状況及び医療安全に関する全職員対象の多肢選択試験等）。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（2件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 高難度新規医療技術担当部門の設置について
 - ・ 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
 - ・ 体制に変更があった場合の確認について
 - ・ 高難度新規医療技術評価委員会について
 - ・ 報告及び通知について
 - ・ 実施状況等の確認について
 - ・ センター長及び病院長への報告について
 - ・ 病院長からの停止命令について
 - ・ 審査資料等の保管について
 - ・ 秘密の保持について
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 未承認新規医薬品を用いた医療の提供の申請・確認・報告について

- ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の廃止等について
- ・未承認新規医薬品評価委員会について
- ・報告及び通知について
- ・使用状況等の確認について
- ・センター長及び病院長への報告について
- ・審査資料等の保管について

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 562 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 115 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - (1) 医療に関する安全管理指針に関すること。
 - (2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。
 - (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
 - (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
 - (5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
 - (6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。
 - (7) 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
 - (8) 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
 - (9) 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
 - (10) 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。
 - (11) 前号に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。
 - (12) その他医療の安全管理等に関すること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り ((病院名：佐賀大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ ((病院名：福井大学医学部附属病院) ・ 無)

・技術的助言の実施状況

○佐賀大学医学部附属病院へ

- ・医療安全管理責任者・医療安全管理室を中心に多くの医療安全に関する業務をなされ、他の九州ブロックの国立大学附属病院とも連携して医療安全管理を行っている。

・医療安全について

優れている点

- ・ Good Job 賞を設け、レベル 0、1 報告を推進している。
- ・ 兼任の医師を 6 人配置し、医療安全活動を推進している。
- ・ 死亡例、3b 事例に関して病院長が迅速に把握している。
- ・ 医師のインシデント報告が 12%程度ある。

改善を期待する点

- ・ インシデントレポートの報告数を増やされるとなお良い。
- ・ 医療放射線管理責任者につき、管理体制図に反映することを期待する。

・医薬品について

医薬品の禁忌・適応外使用に関する妥当性やリスクを医師や薬剤師が議論しつつ的確に評価しおり、仕組みや考え方が院内に浸透しているのは素晴らしい。一方でリスク評価等における薬剤師の負担が大きく、業務の属人化の懸念がある。その解消に向けた余裕を持った人員配置が望まれる。

・高難度について

優れている点

- ・ 評価委員会の委員を 3 名とし、申請に対して迅速に対応されている。
- ・ ポケットマニュアルに高難度医療技術について記載され、そのような手技を行っていることや、手続きについて職員に周知している。

改善を期待する点

- ・ 説明文章に、高難度新規医療技術であることや、術者の経験数や施設としての実施数などを記載されることを期待する。
- ・ 申請や報告漏れを防ぐ仕組みを開始されたので、今後も確実な実施を期待したい。

・外部監査

優れている点

- ・ 多くの事項の監査を工夫して短時間で行っている。
- ・ 監査委員会の委員長を九州ブロックの国立大学附属病院持ち回りで行うなどブロックの協力体制ができています。

改善を期待する点

- ・ 医療放射線安全管理責任者の業務に関する内容の監査も受けられるとなお良い。

- ・ 院内のラウンドは部署で 5S が徹底されていることや、患者のアメニティ向上につとめていることなどを確認した。全体として、貴院の医療安全管理体制は高いレベルで整備・実践されており、適切であると考えます。

○福井大学医学部附属病院から

<参考となった点・特筆すべき良い点>

- ・ インシデント報告は 4,800 件程度と十分に報告されていることを確認した。
- ・ 医師の報告数は 5.3%とやや少なく感じるが、10%を目指して現在増加傾向であることを確認した。
- ・ 職員に対して医療安全推進室に関するアンケートを行い、フィードバックしている点が評価できる。

- ・ミニテストを全職員に行い、周知が不足していると思われるものをグラジオラス通信で周知している点が評価できる。
- ・全死亡退院の収集に漏れがないように工夫されている点が評価できる。
- ・薬剤部内にワーキンググループを組織し、薬剤部から提出したインシデントレポートを素材に医薬品安全教育を実施されている点が評価できる。本院薬剤部でも貴院での取り組みを参考にして導入を検討したいと思う。
- ・高難度新規医療技術の管理・把握について、毎月1回診療科長に、半年に1回リスクマネージャーに周知・確認されている点について評価できる。
- ・手術部運営委員会で決定した実施報告件数が終了した後も一定数の報告を行い、確認を行っている点について評価できる。
- ・MET基準を再周知し、動画作成を行い、全職員が視聴されている点が評価できる。
- ・臨場感のある内容の研修動画を院内で作成し、Safety Plusを活用してどこでも視聴できる環境づくりをされている点が評価できる。

<検討していただきたい事項>

- ・高難度に該当する技術である可能性があることを当該診療科以外から担当部門に報告する仕組みについて、新たな診療コードを確認した際には診療報酬事務担当者から連絡を得るなど、報告を得る仕組みを検討いただきたい。
- ・医療法では特定機能病院においては医薬品の「禁忌」・「適応外」使用についてはルールが定められているので、未承認等医薬品に関するフロー図内にもこれらの用語を用い具体的に明示した方がスタッフの理解が深まり、周知しやすいと考えるため検討いただきたい。
- ・病院薬剤師不足を補うためには、積極的な調剤監査機器等の導入が効果的と思われる。ご検討いただきたい。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

地域医療連携センター内に、相談に応じる窓口を設置しており、相談担当者が対応している。必要に応じて、相談担当者からセンター長や医療安全管理者等に相談の上、適切に対処している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

令和6年1月9日に専門医更新のための医療安全講習会（医療安全における生成AI（Chat GPT）の使い方）、同年1月19日に医療倫理に関する講演会（事前指示を考える）を実施。

令和5年度はその他は概ねe-learningを用いた研修を実施した。特定研修と題して特定機能病院の医療安全管理に関する事項等をメインにした研修を実施。監査委員会からの指摘に関しての内容や内部通報窓口に関する内容も入れている。

また、特定のテーマを定め、最新の知識を学習するブラッシュアップ研修を実施しており、職員のスキル向上に努めている。（安全な鎮静のために 一鎮静のリスクを知る）

なお、平成29年度からは医薬品安全研修が開催されており、現在ではe-learningを活用して研修を実施している。

その他多職種参加のグループワーク形式の研修を年に3回実施している。

実施後の学習効果の測定は、毎年実施しているグラジオラス通信トリビア編によって検証してい

る。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構主催の2023年度特定機能病院管理者研修を以下のとおり受講

管理者：令和6年1月9日

医療安全管理責任者：令和6年1月9日

医薬品安全管理責任者：令和6年2月6日

医療機器安全管理責任者：令和6年1月15日

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価（主たる機能種別「一般病院3」）の本審査を2020年11月に受審した。その後、2021年4月に補充的審査の受審を経て、同年6月4日付けで「条件付認定（6ヶ月）」という結果になった。条件付認定の場合、同機構から提示された改善要望事項に関して確認審査を受審する必要があるため、2022年5月25日に確認審査を受審し、同年7月8日付けで「条件付解除」となり、正式な「認定」となった。

当院は「高難度新規医療技術の実施後確認」「注射薬投与時の機械認証」「病理診断結果報告書の未読確認」について改善要望事項を示されており、これらに関して改善対策を講じ、継続的な実施を行い、一定の水準に達していると評価された。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

日本医療機能評価機構のウェブサイトにて「一般病院3」の審査結果が公表されている。

・評価を踏まえ講じた措置

(高難度新規医療技術の実施後確認)

高難度新規医療技術に関する同意書の様式を改訂し、自院における実績や術者の経験、新規医療技術であるが故のリスクを記載するようにした。報告間隔を1年毎から半年毎に変更し、さらに診療科からの報告だけでなく、担当部署も直接診療録等を確認するようにした。

(注射薬投与時の機械認証)

注射剤の準備及び投与時のフローの見直しとダブルチェック手順について現状分析と目標設定の検討を行い、注射実施時の業務フロー及び注射剤の確認手順を見直した。注射オーダのある施用単位払出注射剤は、薬剤調整時の確認を簡略化し、誤薬防止に観点から投与直前には携帯情報端末を用いた機械認証を必須とする業務フローとした。この業務フローの変更について、看護師長会および看護部委員会(QM委員会)を通じて各部署への周知と徹底を図った。その後、部署ラ

ウンドによるヒアリングと現場確認、各看護職員の認証実施率を経時的にモニタリングし遵守状況を可視化した。注射認証実施率の低い部署については、個別にヒアリングを行うとともに、各看護職員への指導を行い、誤薬防止策の徹底を図っている。

(病理診断結果報告書の未読確認)

病理所見の未読に関しては誰がどのレポートを確認していないかを明示したリストを作成し各診療科宛にリマインドを実施している。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 一 医療安全確保のために必要な資質及び能力 医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢や指導力等を有すること。 二 東北大学病院(以下「本院」という。)の管理運営上必要な資質及び能力 本院又は本院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有すること。 三 本院の理念等を実現するために必要な資質・能力 本院が掲げる基本理念と将来構想の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で基準を公表している。 (参照 : http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.html)

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 病院の業務、運営、組織、将来計画等に関する事項 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 合議体（病院運営評議会）構成員への議事要旨の配付、構成員が属する部署内での情報共有 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無） ・ 公表の方法 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
張 替 秀 郎	○	医師	病院長
江 草 宏		歯科医師	総括副病院長
香 取 幸 夫		医師	副病院長
亀 井 尚		医師	副病院長
石 岡 千加史		医師	副病院長
齋 藤 正 寛		歯科医師	副病院長
飯久保 正 弘		歯科医師	副病院長
浦 山 美 輪		看護師	副病院長
岡 田 克 典		医師	病院長特別補佐
石 井 正		医師	病院長特別補佐
久志本 成 樹		医師	病院長特別補佐
神 宮 啓 一		医師	病院長特別補佐
石 田 孝 宣		医師	病院長特別補佐
中 里 信 和		医師	病院長特別補佐
藤 森 研 司		医師	病院長特別補佐
田 畑 雅 央		医師	病院長特別補佐
大 田 英 揮		医師	病院長特別補佐

海野倫明		医師	病院長特別補佐
正宗淳		医師	病院長特別補佐
高野忠夫		医師	病院長特別補佐
中川敦寛		医師	病院長特別補佐
三瓶綾子		研究員	病院長特別補佐
庄司貞雄		研究員	病院長特別補佐
青木正志		医師	病院長特別補佐
中澤徹		医師	病院長特別補佐
植田琢也		医師	病院長特別補佐
平野雅春		医師	病院長特別補佐
徳田浩一		医師	病院長特別補佐
杉浦剛		歯科医師	病院長特別補佐
山内健介		歯科医師	病院長特別補佐
藤巻慎一		臨床検査技師	病院長特別補佐
安田聡		医師	循環器内科
青柳哲史		医師	総合感染症科
田中哲洋		医師	腎臓・高血圧内科
福原規子		医師	血液内科
藤井博司		医師	リウマチ膠原病内科
片桐秀樹		医師	糖尿病代謝・内分泌内科
中瀬泰然		医師	加齢・老年病科
福土審		医師	心療内科
杉浦久敏		医師	呼吸器内科
大沼忍		医師	総合外科（下部消化管グループ）
和田基		医師	総合外科（小児外科グループ）
齋木佳克		医師	心臓血管外科
相澤俊峰		医師	整形外科
今井啓道		医師	形成外科
山内正憲		医師	麻酔科

井上 彰		医師	緩和医療科
島田 宗昭		医師	婦人科
齋藤 昌利		医師	産科
伊藤 明宏		医師	泌尿器科
遠藤 英徳		医師	脳神経外科
富田 博秋		医師	精神科
菊池 敦生		医師	小児科
青木 洋子		医師	遺伝科
笹原 洋二		医師	小児腫瘍科
浅野 善英		医師	皮膚科
海老原 覚		医師	リハビリテーション科
鈴木 匡子		医師	高次脳機能障害科
高瀬 圭		医師	放射線診断科
山田 亜矢		歯科医師	小児歯科
溝口 到		歯科医師	矯正歯科
水田 健太郎		歯科医師	歯科麻酔疼痛管理科
依田 信裕		歯科医師	咬合回復科
山田 聡		歯科医師	歯周病科
服部 佳功		歯科医師	口腔機能回復科
江島 豊		医師	材料部
鈴木 貴		医師	病理部
宮崎 真理子		医師	血液浄化療法部
菊池 雅彦		歯科医師	総合歯科診療部
五十嵐 薫		歯科医師	顎口腔機能治療部
小山 重人		歯科医師	顎顔面口腔再建治療部
眞野 成康		薬剤師	薬剤部長
富田 有一		事務職員	事務部長
黒澤 一		医師	安全衛生管理室長
池田 浩治		医師	臨床研究推進センター

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 一部有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
病院長の予算権限については「東北大学会計規程」で定められており、当該規程はwebsite上で閲覧可能となっている。
病院長の人事権限については「東北大学病院の総括副病院長及び副病院長に関する申合せ」、「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」、「東北大学病院専門別診療科等に関する内規」で定められているが、これらは院内のみ閲覧可能となっており、公表はされていない。
- ・ 規程の主な内容
「東北大学会計規程」においては、部局長を予算責任者として定め、予算の執行計画に関する事務を行わせることを定めている。
「東北大学病院の総括副病院長及び副病院長に関する申合せ」では、病院長が総括副病院長及び副病院長候補者を指名し、総長に推薦するものであることを定めている。「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」では、病院長特別補佐は病院長が任命することを定めている。「東北大学病院専門別診療科等に関する内規」では、科長、副科長、医局長、病棟医長及び外来医長は、病院長が任命することを定めている。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
本院では、歯科部門の責任者として総括副病院長を1名置き、医科部門の副病院長3名、歯科部門の副病院長を2名置いている。また、R5年度末時点では病院長特別補佐を23名置き、それぞれ別紙の役割を担っている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
国立大学附属病院長会議で、国立大学附属病院の医事系、経営系事務職員を対象とした研修会を随時開催している。また、病院の経営層を対象としたセミナー等も実施している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年 2回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 以下に掲げる事項について病院長に対し報告を求め、必要に応じて実地監査を行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> イ 医療安全管理に係る体制 ロ 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務の状況 ハ 医療安全推進室の業務の状況 ニ 医療に係る安全管理のための委員会の業務の状況 ホ その他医療安全管理に関して必要な事項 ・ 必要に応じ、総長又は病院長に対し、医療安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。 ・ その結果を公表すること。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ 公表の方法：東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。 	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払基金宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
阿部 玲子	東北公済病院看護部		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
佐藤 裕一	弁護士法人杜協同法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

国立大学法人東北大学監事監査規程（公表）において、本学の監事監査の目的として「関係法令等に基づく適正な執行状況等について監査する」と定められている。この監査事項の詳細は、国立大学法人東北大学監事監査実施細則（非公表）に定められており、第3条第1項第9号に「病院管理者の業務の法令適合状況」が明記されている。

また、同監事監査規程においては、監査報告書に基づき改善すべき事項がある場合には、総長（病院開設者）は速やかに改善の措置を講じることとされており、取組の有効性を検証し、適時に見直しを行う体制が構築されている。

- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 一部有 ・ 無 ）

・ 公表の方法

国立大学法人東北大学監事監査規程は国立大学法人東北大学規程集

（http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei/reiki_taikei/r_taikei_01.html）にてweb公開されている。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成15年度から本院には外部有識者で構成される「東北大学病院運営諮問会議」が設置され、病院長の諮問に応じてその運営、将来計画等に関する重要事項を審議し、病院長に助言、勧告を行ってきた。 この合議体に平成30年9月から予算執行状況その他の本院の管理運営に関する重要事項について監督する機能も付与した。 ・ 会議体の実施状況（ 年2回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年2回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/> ） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
安藤 健二郎	仙台市医師会	○	無
江面 正幸	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター		無
原田 善教	学校法人東北学院		無
一力 雅彦	河北新報社		無
樋口 康二郎	東北電力株式会社		無
小林 英文	株式会社七十七銀行		無
伊藤 直之	伊藤・根本・渡邊法律事務所		無
郷内 淳子	有限会社ティー・ジイー		無
山田 理恵	東北電子産業株式会社		無
辻村 和人	日本放送協会（NHK）仙台放送局		無
白根 武史	トヨタ自動車東日本株式会社		無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。
規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合

等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 通報件数（年 0 件）
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 周知の方法
窓口が設置された平成 28 年度に全病院職員に対してリーフレットを配布した。また、毎年 4 月初に開催されるオリエンテーションにおいて全新規入職者を対象にリーフレットを配布し、医療安全に関するオリエンテーション内でも周知している。